

第三條ノ二(管外旅費ハ豫定明細書)ヲ(外國旅費ハ豫定明細書)ニ改ム  
第五條中(俸給及諸給ノ内委任俸給及旅費ノ内不開港輸出物乘監旅費ヲ除ク)ヲ(俸給及諸給ノ内委任俸給ヲ除ク)ニ改ム

○大藏省訓令第七號

稅務管理局

本年三月 當省訓令第三號内國稅徵收費科目雜給及雜費ノ項雜費ノ目中末位ニ諸公課ノ節ヲ追加ス  
明治三十三年三月十七日 大藏大臣伯耆松方正義

○大藏省訓令第八號

稅務管理局

間接國稅犯則者處分法施行上左ノ通心得ヘシ  
第一條 收稅官吏臨檢搜索ヲ爲スハ犯則ノ嫌疑ヲ起スニ足ルヘキ事實アリタルトキニ於テノミ之ヲ爲スコトヲ要ス

第二條 收稅官吏犯則嫌疑者參考人ヲ尋問スルハ犯則ノ現場又ハ尋問ヲ受クヘキ者ノ所在ニ就テ之ヲ爲スコトヲ要ス

第三條 差押物件ニハ常ニ注意ヲ爲シ腐敗其ノ他損傷ノ虞アルトキハ時機ヲ失セズ公賣ニ付シ其ノ代金ノ供託ヲ爲スコトヲ要ス但シ急速ヲ要スル場合ノ外ハ成ルヘク公賣前差押當時ノ所持者ノ意見ヲ聞クコトヲ要ス

第四條 收稅官吏證據ヲ他ノ稅務署ノ收稅官吏ニ引繼ク場合及事件ヲ稅務管理局長ニ報告スル場合ニ於テハ所屬稅務署長ヲ經由スルコトヲ要ス

第五條 犯則事件ノ調査及處分ハ速ニ結了スルコトヲ要ス故ナク遲滯スルカ如キコトアルヘカラス

第六條 稅務管理局長通告ヲ爲ス場合ニ於テハ成ルヘク犯則者ノ住所又ハ居所地所轄ノ稅務署ヲ指定シテ金錢物品ノ納付所ト爲スコトヲ要ス但シ沒收スヘキ物品ニシテ市町村又ハ所有者ノ

保管ニ係ルトキハ其ノ物品ニ關シテハ特ニ其ノ所在ノ場所ヲ指定スルコトヲ妨ケス

第七條 通告書ハ金錢物品ノ納付所ト指定シタル稅務署ヲ經由シテ送達スルコトヲ要ス

第八條 稅務管理局長犯則事件ヲ調査シ犯則ノ心證ヲ得サルトキハ速ニ其ノ旨ヲ犯則嫌疑者ニ通知シ且ツ差押物件ノ解除ヲ當該官吏ニ命スルコトヲ要ス

差押解除ノ命令ヲ受ケタル當該官吏ハ直ニ之レカ解除ヲ爲スコトヲ要ス  
右訓令ス

明治三十三年三月二十四日

大藏大臣伯耆松方正義

○大藏省訓令第九號

警視廳 北海道廳 府 縣 稅關 造幣局

印刷局 專賣局 稅務管理局 官房第四課

臨時沖繩縣土地整理事務局 臨時稅關工部

本年三月 當省訓令第二號明治三十三年度當省所管歲入科目表歲入經常部第一款租稅第五項醬油造石稅中ニ第二目家用醬油稅ノ目ヲ追加ス

明治三十三年三月二十七日

大藏大臣伯耆松方正義

○大藏省訓令第十號

警視廳 北海道廳 府 縣 造幣局

印刷局 稅務管理局 官房第四課

臨時沖繩縣土地整理事務局 臨時稅關工部

本年三月 當省訓令第二號明治三十三年度當省所管歲入科目表歲入經常部中ニ第七款教育基金線入及同名ノ項目歲入臨時部第二款雜收入第二項返納金中ニ第四目貸付金第五目貸付金利子ノ二目ヲ追加ス

明治三十三年三月二十日

大藏大臣伯耆松方正義

○大藏省訓令第十一號

金庫出納役

明治二十六年大藏省訓令第三十九號金庫出納事務規程附屬第七號書式摘要中某年度歲入、某年度















(第一號乙) (用紙美濃紙)

明治何年度  
歲入金未收入額處分濟通知簿

廳名  
何部局  
歲入調定者

番記號	納期日	事由	由金員	納入氏名	終局年月日
何何	何年月日	何々罪罰金 何々ヨリ移記	何①圓①	何縣何郡何町村士族 何何何某	何年月日完納 ①
同	同	同	何圓同	同	何年月日換刑 ①
同	同	同	何圓同	同	何年月日何總へ徴 收囑託①
同	同	同	何圓同	同	何年月日分納ノ爲 取消①
同	同	同	何圓同	同	何年月日不納缺損 ①
合計金③何④程① 未收入額移記高					
内					
金③何④程① 納入濟額					
金③何④程① 不納缺損額					

(第一號) (用紙美濃紙)

明治何年度歲入金調定原帳

廳名  
歲入調定者

金③何④程①	換刑處分
金③何④程①	何々
右之通	
明治何年 月 日	



- 一 本簿ハ歳入調定者ノ原帳ニシテ各事件主任官及本規程第六條ニヨリ通知ヲ受ケタルトキ記入スヘシ
- 二 本規程第四條第二項ノ通知ヲ受ケタルトキモ亦本簿ニ調定記入スヘシ
- 三 本簿ハ目毎(歳入科目)ニ口座ヲ設ケ記入スヘシ
- 四 納入告知書ノ番號ハ目毎ニ一號ヨリ起シ科目ノ頭字又ハ適宜ノ符號文字ヲ冠ラスヘシ
- 五 本簿ハ會計年度ヲ以テ區分シ翌年度七月三十一日ニ於テ第一書式ノ如ク合計ヲ記載シ尙收入未済額ハ毎年三月三十一日ニ於テ第二書式ノ如ク合計ヲ記載シテ本簿ヲ完結スヘシ
- 六 〇ハ歳入調定者ノ印
- 七 前項ノ外第一號簿凡例中第八第九第十第十一ヲ準用スヘシ

納入告知書 番號	納入告知書 發行月日	納期日	事由	金額	納入氏名	通知部局別	額	末
罰第一號	何年月日	何月日	何々料何圓	何々	何縣何郡何町何村何士族何某(平民)	地方檢事局	何年月日	完納
同	同	同	同	同	同	區檢事局	何年月日	分納聽許ニ付取消
同	同	同	同	同	同	同	何年月日	換刑控除
同	同	同	同	同	同	同	何年月日	不納缺損認可
同	同	同	同	同	同	同	何年月日	死亡ニ付不納缺損

第一  
合計金何程  
調定額

丙	
金何程	收入済額
金何程	不納缺損額
金何程	控除額
差引金何程	未收入額何年度(繰越高)
右之通	明治何年 月 日 (七月三十一日ノ記載例)
第二	
一金何程	未收入額何年度(繰越高)
丙	
金何程	未收入額
金何程	不納缺損額
金何程	控除額
右之通	明治何年 月 日 (三月三十一日ノ記載例)

○文部省訓令第三號  
會計規則第五十二條第三項ニ依リ送付スヘキ府縣立師範學校長俸給ノ支出計算書ハ地方長官ヨリ直ニ會計検査院ヘ送付スヘシ  
明治三十三年三月二十日  
文部大臣 伯耆權山資紀



○文部省訓令第四號

明治三十年文部省訓令第三號ハ明治三十三年三月三十一日限り廢止ス

直轄各部

明治三十三年三月二十六日

文部大臣伯耆樺山資紀

〔參照〕

明治三十年五月十日 文部省訓令第三號ハ學生生徒身體検査規程ナリ

○文部省訓令第五號

學校生徒ノ喫煙ニ關シテハ小學校ニ在リテハ明治二十七年文部省訓令第六號ヲ以テ生徒ノ喫煙スルコト及煙器ヲ夾帶スルコトヲ禁スヘキ旨訓令シ中學校等ニ在リテモ實際喫煙ヲ禁止セルモノ多シ蓋シ學校生徒ノ喫煙ハ衛生上有害ナルノミナラス風紀ニ關スルコト少ナカラス殊ニ此際未成年者喫煙禁止法ノ發布アリタルニ就キテハ小學校中學校師範學校及等位ノ之ニ準スヘキ學校ニ在リテハ取締上其ノ生徒ノ成年以下ナルト以上ナルト學校ノ内外トヲ問ハス喫煙シ及煙草煙器ヲ夾帶スルコトヲ禁止スヘシ其ノ他ノ學校ニ在リテモ特ニ注意ヲ加ヘ法律違反ノ者ナカラシムコトヲ期スヘシ

明治三十三年三月二十六日

文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省訓令第六號

女子ノ師範學校及高等女學校ニ在學スル年紀ハ心身ノ發育上最モ注意ヲ要スル時期ナリ故ニ右等ノ學校ニ在リテハ女生徒學業ノ成績ハ平素ニ於テ便宜之ヲ調査セシムルコトトシ時期ヲ定メテ一時ニ全學科目ノ試験ヲ行フコト勿カラシムヘシ又月經ノ間ハ其ノ生徒ニ限リ體操科ヲ課セシメサルヲ要ス

明治三十三年三月二十六日

文部大臣伯耆樺山資紀

北海道廳 府縣

府 縣

○農商務省訓令第八號

明治三十二年七月 本省訓令第三十四號農商務統計樣式中ニ左ノ一表ヲ追加ス  
但第一回ノ調査ハ本年十二月三十一日現在ニ據ルモノトス

明治三十三年三月七日

農商務大臣曾禰荒助

公有社寺私有林面積

（調査 毎年十二月三十一日現在）  
（報告期 翌年三月）

林別	保安林		普通林		合計
	箇所面積	積	箇所面積	積	
公有林					
社寺林					
私有林					
計					

- 一 保安林トハ森林法ノ規定ニ據リ保安林ニ編入セラレタルモノ普通林トハ保安林外ノ森林ヲ云フ
- 一 保安林ハ明治三十年四月二日本省訓令第三十一號保安林取扱心得第一條ニ規定セル種類別ニ区分シタル附屬表ヲ添付スヘシ
- 一 森林法第五條ノ規定ニ據レル部分林ノ設定アリシトキハ各林別ニ区分セル別表ヲ添付スヘシ

○農商務省訓令第九號

明治三十年當省訓令第九號小林區署用品代料支給規則第二條中「圓」ヲ「二圓」ニ改メ明治三十三年度ヨリ施行ス

明治三十三年三月十五日

農商務大臣曾禰荒助

〔參照〕











苗圃試驗室新營	保安林施業林介在地
森林買上費	

○農商務省訓令第十一號

大林區署及林野整理支局會計事務章程左ノ通相定ム

明治三十三年三月三十日

農商務大臣曾禰荒助

第一章 總則

- 第一條 大林區署及林野整理支局ノ歳入歳出豫算額及仕拂豫算額ハ毎年度農商務大臣之ヲ令達スヘシ
- 第二條 歳入調定官、仕拂命令官及物品出納命令官ハ大林區署ニ在リテハ大林區署長トシ林野整理支局ニ在リテハ林野整理支局長トス
- 第三條 會計規則第六十七條、第九十一條ノ検査員、第九十二條ノ立會員、第百條ノ代務員及物品會計規則第十一條、第十二條ノ検査員、第十五條第二項但書ノ代務員ハ大林區署長又ハ林野整理支局長之ヲ命スヘシ
- 第四條 會計検査院ニ證明スヘキ歳入歳出ノ計算書類ニ對シ林野整理局長又ハ大臣官房會計課長ノ質問ヲ受ケタル事項ニシテ訂正若ハ證明ヲ要スルモノハ該質問ノ答辯ト同時ニ會計検査院長ニ對シ申報書ヲ提出スヘシ
- 第五條 會計検査院ニ證明スヘキ書類ニシテ規定ノ期間内ニ發送スルコト能ハサルモノアルトキハ其ノ事由及提出期日ヲ該院長ニ申報スヘシ

第六條 林野整理局長又ハ大臣官房會計課長ヲ經由シテ會計検査院へ提出シタル證明書類ノ審理書ニ對スル答辯又ハ申報書ハ總テ同局長又ハ課長ヲ經由スヘシ

第七條 歳入調定額計算書及支出計算書ニシテ會計検査院ノ検査確定後ニ於テ證明事項ノ誤謬ヲ發見セシトキハ其ノ發見シタル年度ニ於テ追徴、拂戻、追給若ハ返納等相當ノ整理ヲ爲スヘシ

第二章 收入

第八條 歳入調定官ハ豫算又ハ處分決議書ニ基キ收入ヲ調定シ特別ノ規定アルモノヲ除ク外三十日以内ニ於テ適宜納入ノ期日ヲ定メ各納入ニ對シ甲號若ハ乙號ノ納入告知書ヲ發シテ現金ヲ金庫又ハ收入官吏ニ納付セシムヘシ但シ必要ト認ル場合ニ於テハ納入告知書ヲ發セス現金ヲ收入官吏ニ即納セシムルコトヲ得

第九條 歳入調定官前條ノ期間内ニ徴收ノ手續ヲ脱落シタルコトヲ發見シタルトキハ直ニ之ヲ執行スヘシ但シ本文脱落ノ結果政府ニ損失ヲ來シタルモノアルトキハ其ノ顛末ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ

第十條 大林區署長ハ小林區署長、林野整理支局長ハ出張所首席者其ノ他特ニ派出シタル部下ノ官吏(森林監守ヲ除ク)ニ委任シテ第八條ノ手續ヲ爲サシムルコトヲ得

第十一條 前條ニ依リ委任ヲ受ケタル官吏收入ヲ調定シタルトキハ收入調定濟報告書ヲ調製シ翌日マテニ之ヲ歳入調定官ニ送付スヘシ

歳入調定官前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ自身ニ調定シタルモノト同一ノ手續ヲ爲スヘシ

第十二條 納入告知書ハ收入ノ徴收上便宜ノ地ニ在ル收入官吏ニ送付シテ之ヲ納入ニ交付セシムヘシ但シ第八條但書ノ場合ニ於テハ其ノ科目、金額等ヲ收入官吏ニ通知スヘシ



- 第十三條 歳入調定官第六十條ノ通知ヲ受ケタルトキハ直ニ其ノ歳入年度、科目、金額等ヲ收入官吏ニ通知スヘシ
- 第十四條 收入官吏前二條ニ規定スル送付又ハ通知ヲ受ケタルトキハ明治二十六年<sup>十一月</sup>大藏省令第三十二號第十二號書式ノ收入簿及收入細別簿ニ之ヲ記入シ納入告知書ハ直ニ納入ニ交付スヘシ
- 第十五條 成規ノ期間内ニ納金ヲ完納セサル者アルトキハ收入官吏ハ未納金報告書ヲ調製シテ之ヲ歳入調定官ニ送付スヘシ
- 第十六條 歳入調定官前條ノ報告ヲ受ケタルトキハ速ニ相當ノ手續ヲ爲スヘシ
- 第十七條 收入官吏乙號納入告知書ニ依リ現金ヲ徴收スルトキハ收入細別簿ニ照査シテ之ヲ領收シ其ノ領收證書ヲ納入ニ交付スヘシ
- 第十八條 收入官吏第八條但書ノ現金ヲ徴收スルトキハ收入細別簿ニ照査シテ之ヲ領收シ明治二十六年<sup>十一月</sup>大藏省令第三十二號第二號書式ノ領收證書ヲ納入ニ交付スヘシ
- 第十九條 收入官吏前二條ノ納金ヲ領收シタルトキハ收入簿、收入細別簿及明治二十六年<sup>十一月</sup>大藏省令第三十二號第十四號書式ノ現金出納簿ニ之ヲ記入シ同令第三號書式ノ現金拂込書ヲ調製シ現金ヲ添へ明治二十二年<sup>十一月</sup>大藏省令第十三號出納官吏現金取扱規則第十五條若ハ第十六條ニ規定シタル期間内ニ之ヲ金庫ニ送付スヘシ
- 第二十條 林野整理支局所在地外ニ於テ現金ノ徴收ヲ要スルトキハ同支局主任收入官吏ハ林區署收入官吏ニ之ヲ囑託スルコトヲ得
- 第二十一條 納入告知書ニ指定スル金庫及收入官吏ヨリ現金ヲ拂込ムヘキ金庫ハ當該收入官吏ノ所在地同一ノ出納區域内ニ在ルモノニ限ル

- 第二十二條 收入官吏會計規則第二十七條ニ依リ金庫ヨリ領收濟ノ通知ヲ受ケタルトキハ收入簿及收入細別簿ニ之ヲ記入スヘシ
- 第二十三條 歳入調定官會計規則第二十七條ニ依リ金庫ヨリ領收濟ノ通知ヲ受ケタルトキハ歳入調定原簿ニ照査シ其ノ現金ニ屬スルモノハ之ヲ現金收入監査簿ニ記入スヘシ
- 第二十四條 分任收入官吏ハ明治二十六年<sup>十一月</sup>大藏省令第三十二號第四號書式ノ收入報告書及收入細別表ヲ調製シ歳入金突合表ヲ添へ翌月五日マテニ之ヲ主任收入官吏ニ送付スヘシ
- 第二十五條 主任收入官吏前條ノ報告書ヲ受ケタルトキハ之ヲ收入簿ニ記入シ該金額及自身ノ取扱ニ係ル分ヲ併セ一般會計ニ屬スルモノト特別會計ニ屬スルモノトヲ區別シテ收入報告書ヲ調製シ各歳入金月計對照表ヲ添へ翌月十日マテニ之ヲ歳入調定官ニ送付スヘシ
- 前項ノ場合ニ於テ主任收入官吏ハ自身ノ取扱ニ係ル收入細別表ヲ調製シ分任收入官吏ヨリ送付ヲ受ケタルモノト合綴シテ之ヲ添附スヘシ
- 第二十六條 歳入調定官前條ノ報告書ヲ受ケタルトキハ調査ノ上之ヲ歳入調定額整理簿ニ記入シ翌月十五日マテニ一般會計ニ屬スル收入報告書及歳入金月計對照表ハ大臣官房會計課ニ特別會計ニ屬スルモノハ林野整理局ニ送付スヘシ
- 第二十七條 主任收入官吏金庫ヨリ歳入金月計對照表ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ甲號表ヲ留置キ乙號表ハ式ニ依リ證明捺印ノ上之ヲ金庫ニ返付スヘシ
- 分任收入官吏金庫ヨリ歳入金突合表ヲ受ケタルトキハ前項ノ手續ヲ爲スヘシ
- 分任收入官吏ハ中央金庫又ハ本金庫ノ取扱ニ屬スル歳入金突合表ヲ調製シ當該金庫ノ證明ヲ受ケヘシ



第二十八條 歳入調定官告知書ヲ發付シ又ハ納額ノ通知ヲ爲シタル後科目(經常ト臨時又ハ森  
 科目ニ)ニ誤記アルヲ發見シタルトキハ科目訂正書ヲ調製シ之ヲ當該收入官吏ニ送付スヘシ但  
 シ年度ニ誤記アルヲ發見シタルトキハ訂正手續ハ明治二十四年<sup>五</sup>大藏省令第十一號ニ依ルヘシ  
 收入官吏前項ノ訂正書ヲ受ケタルトキハ直ニ收入簿及收入細別簿ニ訂正ノ記入ヲ爲シ其ノ記入  
 ヲ爲シタルトキ既ニ其月ノ計算締切後ナルトキハ訂正シタル月ノ收入報告書ニ之ヲ掲ケ其ノ事  
 由ヲ詳記スヘシ

森林資金ト森林收入トノ科目ノ誤記ヲ訂正シタル場合ニ於テ納入告知書若ハ現金拂込書ニ依リ  
 既ニ金庫ニ現金ヲ納入セシモノナルトキハ直ニ收入官吏ヨリ關係金庫ニ其ノ訂正ヲ請求スヘシ  
 前各項ニ依リ誤記ノ訂正ヲ爲スハ翌年度七月三十一日限リトス第二十九條ノ場合モ亦同シ

第二十九條 納入告知書ニ取扱應及收入官吏氏名ヲ誤記セシコトヲ發見シタルトキハ歳入調定官  
 ヨリ當該收入官吏ヲ經テ又現金拂込書ニ誤記アル場合ニ於テハ直ニ收入官吏ヨリ關係金庫ニ其  
 ノ訂正ヲ請求スヘシ  
 前項ニ對シ金庫ヨリ訂正濟ノ報告ヲ受ケタルトキハ其ノ訂正ヲ爲シタル月ニ於テ收入簿及收入  
 細別簿ヲ訂正スヘシ

第三十條 主任收入官吏ハ明治二十四年<sup>八</sup>大藏省訓令第六十八號及同二十五年<sup>四</sup>同省訓令第  
 二十五號ニ依リ歳入金繰越計算表ヲ翌年度四月、八月ノ兩度ニ於テ調製シ歳入調定官ヲ經テ其ノ  
 月十五日マテニ一般會計ニ屬スルモノハ大臣官房會計課ニ特別會計ニ屬スルモノハ林野整理局  
 ニ送付スヘシ  
 前項ノ場合ニ於テ歳入調定官ハ調定額未收入金繰越明細表ヲ調製シテ之ヲ添附スヘシ

第三十一條 歳入調定官ハ歳入金ノ過誤納ヲ發見シ其ノ下戻ヲ要スルトキハ諸拂戻金仕拂要求書  
 ヲ調製シ權利者ノ請求書ヲ添ヘ農商務大臣ニ提出スヘシ

第三十二條 歳入調定官ハ毎年度收入決算報告書ヲ調製シ翌年度八月二十日マテニ之ヲ農商務大  
 臣ニ提出スヘシ但シ前年度調定ノ繰越ニ係ルモノアルトキハ收入繰越額顛末書ヲ調製シ之ヲ添  
 附スヘシ

第三十三條 歳入調定官ハ明治二十七年<sup>三</sup>會計検査院達第八號租稅外歳入調定額證明規程ニ依  
 リ歳入調定額計算書ヲ調製シ證書類ヲ添ヘ翌年度八月三十一日マテニ一般會計ニ屬スルモノ  
 ハ大臣官房會計課長ニ特別會計ニ屬スルモノハ林野整理局長ニ送付スヘシ

第三十四條 主任收入官吏ハ明治二十七年<sup>三</sup>會計検査院達第九號租稅外收入證明規程第一號書式  
 ニ依リ收入計算書ヲ調製シ翌年度八月三十一日マテニ之ヲ歳入調定官ニ送付スヘシ但シ當該年  
 度ニ於テ收入未濟ニ係ルモノアルトキハ收入未濟額明細書ヲ調製シテ之ヲ添附スヘシ

第三十五條 主任收入官吏ハ租稅外收入證明規程第二號書式ニ依リ現金出納計算書ヲ調製シ金庫  
 ノ領收證書ヲ添ヘ翌年度五月三十一日マテニ之ヲ歳入調定官ニ送付スヘシ

第三十六條 分任收入官吏ハ租稅外收入證明規程第一號書式ニ準シ收入計算書ヲ調製シ金庫領收  
 濟通知書ヲ添ヘ翌年度八月十五日マテニ之ヲ主任收入官吏ニ送付スヘシ但シ當該年度ニ於テ收  
 入未濟ニ係ルモノアルトキハ收入未濟額明細書ヲ調製シテ之ヲ添附スヘシ

第三十七條 分任收入官吏ハ租稅外收入證明規程第二號書式ニ準シ現金出納計算書ヲ調製シ金庫  
 ノ領收證書ヲ添ヘ翌年度四月三十日マテニ之ヲ主任收入官吏ニ送付スヘシ

第三十八條 主任收入官吏交替シタルトキハ收入計算書及現金出納計算書ヲ調製シ金庫ノ領收證



書ヲ添へ六十日以内ニ之ヲ歳入調定官ニ送付スヘシ前任官吏ヨリ引繼ヲ受ケタル未収入金ヲ其ノ儘後任官吏ヘ引繼タルトキモ亦同シ

第三十九條 分任收入官吏主任收入官吏交替ノ通知ヲ受ケタルトキハ其ノ交替當日マテニ取扱タル収入金ニ對シ收入計算書及現金出納計算書ヲ調製シ金庫領收濟通知書及領收證書ヲ添へ十日以内ニ主任收入官吏ニ送付スヘシ

第四十條 前條ノ規定ハ身元保證金ヲ納付シタル分任收入官吏交替ノ場合ニ之ヲ準用ス但シ三月三十一日若ハ年度經過後ニ於テ交替シタル者ノ取扱額ニ對シテハ此ノ限ニアラス前項ノ場合ニ於テ在職中現金ノ取扱ナキ爲現金出納計算書ノ提出ヲ要セサルモノハ收入計算書ノ備考ニ共ノ旨ヲ記載スヘシ

第四十一條 主任收入官吏第二十六條、第二十七條及第三十九條ノ計算書類ヲ受ケタルトキハ之ヲ帳簿及書類ニ對查シテ其ノ正確ヲ認メ第三十四條、第三十五條及第三十八條ノ計算書ト共ニ之ヲ歳入調定官ニ送付スヘシ

主任收入官吏第四十條ノ計算書類ヲ受ケタルトキハ前項ノ手續ヲ爲シ五日以内ニ之ヲ歳入調定官ニ送付スヘシ

第四十二條 第三十五條ノ現金出納計算書中第四十條ニ依リ分任收入官吏ヨリ證明濟ノモノアルトキハ主任收入官吏ハ計算書ノ備考ニ共ノ金額事由ヲ記載スヘシ

第四十三條 歳入調定官ハ第三十七條、第三十九條、第四十條ノ現金出納計算書及第四十條ノ收入計算書ヲ帳簿ト對查スル爲便宜執行官吏ヲ命シ置キ同官吏ヲシテ分任收入官吏ヨリ主任收入官吏ニ送付前其ノ對查ヲ執行セシメ符合ニ致ラ認メタル保證書ヲ該計算書ニ添附セシムヘシ

第四十四條 歳入調定官第三十四條、第三十五條、第三十八條及第四十一條第二項ノ計算書類ヲ受ケタルトキハ成規ノ期間内ニ下検査ヲ執行シ直ニ之ヲ會計検査院ニ送付スヘシ

第四十五條 歳入調定官ハ前條ノ計算書、主任收入官吏ハ第四十條ノ計算書ノ表紙ニ受授ノ印ヲ押捺シ其ノ年月日ヲ記入スヘシ

第四十六條 第四十條ノ計算書ニ關スル會計検査院ノ審理書及之ニ對スル分任收入官吏ノ報告書ハ總テ主任收入官吏ヲ經由スヘシ

第三章 支出

第四十七條 大林區署長及林野整理支局長豫算定額ニ對シ増額ヲ要スルモノアルトキハ其ノ事由ヲ詳具シタル經費豫算増額請求計算書ヲ調製シ之ヲ農商務大臣ニ提出スヘシ

第四十八條 大林區署長及林野整理支局長豫算定額中各目ノ流用若ハ豫算ニ於テ目的ヲ指定シテ配賦ヲ受ケタル用途ノ轉用ヲ要スルトキハ之ヲ執行シ每一箇月分ヲ取纏メ經費豫算流用及ハ轉用報告書ヲ調製シ翌月十五日マテニ之ヲ農商務大臣ニ提出スヘシ

第四十九條 仕拂命令官ハ債主ノ請求書其ノ他ノ證據書類ニ基キ明治二十三年七月大藏省令第十七號及同二十六年十一月同省令第三十二號第六號書式仕拂命令ヲ發スヘシ

第五十條 會計規則第三十九條第三號ノ現金前渡仕拂命令ハ事業ノ大小ヲ量リ千圓以内ニ於テ之ヲ發スヘシ

前項現金前渡ノ仕拂命令ヲ發シタル後更ニ同一ノ主任官吏ニ現金前渡ヲ爲スルメ仕拂命令ヲ發セントスルトキハ會計規則第四十條第一號及第二號ニ依リ前後ノ金額ヲ計算シ合テ千圓ヲ超ユルコトヲ得ス



第五十一條 仕拂命令官仕拂命令ヲ受取人ニ交付セントスルトキハ成ルヘク其ノ交付ヲ爲サントスル日ノ前日ニ其ノ案内仕拂命令ヲ金庫ニ送付スヘシ但シ至急ヲ要スルモノハ此ノ限ニアラス

第五十二條 仕拂命令官集合仕拂命令ヲ金庫ニ送付シタルトキハ通知書ヲ受取人ニ交付シ現金ヲ金庫ヨリ受取ラシムヘシ

第五十三條 仕拂命令官金庫所在地外ニ於テ仕拂ヲ要スル仕拂命令若ハ集合仕拂命令ヲ金庫ニ送付シタルトキハ通知書ヲ各受取人ニ送付スヘシ但シ電信爲替ニ依リ送金スル場合ニハ通知書ノ送付ヲ要セス

第五十四條 仕拂命令官仕拂命令ヲ受取人ニ交付シ若ハ集合仕拂命令又ハ送金ニ係ル仕拂命令ヲ金庫ニ送付シタルトキハ各其ノ領收證書ヲ徴スヘシ

第五十五條 仕拂命令官仕拂命令又ハ集合仕拂命令ヲ發行シタル後科目又ハ年度ニ誤記アルヲ發見シタルトキハ訂正ノ結果仕拂豫算額ニ超過シタル仕拂トナラサル場合ニ限り科目年度訂正書ヲ調製シ之ヲ金庫ニ送付スヘシ但シ誤記ノ訂正ヲ爲スハ翌年度七月三十一日限トス

第五十六條 仕拂命令ヲ受取人ニ交付シ又ハ金庫ニ送付スルハ毎月二十八日(二月十二月ハ二十)限トス但シ法規上仕拂期日ノ定マレルモノ及至急ヲ要スルモノハ此ノ限ニアラス

第五十七條 金庫ニ案内仕拂命令送付後之ニ對スル仕拂命令ニシテ前條ノ期間内ニ受取人ニ交付セサルモノアルトキハ仕拂命令官ハ直ニ其ノ案内仕拂命令ノ返付ヲ請求スヘシ但シ成規ノ期間經過後ノ送付ニ係ルモノニシテ其ノ月中ニ交付スルニ至ラサルモノハ末日ニ於テ本文ノ手續ヲ爲スヘシ

第五十八條 仕拂命令官過年度ニ屬スル經費ノ支出ヲ要スルトキハ之ヲ執行シ其ノ都度經費過年

度支出報告書ヲ調製シ之ヲ農商務大臣ニ提出スヘシ

第五十九條 仕拂命令官會計法第二十三條但書ニ依リ定額ノ戻入ヲ爲サントスルトキハ明治二十二年<sup>十一月</sup>大藏省令第十六號第一條ニ依リ返納告知書ヲ返納人ニ交付シ同時ニ通知書ヲ金庫ニ送付スヘシ

第六十條 仕拂命令官甲年度ノ定額ニ戻入スヘキ返納告知書ヲ發シ乙年度六月三十日ヲ過キ定額ニ戻入セサルモノアルトキハ之ヲ歲入トシテ納入スヘキ年度科目取扱主任收入官吏ノ官氏名等ヲ關係金庫ニ通知シ同時ニ該金額ノ歲入編入方ヲ歲入調定官ニ通知スヘシ

第六十一條 仕拂命令官明治二十三年<sup>十一月</sup>大藏省令第二十七號ニ依リ誤拂過渡金ノ歲入編入方ヲ金庫ニ請求スルトキハ一口毎ニ請求書ヲ調製シ各歲出ノ主管廳名ヲ附記スヘシ

第六十二條 仕拂命令官金庫ヨリ歲出金月計對照表及歲出仕拂未濟繰越金支出月計對照表ニ證據書類ヲ添ヘ送付ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ式ニ依リ證明檢印ノ上證據書類ト共ニ三日以内ニ之ヲ金庫ニ返付スヘシ但シ相違アルトキハ速ニ其ノ事由ヲ附シテ之ヲ返付スヘシ

前項證明ノ後該證明ニ就キ誤謬ヲ發見シタルトキハ其ノ理由ノ證明書ヲ調製シ之ヲ金庫ニ送付スヘシ

第六十三條 仕拂命令官更迭シタルトキハ仕拂命令官ノ印鑑ヲ調製シ直ニ之ヲ關係金庫ニ送付スヘシ

第六十四條 大林區署長及林野整理支局長會計法第二十一條及第二十二條ニ依リ定額ヲ翌年度ニ繰越ヲ要スルモノアルトキハ經費繰越計算書ヲ調製シ年度經過後二十日以内ニ之ヲ農商務大臣ニ提出スヘシ



第六十五條 仕拂命令官ハ毎月經費仕拂報告書ヲ調製シ翌月十五日マテニ之ヲ農商務大臣ニ提出スヘシ

第六十六條 仕拂命令官ハ明治三十二年五月會計検査院達第一號支出證明規程ニ依リ毎月支出計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ翌月十五日マテニ大林區署ニ在リテハ大臣官房會計課長ニ林野整理支局ニ在リテハ林野整理局長ニ之ヲ送付スヘシ

第六十七條 仕拂命令官ハ毎年度豫備金ヲ以テ補充支辨シタル金額ニ對シ豫備金支出計算書ヲ調製シ翌年度七月十五日マテニ之ヲ農商務大臣ニ提出スヘシ

第六十八條 仕拂命令官ハ毎年度經費決算報告書ヲ調製シ翌年度七月三十一日マテニ之ヲ農商務大臣ニ提出スヘシ

第六十九條 現金前渡ヲ受ケタル官吏ハ明治三十二年五月會計検査院達第二號仕拂證明規程ニ依リ毎月仕拂計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ翌月五日マテニ之ヲ仕拂命令官ニ送付スヘシ但シ仕拂事項ノ終了シタル月若ハ臨時ノ現金前渡ニ屬スルモノハ最終ノ仕拂日ヨリ五日以内ニ之ヲ送付スヘシ

第七十條 仕拂命令官前條ノ計算書ヲ受ケタルトキハ五日以内ニ下検査ヲ執行シ下検査書ヲ添ヘ之ヲ會計検査院ニ送付スヘシ但シ林野整理支局ニ屬スルモノハ林野整理局長ヲ經由スヘシ

第四十條 歲入歳出外現金出納  
第七十一條 大林區署長及林野整理支局長歳入歳出外現金ノ受入若ハ仕拂ヲ要スルトキハ該出納官吏ニ其ノ出納ヲ命スヘシ

第七十二條 大林區署長及林野整理支局長ハ部下ノ官吏ニ委任シテ前條ノ手續ヲ爲サシムルコトヲ得

ヲ得

第七十三條 出納官吏ハ明治二十四年三月會計検査院達第二號歳入歳出外現金出納證明規程ニ依リ歳入歳出外現金出納計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ翌年度五月三十日マテニ之ヲ大林區署長又ハ林野整理支局長ニ送付スヘシ但シ臨時ノ取扱ニ係ルモノハ此ノ限ニアラス

第七十四條 大林區署長及林野整理支局長前條ノ計算書ヲ受ケタルトキハ十日以内ニ下検査ヲ執行シ下検査書ヲ添ヘ之ヲ會計検査院ニ送付スヘシ

第五章 工事及物件買賣貸借

第七十五條 工事及物件買賣貸借ノ契約ハ大林區署長又ハ林野整理支局長之ヲ擔任シ契約書ニ署名捺印スヘシ但シ林區署長職務章程ニ依リ小林區署長ニ於テ處分シタルモノハ當該小林區署長ヲシテ之ニ署名捺印セシムヘシ

大林區署及林野整理支局所在地外ニ於テ契約ノ締結ヲ要スルモノハ部下ノ官吏ニ其ノ取扱ヲ命シ大林區署長又ハ林野整理支局長ノ代理トシテ署名捺印セシムルコトヲ得

第七十六條 國有林野又ハ其ノ產物ノ賣拂ヲ除ク外物件ノ賣買若ハ造林伐木其ノ他工事ノ請負ハ明治二十三年十月當省訓令第五十八號工事及物件賣買入札手續同契約心得隨意契約心得ニ準據スヘシ但シ工事ノ請負又ハ造林伐木事業ニ要スル人夫雇傭並種苗供給ノ請負ニシテ成規ノ書式ニ依ルモノ及金額五百圓ヲ超エサルモノハ契約書案ノ經同ヲ要セス

前項契約ノ金額五百圓ヲ超エサルモノハ對手人ヨリ請書ヲ徴シ契約書ニ代用スルコトヲ得  
第七十七條 明治三十二年八月當省令第二十六號國有林野及產物賣拂規則並工事及物件賣買入札手續ニ規定シタル保證金ハ左ノ區分ニ依リ保證金取扱官吏ヲシテ取扱ハシムヘシ



一 入札保證金及年期賣拂ニ係ル契約保證金トシテ徵收スル現金又ハ保證金トシテ徵收シタル公債證書ノ賣却代金ハ歲入歳出外現金出納官吏

二 賣拂代金ニ充當スヘキ契約保證ノ現金ハ收入官吏

三 入札又ハ契約保證金トシテ徵收スル公債證書及金庫へ寄託セシムル契約保證金ハ保管物取扱主任

第七十八條 明治三十二年<sup>十一月</sup>當省令第三十號國有林野及產物賣拂代金延納規則ニ依リ擔保トシテ徵收スル公債證書ハ保管物取扱主任ヲシテ之ヲ取扱ハシムヘシ

第七十九條 入札又ハ契約保證金若ハ延納ニ關スル擔保トシテ徵收スル記名公債證書ニハ納入ニ命シテ左ノ書類ヲ添附セシムヘシ但シ入札保證金ニ對シテハ第三號ノ通知書ヲ省略スルコトヲ得

一 賣却及記名書換手續履行ノ委任狀

二 他人ノ記名ナルトキハ其ノ承諾書

三 國債證券ナルトキハ其ノ記名證印ヲ爲シタル取扱店(日本銀行本支店又ハ代理店)地方債證券ナルトキハ其ノ發行者ニ宛タル記名者ヨリノ質權設定通知書

前項第三號ノ通知書ハ契約擔任官吏之ニ連署捺印シ第三債務者ニ送付スヘシ

第八十條 延納ニ關スル擔保ハ買受人代金ヲ完納セタルトキ返還スヘシ若代金ヲ完納セザルトキハ之ヲ賣却シ剩餘ハ還付シ不足ハ追徵スヘシ

第八十一條 國有林野及產物賣拂代金延納規則ニ依リ分割シテ代金ヲ納付セシムル場合ト雖買受人ノ請求アルトキハ最後ノ納期マテ代金ノ徵收ヲ猶豫スヘシ此ノ場合ニ於テハ滯納期間ニ對シ

法定利息ヲ徵收スルコトヲ妨ケス

買受人前項ノ請求ヲ爲ササルトキハ各納期ニ於テ納付スヘキ金額ニ充當スル爲擔保品ノ全部又ハ一部ヲ賣却シ其ノ代金中ヨリ納付スヘキ金額及賣却ニ要シタル費用ヲ控除シ剩餘ハ之ヲ金庫ニ寄託スヘシ

第八十二條 第七十七條第三號ニ掲グル公債證書ノ價格ハ時價ノ一割引ニ依リ算定スヘシ

第八十三條 第七十七條第三號、第七十八條及第八十一條第二項ノ公債證書ヲ賣却スルトキハ明治二十三年<sup>十月</sup>當省訓令第五十八號ニ準據スヘシ

第八十四條 工事及物件賣買入札手續第十二條ノ入札保證金ヲ還付スル場合ニ於テハ入札人ヲシテ預證書ノ裏面ニ領收ノ旨ヲ記入署名捺印セシムヘシ

第八十五條 大林區署長及林野整理支局長ハ必要ノ場合ニ明治二十二年<sup>十一月</sup>當省達丁第八百六十六號使用物件借入契約心得第二十條ニ規定スル期間ヲ超過シテ賃料ヲ交付スヘキ契約ヲ締結スルコトヲ得

第六章 物品(林産物品ヲ除ク)

第八十六條 物品ノ出納ハ物品出納命令官ノ捺印シタル出納命令書ニ依リ物品會計官吏之ヲ行フヘシ

第八十七條 大林區署及林野整理支局ノ管理ニ屬スル物品ハ保存品、消耗品及事業材料品ニ類別スヘシ其ノ類別ハ林野整理局長及大臣官房會計課長之ヲ定ムヘシ

第八十八條 物品出納命令官ハ買入、寄贈其ノ他ノ事由ニ依リ大林區署又ハ林野整理支局ノ管理ニ關シタル物品ハ納入命令書ト共ニ之ヲ物品會計官吏ニ交付スヘシ



第八十九條 左ノ物品ハ普通用文具トシ使用者各自ノ自辨トス

筆、ペン先、ペン軸、鉛筆、墨、朱墨、インキ、インキ壺、認印用印肉、同肉池、卷紙、押紙、硯石、硯箱、字消  
ゴム、海綿、小刀、錐、鋏、文鎮、糊板、糊入、水入、定木、尺度、烏口、コンパス、紙夾、燧鍬、綴金、留針、机拂  
用ブラッシュ

左ノ物品ハ特別用文具トシテ之ヲ買入供用セシムルコトヲ得

筆、ペン先、鉛筆、墨、朱墨、文鎮、定木、尺度、烏口、コンパス、留針(以上製圖用)

筆、墨、硯石(以上繪柱部用)

インキ、海綿(以上複寫版用)

ペン先、インキ、押紙、丸定木(以上複寫用)

筆、墨、硯石、硯箱(以上製圖所用)

右ニ掲クルモノノ外必要ノ物品ハ隨時其ノ物質及用途ヲ詳悉シ買入方ヲ農商務大臣ニ經伺ス  
ヘシ

物品出納命令官ハ前項特別用文具ノ供用ニ關シ相當ノ取締方法ヲ設クヘシ

第九十條 物品會計官吏納入命令書ヲ受ケタルトキハ之ヲ物品出納簿ニ記入シ其ノ買入ニ係ル  
モノハ證憑書類ニ登記年月日ヲ記入シテ之ヲ返付シ物品ハ直ニ倉庫ニ納メテ保管スヘシ但シ倉  
庫ニ收納スルコト能ハサルモノハ相當ノ保護方法ヲ設クヘシ

第九十一條 大林區署及林野整理支局ニ物品取扱主任ヲ置キ保存品並特別用文具ノ供用、消耗品  
及事業材料品ノ受拂ヲ取扱ハシムヘシ但シ官印ハ專用品トシテ各專用者ニ交付スヘシ小林區署  
又ハ林野整理支局出張所ノ使用ニ供スル物品ハ小林區署長又ハ其ノ出張所ノ首席者ヲ物品取扱

主任トシテ之ヲ取扱ハシムヘシ

第九十二條 物品請求書ハ物品取扱主任又ハ專用者ニ於テ之ヲ調製シ物品出納命令官ニ差出スヘ  
シ但シ消耗品及事業材料品ハ其ノ種類ニ依リ所要ノ數量ヲ概算シテ請求スヘシ

公務旅行者旅行中執務上必要ノ消耗品ハ其ノ所要高ヲ概算シ各自ニ物品請求書ヲ調製シ之ヲ物  
品出納命令官ニ差出スヘシ

第九十三條 物品出納命令官前條ノ請求ヲ受ケタルトキハ物品會計官吏ヲシテ之ヲ帳簿ニ照査セ  
シメ在庫品ナルトキハ即時、非在庫品ナルトキハ買入ノ手續ヲ了シタル上之ニ捺印シテ拂出ノ命  
令書トシ物品會計官吏ニ交付スヘシ

第九十四條 物品會計官吏前條ノ請求書ヲ受ケタルトキハ該物品ヲ請求者ニ交付シ其ノ領收證書  
ヲ徴スヘシ但シ小林區署又ハ林野整理支局出張所若ハ公務旅行者ニ遞送ヲ要スルモノナルトキ  
ハ通知書ト共ニ現品遞送ノ手續ヲ爲シ其ノ領收證書ヲ徴スヘシ

第九十五條 物品取扱主任ハ物品ノ不用ニ屬シタルモノアルトキハ返納書ヲ調製シ現品ト共ニ之  
ヲ物品出納命令官ニ差出スヘシ但シ小林區署及林野整理支局出張所ニ在ル物品ハ之ヲ遞送セス  
返納書ニ預證ヲ添ヘ處分意見ヲ具申セシムヘシ

前項但書ノ場合ニ於テハ物品出納命令官其ノ得失ヲ勘査シ遞送又ハ賣却ノ處分ヲ爲スヘシ

第九十六條 物品出納命令官前條ノ返納書ヲ受ケタルトキハ之ニ捺印シ現品又ハ預證ト共ニ物品  
會計官吏ニ交付スヘシ但シ消耗品ナルトキハ尙第八十八條ノ手續ヲ爲スヘシ

第九十七條 物品會計官吏前條ノ返納書ヲ受ケタルトキハ帳簿ニ照査シテ物品ヲ檢査シ異狀ナキ  
モノハ領收證書ヲ交付シ異狀アルモノハ物品出納命令官ノ指揮ヲ受ケテ處理スヘシ



第九十八條 物品取扱主任交替シタルトキハ前任者ヨリ物品ヲ後任者ニ引繼キ後任者ニ於テ物品  
受授報告書ヲ調製シ前任者ト連署シテ之ヲ物品會計官吏ニ送付スヘシ

第九十九條 物品會計官吏前條ノ報告書ヲ受ケタルトキハ帳簿ニ照査シテ物品出納命令官ノ閱覽  
ニ供スヘシ

第一百條 物品ノ修繕ヲ要スルトキハ在庫品ニ在リテハ物品會計官吏、供用品ニ在リテハ物品取  
扱主任之ヲ物品出納命令官ニ請求スヘシ

物品出納命令官前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ其ノ得失ヲ勘査シテ相當ノ處分ヲ爲スヘシ

第一百一條 物品ノ使用者ハ各自物品取扱主任ニ就キ共用品受拂簿、消耗品受拂簿又ハ事業材料品  
受拂簿ニ品名、數量、月日及官氏名ヲ記入捺印ノ上現品ヲ領收スヘシ但シ交付スヘキ數量ノ制限  
等ハ物品出納命令官之ヲ定ムヘシ

第一百二條 物品取扱主任概算ヲ以テ領收シタル消耗品及事業材料品ハ毎年三月、九月ノ兩度ニ於  
テ精算書ヲ調製シ其ノ翌月五日マテニ之ヲ物品出納命令官ニ差出スヘシ但シ精算上殘餘ノ物品  
ハ順次繰越使用スルコトヲ得

第一百三條 公務旅行者概算ヲ以テ領收シタル消耗品ハ歸廳後五日以内ニ精算書ヲ調製シ之ヲ物品  
出納命令官ニ差出スヘシ但シ殘餘ノ物品ハ返納書ヲ調製シ現品ト共ニ精算書ニ添附スヘシ

第一百四條 公務旅行者ハ必要已ムヲ得サル場合ニ限り出張先ニ於テ消耗品ヲ買入使用スルコトヲ  
得但シ物品出納命令官ニ於テ相當ノ取締方法ヲ設クヘシ

第一百五條 物品會計官吏ハ在庫及使用ニ供シタル物品保管ノ責ニ任ス

第一百六條 物品取扱主任、官印ノ專用者及公務旅行者ハ其ノ領收シタル物品ニ對シ管守ノ責ニ任

ス但シ大林區署及林野整理支局外ハ携帶中ノモノハ携帶者之カ責ニ任ス

第一百七條 故意若ハ怠惰ニ因リ物品ヲ亡失毀損シタル者ハ辨償ノ責ニ任スルモノトス但シ物品取  
扱主任ハ第一百十條ニ規定シタル監督ヲ怠リタル場合ノ外其ノ責ヲ免ルコトヲ得

第一百八條 物品出納命令官ハ監督上毎年三月委員ヲ命シ物品會計官吏ニ立會ハシメ該官吏ノ保管  
ニ關スル物品及帳簿ヲ檢閲シ其ノ調書ヲ調製セシムヘシ但シ供用中ノ物品ハ物品取扱主任ノ領  
收證書ヲ以テ現品ト看做スコトヲ得

物品出納命令官必要ト認ムルトキハ臨時ニ保管物品ノ檢閲ヲ爲サシムルコトヲ得

第一百九條 物品會計官吏ハ監督上毎年三月物品出納命令官ノ命シタル委員立會ノ上帳簿ニ照査シ  
供用品ノ數量、狀況及使用ノ適否ヲ檢閲シ其ノ調書ヲ調製シテ之ヲ物品出納命令官ニ差出スヘ  
シ但シ小林區署及林野整理支局出張所ノ物品ハ小林區署長又ハ其ノ出張所首席者ノ保證書ヲ以  
テ之ニ代用スルコトヲ得

第一百十條 物品取扱主任ハ監督上毎年三月、九月ノ兩度ニ於テ供用品ノ狀況及使用ノ適否ヲ檢査  
シ調書ヲ製シテ物品出納命令官ノ閱覽ニ供スヘシ

第一百一條 物品ノ亡失毀損アルトキハ各責任者其ノ事實ヲ詳記シタル證明書ヲ調製シ之ヲ物品  
出納命令官ニ差出スヘシ

第一百十二條 物品出納命令官前條ノ證明書ヲ受ケタルトキハ之ヲ審査シ故意若ハ怠惰ニ因リ亡失  
又ハ毀損シタルモノト認ムルトキハ其ノ顛末及處分意見ヲ具シ責任者ノ證明書寫ヲ添へ農商務  
大臣ニ稟申スヘシ但シ亡失毀損ニ係ル物品ノ代價ヲ辨償セシムヘキモノハ辨償金額算定ノ基因  
ヲ附記スヘシ



第百十三條 亡失毀損ノ原因故意若ハ怠惰ニアラスト認ムルトキハ物品出納命令官限之ヲ處分スヘシ但シ毀損ノ物品ニシテ修繕ノ見込ナキモノハ之ヲ賣却シ其ノ價格ヲ有セサルモノハ之ヲ棄却スルコトヲ得

第百十四條 物品出納命令官他廳ヨリ物品ノ保管轉換ヲ受ケタルトキハ領收證書ヲ送付シ現品ハ納入命令書ト共ニ之ヲ物品會計官吏ニ交付スヘシ

他廳ヨリ物品ノ保管轉換ヲ要スルトキハ第九十二條乃至第九十四條ノ規定ヲ準用ス

第百十五條 物品會計官吏ハ毎年度經過後四箇月以内ニ物品出納簿ヲ以テ計算書ニ充テ物品出納命令官ノ検査ヲ受ケルヘシ

第百十六條 物品出納命令官前條出納簿ノ検査ヲ執行シタルトキハ出納簿ノ末尾ニ検査済ノ旨ヲ記入捺印スヘシ

第百十七條 物品出納命令官ハ左ノ事項ニ就キ直ニ検査成績報告書ヲ調製シ之ヲ農商務大臣ニ提出スヘシ

一 物品會計官吏官氏名及其ノ出納管理期

二 物品出納簿ト證據書及現品ト符合ノ保證

三 事實ニ適合セスト認メタル事項

第百十八條 物品會計官吏交替ノトキハ交替後二箇月以内ニ前二條ノ手續ヲ爲スヘシ

第百十九條 物品出納命令官ハ毎年度三月三十一日現在ノ保存品報告書ヲ調製シ二箇月以内ニ之ヲ農商務大臣ニ提出スヘシ

第七章 出納官吏

第百二十條 大林區署長及林野整理支局長ハ左ノ區分ニ依リ部下ノ官吏ニ出納官吏ヲ命スヘシ

一 大林區署及林野整理支局ニ主任收入官吏及物品會計官吏ヲ置ク

二 小林區署及林野整理支局出張所ニ主任收入官吏ヲ置ク

三 前二號ノ外必要アルトキハ臨時若ハ臨時現金前渡ヲ受クル官吏 歳入歳出外現金出納官吏 又ハ林産物品會計官吏ヲ置クコトヲ得

第百二十一條 前條ノ出納官吏ニシテ身元保證金ノ納付ヲ要スルモノアルトキハ大林區署長及林野整理支局長ハ左ノ標準ニ依リ身元保證金額ヲ定メ之ヲ出納官吏ニ達スヘシ

收入官吏

歳入歳出外現金出納官吏

一箇年取扱額 保證金額

五百圓以上七百圓未満 四拾圓

七百圓以上壹萬圓未満 貳百圓マテ毎ニ 壹圓ヲ加フ

壹萬圓以上拾萬圓未満 六百圓マテ毎ニ 壹圓ヲ加フ

拾萬圓以上 千參百圓マテ毎ニ 壹圓ヲ加フ

常時現金前渡ヲ受クル官吏 保證金額

一箇年取扱額 五拾圓

五百圓以上六百圓未満 百圓マテ毎ニ 壹圓ヲ加フ

六百圓以上壹萬圓未満 五百圓マテ毎ニ 壹圓ヲ加フ

壹萬圓以上拾萬圓未満 五百圓マテ毎ニ 壹圓ヲ加フ



拾萬圓以上

千圓マテ毎ニ

壹圓ヲ加フ

物品會計官吏

林產物品會計官吏

保管物品價格

千圓以上千五百圓未満

千五百圓以上壹萬圓未満

壹萬圓以上拾萬圓未満

拾萬圓以上

保證金額

貳拾圓

貳圓ヲ加フ

壹圓ヲ加フ

貳千圓マテ毎ニ

壹圓ヲ加フ

第百二十一條

出納官吏ノ取扱金額又ハ保管物品價格ニ變更ヲ生シタルトキハ大林區署長及林野整理支局長ハ出納官吏ニ身元保證金ノ増額若ハ減額ヲ達スヘシ

第百二十二條 大林區署長及林野整理支局長ハ出納官吏交替ノ場合ニ於テ前任官吏ト同一ノ身元保證金額ヲ後任官吏ニ達スヘシ

第百二十四條 出納官吏身元保證金ヲ納付セントスルトキハ明治二十六年九月大藏省令第二十號保管物取扱規程ニ依リ現金ヲ金庫ニ預入其ノ保管證書ヲ得テ之ニ身元保證金納付書ヲ添ヘ大林區署長又ハ林野整理支局長ニ差出スヘシ

第百二十五條 出納官吏土地ヲ以テ現金ニ代用セントスルトキハ登記請求書一通ニ抵當權設定證書ヲ添ヘ之ヲ大林區署長又ハ林野整理支局長ニ差出スヘシ

第百二十六條 大林區署長及林野整理支局長前條ノ請求ヲ受ケタルトキハ不動産登記ノ手續ヲ爲

スヘシ

第百二十七條 出納官吏公債證書ヲ以テ現金ニ代用セントスルトキハ記名札附ノ公債證書ヲ保管物取扱規程ニ依リ金庫ニ預入其ノ保管證書ヲ得テ之ニ公債證書納付證書ヲ添ヘ大林區署長又ハ林野整理支局長ニ差出スヘシ但シ此ノ場合ニ於テハ第七十九條第一項ノ規定ヲ準用ス

第百二十八條 大林區署長及林野整理支局長ハ納付濟ノ身元保證金ニ對シ納付濟證書ヲ出納官吏ニ交付スヘシ但シ記名公債證書ヲ以テ現金ニ代用ノ場合ニ於テハ第七十九條第二項ノ規定ヲ準用ス

第百二十九條 出納官吏土地若ハ公債證書ヲ以テ現金ニ代用スル場合ニ於テハ明治二十三年一月勅令第四號第三條及第四條ノ計算ニ依リ其ノ價格身元保證金額ヲ超過スルヲ妨ケス

第百三十條 出納官吏保證人ヲ立テ身元保證金ノ全部若ハ一部ノ免除ヲ請ハントスルトキハ身元保證金免除願書ニ保證人トナルヘキ者ノ資産ニ對シ官廳若ハ市町村長銀行會社等ノ證明ヲ附シタル資産調書及辨償引受證書ヲ添ヘ大林區署長又ハ林野整理支局長ノ認可ヲ受クヘシ但シ相當ノ資産アリト認め得ヘキ官吏ヲ保證人トスル場合ニ於テハ資産調書ヲ省略スルコトヲ得

第百三十一條 出納官吏身元保證金ノ拂戻ヲ要スルトキハ身元保證金拂戻請求書ニ身元保證金納付濟證書ヲ添ヘ責任解除ヲ得タルコトヲ大林區署長又ハ林野整理支局長ニ證明シ其ノ拂戻ヲ請求スヘシ但シ保證人ヲ立テタルモノハ辨償引受證書下戻請求書ヲ差出スヘシ

第百三十二條 大林區署長及林野整理支局長前條ノ請求ヲ受ケタルトキハ保管證書、抵當權設定證書、公債證書納付證書又ハ辨償引受證書ヲ出納官吏ニ還付ノ手續ヲ爲シ領收證書ヲ徴スヘシ

第百三十三條 出納官吏在勤廳ノ變更等ニ依リ前ニ納付濟ノ身元保證金ヲ以テ後ニ納付スヘキ金



額ノ全部若ハ一部ニ充用セントスルトキハ其ノ旨ヲ大林區署長又ハ林野整理支局長ニ届出テ之ヲ充用スルコトヲ得但シ他人ノ土地又ハ公債證書ヲ以テ現金ニ代用シタルモノハ各所有者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

甲廳ニ納付濟ノモノヲ乙廳ニ充用セントスルトキハ甲大林區署長又ハ林野整理支局長ヨリ左ノ證明書ヲ得テ届書ニ添附スヘシ

一 納付當時ノ職務

二 現金ヲ以テ納付ノ分ハ其ノ金額

三 土地又ハ公債證書ヲ以テ代用納付ノ分ハ抵當權設定證書又ハ公債證書納付證書ノ謄本

第百二十四條 乙廳ニ於テ前條第二項ノ届書ヲ受ケタルトキハ保證金充用ノ旨ヲ甲廳ニ通知スヘシ

第百三十五條 當該出納官吏在職中ノ取扱ニ對シ責任解除ヲ受ケタルトキハ甲廳ハ明治二十七年八月當省訓令第三十號第四項ノ手續ヲ爲シ金庫ノ保管證書及公債證書納付證書ヲ乙廳ニ引繼グヘシ

第百三十六條 土地ヲ充用シタル者ハ甲廳ノ取扱ニ對シ責任解除ヲ得ルモ乙廳ニ對スル責任ヲ解除セラルルマデハ其ノ抵當權設定證書ハ甲廳ニ於テ之ヲ保管スヘシ

第百三十七條 前條土地ヲ充用シタル出納官吏ノ責任解除トナリタルトキハ乙廳ハ直ニ其ノ旨ヲ

甲廳ニ通知スヘシ

甲廳前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ第百二十二條ノ手續ヲ爲スヘシ

第百二十八條 大林區署長及林野整理支局長第百二十條乃至第百二十二條ノ手續ヲ了シタルトキ

ハ出納官吏任命及身元保證金額報告書ヲ調製シ其ノ都度之ヲ農商務大臣、大藏大臣及會計検査院長ニ提出スヘシ但シ現金ノ徵收ヲ取扱ハサル收入官吏及身元保證金ナキ物品會計官吏ニ係ルモノハ大藏大臣ニ、臨時歳入歳出外現金出納官吏ニ係ルモノハ會計検査院長ニ報告ヲ要セス本條第二項ノ場合モ亦同シ

第二十三條ノ手續ヲ了シタルトキハ出納官吏異動報告書ヲ調製シ翌月五日マデニ之ヲ農商務大臣、大藏大臣及會計検査院長ニ提出スヘシ

第百二十八條及第百三十條ノ手續ヲ了シタルトキハ出納官吏身元保證金納付濟報告書、第百三十三條ノ手續ヲ了シタルトキハ身元保證金充用報告書ヲ調製シ翌月五日マデニ之ヲ農商務大臣及會計検査院長ニ提出スヘシ

第百三十二條ノ手續ヲ了シタルトキハ身元保證金拂戻濟報告書ヲ調製シ翌月五日マデニ之ヲ農商務大臣ニ提出スヘシ

第百二十九條 收入官吏交替ノ場合ニ於テハ明治二十六年<sup>十二</sup>月<sup>十二</sup>日大藏省訓令第七十九號及同二十七年<sup>二</sup>月<sup>二</sup>日同省訓令第十三號ニ準據スヘシ

第百四十條 出納官吏交替ノ場合ニ於テハ左ノ區分ニ依リ管理期ヲ定メ明治二十三年<sup>四</sup>月<sup>四</sup>日大藏省訓令第五十四號ニ依リ其ノ事務ヲ引繼クヘシ

一 轉任、休職又ハ退官ニ依リタルトキハ事務引繼ノ當日マテ前任官吏、其ノ翌日ヨリ後任官吏ノ管理トス

二 死亡、逃亡又ハ拘留ニ依リタルトキハ其ノ當日マテ前任官吏、其ノ翌日ヨリ後任官吏ノ管理トス



- 第四百一十一條 出納官吏交替ノ際在職中出納ノ取扱ナキトキハ會計規則第九十九條ノ計算書提出ヲ要セス其ノ旨大林區署長又ハ林野整理支局長ヲ經テ會計検査院ニ報告スヘシ
- 第四百一十二條 大林區署長及林野整理支局長ハ會計規則第九十一條ニ依リ検査員ヲシテ出納官吏ノ帳簿金櫃ヲ検査センメ其ノ檢定書ハ留置キ其ノ都度出納官吏帳簿金櫃検査報告書ヲ調製シ之ヲ農商務大臣ニ提出スヘシ但シ臨時検査ハ毎年度一回以上之ヲ執行スヘシ
- 第四百一十三條 大林區署長及林野整理支局長出納官吏保管ノ金員ヲ紛失セシコトヲ發見シタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ
- 第四百一十四條 大林區署長及林野整理支局長ハ前條ノ手續ヲ爲シタル後其ノ調査ヲ遂ケ關係者ノ手續書及會計規則第九十一條第二項ノ檢定書寫ヲ添ヘ金額及事由ヲ具シ更ニ農商務大臣ニ上申スヘシ
- 第四百一十五條 前條ノ場合ニ於テ缺損金ノ補填ヲ要スルモノハ左ノ書類ヲ添附シ缺損補填金仕拂要求書ヲ調製シ之ヲ農商務大臣ニ提出スヘシ
  - 一 會計規則第八十八條ニ依リ辨償ヲ命セラレタル顛末書但シ命セラレサルトキハ其ノ理由書
  - 二 裁判所ノ判決ヲ經タルトキハ其ノ言渡書
- 第八章 帳簿
- 第四百一十六條 大林區署長及林野整理支局長ハ左ノ帳簿ヲ設ケ收入ノ計算ヲ整理スヘシ
  - 一 歳入調定原簿
  - 二 歳入調定額整理簿
  - 三 納入告知書割印簿
  - 四 現金收入監査簿
  - 五 林野及產物賣拂代金延納整理簿

- 六 收入年期臺帳
- 七 收入延納臺帳
- 第四百一十七條 大林區署長及林野整理支局長ハ左ノ帳簿ヲ設ケ經費ノ計算ヲ整理スヘシ
  - 一 經費支出簿
  - 二 經費約束簿
  - 三 現金前渡金整理簿
  - 四 概算支出金整理簿
- 第四百一十八條 大林區署長及林野整理支局長ハ左ノ帳簿ヲ設ケ土地建物ノ増減ヲ整理スヘシ
  - 一 官用地臺帳
  - 二 官用建物臺帳
  - 三 民有土地借入臺帳
  - 四 民有建物借入臺帳
- 第四百一十九條 大林區署長及林野整理支局長ハ保管證書出納簿ヲ設ケ保管證書ノ出納ヲ整理スヘシ
- 第四百二十條 出納官吏ハ左ノ帳簿ヲ設ケ出納ノ計算ヲ整理スヘシ
  - 一 收入簿
  - 二 現金出納簿
  - 三 收入細別簿
- 第四百二十一條 物品會計官吏ハ左ノ帳簿ヲ設ケ物品ノ出納ヲ整理スヘシ
  - 一 物品出納簿
  - 二 供用品入別簿



第一百五十二條 物品取扱主任ハ左ノ帳簿ヲ設ケ物品ノ受拂ヲ整理スヘシ

- 一 共用品受拂簿
- 二 消耗品受拂簿
- 三 事業材料品受拂簿
- 四 郵便切手受拂簿

第一百五十三條 大林區署長及林野整理支局長ハ前七條ノ外必要ニ應シ適宜補助簿ヲ設クヘシ

第九章 雜則

第一百五十四條 大林區署長及林野整理支局長ハ毎年度官用地及官有建物現在報告書並増減報告書

ヲ編製シ左ノ書類ヲ添ヘ翌年度四月三十日マテニ之ヲ農商務大臣ニ提出スヘシ

一 賣拂ニ係ルモノハ其ノ豫定價格調書

二 交換ニ係ルモノハ其ノ交換ニ依テ得タル財産調書

三 買入又ハ賣拂ノ契約ニ特別ノ條件アルモノハ其ノ契約書寫

第一百五十五條 本章程ニ掲クル諸計算書表帳簿ノ様式及記入ノ方法ハ林野整理局長及大臣官房會計課長之ヲ定ムヘシ

附則

第一百五十六條 本章程ハ明治三十三年四月一日ヨリ施行ス

第一百五十七條 本章程ノ條項ト抵觸スル訓令及達等ハ本章程施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

○農商務省訓令第十二號

明治三十三年三月 農商務省訓令第十號科目表中國有林野經營費ノ款事業費ノ項造林費ノ目末位ニ苗圃番小屋及物置新營ノ一節ヲ設置ス

明治三十三年三月三十一日

農商務大臣曾禰荒助

○内務省訓令第四號

- 集 治 監 土木監督署 衛生試驗所
- 血清藥院 痘苗製造所 傳染病研究所
- 海港檢疫所 警察監獄學校

明治三十三年度當省所管歲入科目別表ノ通相定ム

但別表ハ別ニ頒ツ (別表略ス)

明治三十三年四月五日

○内務省訓令第五號

- 警 視 廳 北海道廳 府 縣
- 集 治 監 土木監督署 衛生試驗所
- 血清藥院 痘苗製造所 傳染病研究所
- 海港檢疫所 警察監獄學校

明治三十三年度當省所管歲出科目別表ノ通相定ム

但別表ハ別ニ頒ツ (別表略ス)

明治三十三年四月五日

○内務省訓令第六號

明治二十六年内務省訓令第二十二號仕拂命令集合仕拂命令發付等ニ關スル取扱手續左ノ通改正ス

但明治三十年拓殖務省訓令第五號臺灣經費取扱順序第一條ハ之ヲ削除ス

明治三十三年四月十六日

第一條 仕拂命令官仕拂命令又ハ仕拂請求書ヲ受取人ニ交付セントスルトキハ成ルヘク其交付ヲ

爲サントスル日ノ前日ニ其案内仕拂命令又ハ案内仕拂請求書ヲ金庫ニ送付スヘシ但臨時至急ヲ

要スルモノハ此限ニアラス

第二條 仕拂命令官集合仕拂命令又ハ集合仕拂請求書ヲ金庫ニ送付シタルトキハ本訓令附屬第一



號書式ノ通知書ヲ各受取人ニ交付シ受取人ヲシテ式ノ如ク領收ノ旨等ヲ記入シ署名捺印シテ之  
ト引換ニ現金ヲ金庫ヨリ受取ラシムヘシ

第三條 仕拂命令官金庫所在地外ニ在ル債主ニ仕拂ヲ要スル仕拂命令仕拂請求書又ハ集合仕拂命  
令集合仕拂請求書ヲ金庫ニ送付シタルトキハ通知書ヲ各受取人ニ送付シ現金領收ノ際受取人ヲ  
シテ式ノ如ク領收ノ旨等ヲ記入シ署名捺印シテ之ヲ金庫ニ差出サシムヘシ但在外國受取人ヘノ  
送金及電信爲換拂ノ場合ニハ本條ノ通知書ヲ送付スルニ及ハス單ニ其旨ヲ通知スルモノトス

第四條 仕拂命令官仕拂命令仕拂請求書ヲ債主ニ交付シ若クハ集合仕拂命令集合仕拂請求書又ハ  
金庫所在地外ニ在ル債主ニ仕拂ヲ要スル仕拂命令仕拂請求書集合仕拂命令集合仕拂請求書ヲ金  
庫ニ送付シタルトキハ各其領收證書ヲ徴スヘシ

前項ノ領收證書ハ會計規則第五十二條第三項ノ計算書ニ添付シ提出スヘシ

第五條 仕拂命令官仕拂命令仕拂請求書集合仕拂命令集合仕拂請求書ヲ發行シタル後科目ニ誤謬  
アルコトヲ發見シタルトキハ本訓令附屬第二號書式ノ科目訂正書ヲ當該金庫ニ送付スヘシ

第六條 毎月ノ計算整理ノ爲メ仕拂命令仕拂請求書又ハ集合仕拂命令集合仕拂請求書ヲ受取人ニ  
交付シ又ハ金庫ニ送付スルハ毎月二十八日(二月十六日)限リトス但法規上仕拂期日ノ定マレル  
モノ及臨時至急ヲ要スルモノハ此限ニアラス

第七條 仕拂命令官ハ毎月二十八日(二月十六日)ニ於テ其月中ニ金庫ニ送付シタル案内仕拂命令  
又ハ案内仕拂請求書ニ對スル仕拂命令又ハ仕拂請求書ニシテ事故アリテ同日迄ニ受取人ニ交付  
スルニ至ラザリシモノアルトキハ之ヲ調査シ即日其案内仕拂命令又ハ案内仕拂請求書ノ返付ヲ  
金庫ニ請求スヘシ但其二十八日(二月十六日)以後ノ送付ニ係ルモノニシテ其月中ニ交付スルニ  
至ラサルモノアルトキハ末日ニ於テ本文ノ手續ヲナスヘシ

第八條 仕拂命令官金庫出納事務規程作業及鐵道會計金庫出納事務規程ニ據リ金庫ヨリ歳出金月

計對照表歳出仕拂未済繰越金支出月計對照表ニ證憑書類ヲ添ヘ送付ヲ受ケタルトキハ其仕拂命  
令受領濟額並ニ仕拂請求書受領濟額ハ仕拂命令仕拂請求書發行額ニ其現金仕拂額ハ證憑書類ニ  
對照シ相違アルトキハ速ニ其事由ヲ付シテ之ヲ返付シ相違ナキトキハ書面ノ金額調査候處相  
違無之ニ付證明シ證憑何枚及返却候也ト記入署名捺印シ證憑書類ト共ニ三日以内ニ之ヲ金庫  
ニ返付スヘシ

前項ニ據リ證明ヲ爲シタル後該證明ニ就キ誤謬ヲ發見シタルトキハ其事由ノ證明書ヲ作り之ヲ  
金庫ニ交付スヘシ

第九條 仕拂命令官ハ照較ノ用ニ供セシムル爲メ其印鑑ヲ金庫ニ送付スヘシ

備考  
金庫所在地外ニ在ル債主ニ仕拂ヲ要スル分ノ通知書ハ書式ノ通裏書ヲ爲シ債主ニ送付スルモノトス仕拂命令ヲ當テタル金  
庫外ノ金庫ラシテ振換拂ヲ爲サシムル分ノ通知書ニハ仕拂金庫ノ欄ニ振換拂金庫名ヲ記入スルモノトス  
證券印紙ノ貼用ヲ要スルモノハ仕拂命令官ニ於テ其旨ヲ通知書ニ記入スルモノトス

第一號書式 (用紙寸法 縦四寸五分)

内務省主管	取	番	號	仕拂	何	地	金	庫
「某年度仕拂命令(仕拂請求書)又ハ集合仕拂命令(集合仕拂請求書)第	「何號金額氏名表第」何號(金額氏名表云々)記入ヲ要スルハ該令	「何號金額氏名表第」何號(仕拂命令集合仕拂請求書ノ場合ニ限ル)						
一金、何圓也								
右金額ニ對スル仕拂命令(仕拂請求書)本日發行濟ニ付前記金庫ヨリ現								
金ヲ受取ルヘシ								
明治「何年」「何月」「何日」								
「何號仕拂命令官」								
「官」氏 名 圖								

受取人金庫  
日付現金受  
取ノ際式ノ  
如ク領收ノ  
旨等ヲ記入  
シ署名捺印  
シテ之ヲ金  
庫ニ交付ス  
ヘシ



式入記證收領

通知書裏面

一 受取人ニ於テ金庫ニ就キ現金ヲ受取度望ミノモノハ此通知書ヲ以テ仕拂金庫ニ於テ現金ヲ領收スヘシ  
若シ自己ノ住居地送金ヲ要スルモノハ其旨仕拂金庫ヘ請求スヘシ

前記ノ金額領收候也

明治何年何月何日

受取人 何

某團

第二號書式

第何號	歲出科目訂正書	何年度歲出經營部(臨時部)何課所管
一金何程	「此訂正科目」	何々(款) 何々(項)
	右何年何月何日發行第何號仕拂命令(仕拂命令書其外何々(款)何々(項)ノ通訂正ヲ要ス)	何ノ誰渡ノ分科目未書
	何年何月何日	何處仕拂命令官 官 氏 名 團
	何地 金庫宛	

○內務省訓令第七號

大臣官房庶務課 衛生局  
集 治 監 土木監督署

明治二十八年內務省訓令第五百四十五號訓令諸收入收納取扱規程左ノ通改正シ明治三十三年度ヨリ施行ス

但明治二十九年拓殖務省訓令第三號ハ之ヲ廢止ス  
明治三十三年四月十六日

內務大臣 侯爵西郷從道

諸收入收納取扱規程

- 第一條 內務省所管ノ諸收入ハ此規定ニ依リ取扱フヘシ
- 第二條 大臣官房庶務課長、衛生局長、各廳長官ハ納期日ヲ定メ各納人ニ對シ別記書式ノ納入告知書ヲ發スヘシ但納人ヲシテ收入官吏ニ即納セシムル場合ニ於テハ納入告知書ヲ發スルコトヲ要セス
- 第三條 集治監典獄ハ分監長ニ委任シテ諸收入收納事務ヲ分掌セシムルコトヲ得
- 第四條 納入告知書ハ納人ヲシテ納金ヲ納付スルトキ之ヲ添付セシムヘシ
- 第五條 大臣官房庶務課長、衛生局長、各廳長官ハ納金ヲ其納期限内ニ完納セサル者アルトキハ直チニ督促シ尙未完納ニ至ラサルトキハ速ニ相當ノ手續ヲ爲スヘシ
- 第六條 收入官吏ハ毎月現金拂込仕譯書ヲ調製シ各所屬ノ長官ニ報告スヘシ
- 第七條 大臣官房庶務課長、衛生局長、各廳長官ハ徵收簿ニ據リ徵收報告書ヲ調製シ歲入金月計對照表ヲ添ヘ之ヲ內務省ニ差出スヘシ
- 第八條 大臣官房庶務課、衛生局、衛生試驗所、血清藥院、痘苗製造所、傳染病研究所、海港檢疫所、警察



監獄學校ニ於ケル徵收官ハ徵收簿ニ據リ歲入徵收額計算書ヲ調製シ會計規則第五十二條ニ依リ之ヲ内務省ニ差出スヘシ

第九條 集治監、土木監督署ニ於ケル徵收官ハ徵收簿ニ據リ歲入徵收額計算書ヲ調製シ會計規則第五十二條ニ依リ之ヲ會計検査院ニ差出スヘシ

第十條 諸收入ノ徵收事務整理上必要ナル取扱手續及帳簿報告等ノ書式ハ適宜之ヲ定ムヘシ

(別記)

備考

領收證書及報告書(通知書)用紙ノ納入金額納入年度種類等ハ總テ納入告知書發行總ニ於テ記入スルモノトス

用紙適宜 縦四寸五分ノモノ二枚 横四寸五分ノモノ一枚 接續

納入告知書

第「何」號「某」年「度」	「何」都市「何」町村「何」某「納
經常(臨時)「何」々「(款)」	「何」々「(項)」
内務省主管	「取」扱「職」名
一金 何 程	

「但何々」(收入ノ目的ヲ記載ス)

右(何)年(何)月(何)日限リ收入官吏官氏名又ハ(何)々(金庫)納付スヘシ

明治「何」年「何」月「何」日 納入告知書發行者「官」氏「名」

金庫 割印

領收證書

第「何」號「某」年「度」	「何」都市「何」町村「何」某「納
取「扱」職「名」	
一金 何 程	

「但何々」

右領收候也

明治「何」年「何」月「何」日

「收入官吏官氏名」

又ハ「何地金庫」

金庫 割印

報告書

第「何」號「某」年「度」	「何」都市「何」町村「何」某「納
經常(臨時)「何」々「(款)」	「何」々「(項)」
内務省主管	「取」扱「職」名
一金 何 程	

右領收簿ニ付報告(通知)候也

明治「何」年「何」月「何」日

「各廳長官氏名宛」

「收入官吏官氏名」

又ハ「何地金庫」

金庫 割印



〔参照〕

明治二十九年五月 拓殖務省訓令第三號ハ賭收入收納取扱順序ナリ

○内務省訓令第八號

今般會計規則改正相成候ニ付テハ明治三十三年度歳入ニシテ従前ノ手續ニ依リタルモノハ此際本年大藏省訓令第二十六號ノ手續ニ準據シ整理スヘシ

歳入徴收官

明治三十三年四月十六日

内務大臣 侯爵西郷從道

北海道廳 府縣

○内務省訓令第九號

第一條 土地收用法第三十二條ノ規定ニ依リ許可ヲ與フル場合ニ於テ其起業地内ニ土地收用法施行令第三條ニ掲ケタル土地アルトキハ本大臣ニ稟伺ノ上處分スヘシ

第二條 左ニ掲ケタル場合ニ於テハ關係書類ヲ添ヘ其都度本大臣ニ報告スヘシ

一 土地收用法第九條第二項、第十九條、土地收用法施行令第五條第二項、第九條又ハ第十條第二項ニ依ル公告又ハ通知ヲ爲シタルトキ

二 起業者カ内閣ノ認定ノ公告ノ後三箇年内ニ土地收用法第十九條ノ申請ヲ爲ササルトキ

三 收用審査會ノ裁決ノ報告ヲ受ケ又ハ之ニ代テ裁決ヲ爲シタルトキ

四 起業者カ土地收用法第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後一箇年内ニ收用審査會ノ裁決ヲ求メサルトキ

五 土地收用法第五十九條ノ規定ニ依リ決定ヲ爲シタルトキ

第三條 左ニ掲ケタル事項ニ付テハ其都度郡市長ヲシテ地方長官ヲ經由シテ本大臣ニ報告セシムヘシ

一 土地收用法第十五條第一項ノ規定ニ依リ認定ヲ爲シタルトキハ起業者、事業ノ種類、使用スヘキ土地ノ區域及使用ノ期間

二 土地收用法第十五條第三項ニ依ル通知ヲ受ケタルトキハ使用スヘキ土地ノ區域  
第四條 土地收用法第十三條ニ依リ起業者ノ申請書ヲ進達スルトキハ起業地全部ノ市町村名調書ヲ添付スヘシ

明治三十三年四月十九日

内務大臣 侯爵西郷從道

稅務管理局 收入官吏 金庫出納役

○大藏省訓令第十五號

明治三十年大藏省訓令第三十九號中左ノ通改正シ明治三十三年度ヨリ施行ス

大藏大臣 伯爵松方正義

明治三十三年四月四日

第一條 稅務署長ハ地租名寄帳及地租收納簿ヲ備ヘ地租名寄帳ニハ明治二十七年大藏省訓令第十

一號書式甲號ニ準シ納人別ニ稅務署所在地ノ地租ニ關スル事項地租收納簿ニハ別記書式ニ據リ納人別ニ稅務署所在地ノ地租徴收ニ關スル事項ヲ記入スヘシ

第二條 收入簿ヲ削ル

第三條 中之ヲ收入簿ヘ記入シヲ削ル

第四條 中及收入簿ヲ削ル

第六條 乃至第八條及第一號書式ヲ削リ第二號書式ヲ別記書式ニ改ム

〔参照〕

大藏省訓令第三十九號(明治三十年六月二十九日)抄録

市制町村制未施行地ノ國稅徴收事務取扱方左ノ通心得ヘシ

第一條 稅務署長ハ既定ノ帳簿ノ外左ノ帳簿ヲ備フヘシ

一 地租名寄帳

二 納期別調査簿

三 地租收納簿

地租名寄帳ハ明治二十七年大藏省訓令第十一號書式甲號ニ準シ納人別ニ稅務署所在地ノ地租ニ關スル事項納期別調査簿



ハ第一號書式ニ據リ月長毎ニ其ノ徵收スベキ國稅ノ調定額、收入済額、收入未済額、地租收納簿ハ第二號書式ニ據リ納別ニ稅務署所在地ノ地租徵收ニ關スル事項ヲ記入スルモノトス

第二條 月長ハ收入簿、現金出納簿ノ外從前ノ様式ニ據リ地租名寄帳、徵收元帳、收納簿、國稅金收納集計簿ヲ備ヘ税金ノ徵收ニ關スル事項ヲ記入スヘシ

第三條 月長ハ稅務署長ヨリ納額ノ通知ヲ受ケタルトキハ之ヲ收入簿ヘ記入シ地租名寄帳、徵收元帳又ハ納額通知書ヘ添付シ一人別仕圖書ニ據リ各納税人ノ納額ヲ收納簿ヘ記入シ之ニ依リ納稅告知書ヲ調製シテ各納税人ヘ發送スヘシ

第四條 月長ハ納税人ヨリ税金ヲ領收シタルトキハ收納簿、現金出納簿及收入簿ヘ記入シ其ノ税金ハ出納官吏現金取扱規則第二章第三章ニ依リ取扱フヘシ但シ現金拂込書及控額領收證書通知書ノ各金額ノ肩書ニ納額通知書ノ番號ヲ記入スヘシ

第六條 月長ハ毎月收入報告書ニ準シタル報告書ヲ作り其ノ取扱ニ係ル國稅ノ調定額、收入済額、收入未済額、現金拂込仕簿ヲ記入シ毎月對照表ニ添付シ翌月五日限リ差立テ所轄稅務署長ヲ經由シテ稅務管理局長ニ送付スヘシ

但シ相當ノ事故アリテ本項ノ期日ニ遅ル、モノハ其ノ事由書ヲ添付スヘシ

前項ノ報告アリタルトキハ稅務署長ハ之ヲ納期別調査簿ト照合シ調査ノ上報告書到達ノ日ヨリ三日以内ニ差立テ稅務管理局長ニ送付スヘシ

第七條 月長ハ滯納報告ヲ爲シタルトキハ其ノ納額ヲ調定額ヨリ控除スヘシ

前項報告ノ後各納税人ヨリ收入シタルモノアルトキハ之ヲ調定額ニ組入レ其ノ時々稅務署收入官吏ニ報告スヘシ

第八條 稅務署長前條第一項ノ報告ヲ受ケタルトキハ其ノ金額ヲ調定額ニ組入レ前條第二項ノ報告ヲ受ケタルトキハ之ヲ調定額ヨリ控除スヘシ

○大藏省訓令第十六號

北海道廳 長崎縣 島根縣  
鹿兒島縣 稅關 稅務管理局

稅關及稅務管理局收入官吏配置方左ノ通相定メ明治三十三年度ヨリ施行ス  
明治三十三年四月四日 大藏大臣伯耆松方正義

第一條 稅關支署長ハ稅關支署ノ收入官吏トス  
稅關長ハ必要ニ應シ部下ノ官吏ニ收入官吏ヲ命スルコトヲ得  
貨物ノ検査ニ從事シタル官吏關稅ヲ收入シタルトキハ其ノ所屬收入官吏ノ分任官ト心得ヘシ

第二條 稅務署長那霸稅務所長ハ收入官吏トス但稅務管理局長ハ必要ニ應シ他ノ官吏ニ收入官吏ヲ命スルコトヲ得

ヲ命スルコトヲ得

第三條 町村制ヲ施行セサル地方ニシテ稅務署所在地外ニ在ル町村ノ戶長ハ收入官吏トシテ國稅ノ徵收事務ヲ取扱フヘシ

第四條 稅關長又ハ稅務管理局長ハ第一條第二項又ハ第二條但書ニ依リ收入官吏ヲ命シタルトキ若ハ收入官吏ニ異動ヲ生シタルトキハ左記書式ニ據リ報告スヘシ

在稅部局名	所在地名	現金取扱見込額	前 任 者	後 任 者	事務授受年月日
			解職年月日 官氏名	就職年月日 官氏名	

右報告候也  
年 月 日  
何稅關長又ハ何稅務管理局長氏名印

大藏大臣宛

備考  
一 國稅ノ收入ヲ取扱フ收入官吏ト國稅外諸收入ノ收納ヲ取扱フ收入官吏トハ之ヲ區別シ別紙ニ調製スヘシ  
但一人ニシテ右ニ資格ヲ兼ル者ハ國稅收入官吏ニ係ル報告書官氏名ノ肩書ニ「諸收入收入官吏兼務」ト記入シ諸收入收入官吏ニ係ル報告書ニハ之ヲ除クヘシ  
更ニ係ル報告書ニハ之ヲ除クヘシ

一 收入官吏ニシテ歳入歳出外ノ現金ヲ取扱フ出納官吏ノ資格ヲ兼ル者ハ尙其資格ニ就キ之ヲ別紙ニ調製スヘシ  
一 從前身元保證金ヲ納付セサル收入官吏ニシテ之ヲ納付スヘキ資格ニ變更セル場合ハ特ニ報告スヘシ  
一 新タニ收入官吏ヲ命シタルトキハ前任者ノ職ニ糾纏ヲ施シ後任者ノ職ニ記入スヘシ

○大藏省訓令第十七號  
稅務管理局(那霸稅務管  
理局ヲ除ク)  
明治三十年大藏省訓令第四十號第七條左ノ通改正シ明治三十三年度ヨリ施行ス

第七條 滯納處分ノ引繼ヲナシタル稅務署長ハ其金額ヲ調定額ヨリ控除シ其引繼ヲ受ケタル稅務



署長ハ其金額ヲ調定額ニ組入レ整理スヘシ

〔参照〕

大藏省訓令第四十號(明治三十年七月十日)抄録

國稅徵收事務取扱方左ノ通心得ヘシ

第七條 滯納處分ノ引繼ヲ爲シタル稅務署長ハ其ノ金額ヲ不納缺損額トシテ整理シ其ノ引繼ヲ受ケタル稅務署長ハ其ノ金額ヲ調定額ニ組入レ整理スヘシ

○大藏省訓令第十八號

警視廳 北海道廳 府縣

明治二十六年大藏省訓令第五十號左ノ通改正シ明治三十三年度ヨリ施行ス

明治三十三年四月四日

大藏大臣伯耆松方正義

各廳長官ハ諸收入ノ收入官吏ヲ命シ左記書式ニ依リ報告スヘシ其異動ヲ生シタルトキ亦同シ

諸收入收入官吏(若クハ收入官吏ニシテ歳入歳出外ノ現金ヲ取扱フ者)任命(異動)報告書

在職部局名	所在地名	現金取扱見込	前 任 者	後 任 者	事務授受年月日
			官氏名	解職年月日	官氏名

右報告候也

年 月 日

長官官氏名④

大藏大臣宛

備考

一 收入官吏ニシテ歳入歳出外ノ現金ヲ取扱フ出納官吏ノ資格ヲ兼ル者ハ尙其資格ニ就キ之ヲ別紙ニ調製スヘシ

一 従前身元保証金ヲ納付セサル收入官吏ニシテ之ヲ納付スヘキ資格ニ變更セル場合ハ特ニ報告スヘシ

一 新ニ收入官吏ヲ命シタルトキハ前任者ノ欄ニ斜線ヲ施シ後任者ノ欄ニ記入スヘシ

○大藏省訓令第十九號

稅務管理局 稅關

明治三十二年大藏省訓令第五十三號關稅噸稅及稅關雜收入取扱規程中左ノ通改正シ明治三十三年度ヨリ施行ス

明治三十三年四月四日

大藏大臣伯耆松方正義

第六條 收入官吏ハ會計規則第二十五條ニ依リ領收濟ノ報告ヲナストキハ稅關支署管轄内ニアリテハ稅關支署長ヲ經由シ其他ハ直接ニ稅關長ニ報告スヘシ

第七條 收入官吏ハ第四號書式ニ據リ毎月現金拂込仕譯書ヲ調製シ翌月一日限り稅關支署長ヲ經由シ又ハ直接ニ稅關長ニ報告スヘシ但稅關及稅關支署在勤ノ收入官吏ハ第四號書式ニ準シタル帳簿ヲ備ヘ之ヲ以テ報告ニ代フルコトヲ得

第八條 稅關支署長ハ納額整理簿ノ結果ニ依リ明治三十三年大藏省令第三十二號第四號書式ニ準シ徵收報告書ヲ調製シ翌月五日迄ニ稅關長ニ送付スヘシ

第九條 稅關長ハ徵收簿ニ依リ徵收報告書ヲ調製シ歳入金月計對照表ヲ添ヘ翌月十五日迄ニ大藏省ニ送付スヘシ

第一號書式中「何稅關主任收入官吏」官氏名所屬トアル二欄ヲ「何稅關所屬ノ一欄ニ分任收入官吏

「官氏名」扱トアルヲ「何稅關支署扱」主任收入官吏官氏名又ハ「何稅關又ハ「扱」ニ主任收入官吏官氏名宛」トアルヲ「何稅關長氏名」宛ニ改メ備考ヲ左ノ如ク改ム

稅關直接ノ扱ニ係ルトキハ納稅告知書式中何稅關支署扱欄ニ斜線ヲ畫スヘシ

第三號書式中現金收入トアルヲ收入官吏ノ領收濟通知ヲ受クニ改メ同書式ノ備考ヲ削除ス

第四號書式

「何年度歳入經常部

「何年」何月分現金拂込仕譯書

明治三十三年四月 訓令 大藏省第十九號

八九



前月迄、拂込未済	五〇〇〇
本月中現金領收高	一〇〇〇〇〇
計	一〇五〇〇〇
本月中現金拂込高	一〇五〇〇〇
差引翌月へ越	〇
年月日	

〔何〕税關長〔氏名〕宛

收入官吏〔官氏名〕國

備考 本書ハ租税卜租稅外卜ニ分チ別紙ニ調製スルヲ要ス

〔参照〕

大藏省訓令第五十三號關稅噸稅及稅關雜收入取扱規程(明治三十二年七月二十五日)抄録

第六條 分任收入官吏ハ收入簿ノ結果ニ依リ明治二十六年大藏省令第三十二號第四號書式ニ準シ收入報告書ヲ調製シ歳入金突合表其ノ他参照書類ヲ添ヘ翌月五日迄ニ主任收入官吏ニ發送スヘシ

第七條 會計規則第三十條ノ報告書ハ翌月十五日迄ニ大藏省ニ發送スヘシ

○大藏省訓令第二十號

明治三十一年大藏省訓令第十一號中左ノ通改正シ明治三十三年度ヨリ施行ス

稅務管理局

明治三十三年四月四日

大藏大臣 伯耆松方正義

第二條 稅務管理局長ハ第三號書式繰越額整理簿ヲ備ヘ前年度ニ於テ收入未済繰越ニ係ル事項ヲ記入スヘシ

第三條及第四條ヲ削ル

第五條 收入官吏ハ會計規則第二十五條ニ依リ領收濟ノ報告ヲナストキハ第四號書式ニ據リ稅務署ノ取扱ニ係ルモノハ稅務署長ヲ經由シ其他ハ直チニ稅務管理局長ニ報告スヘシ

第六條 稅務署長ハ徵稅簿ニ據リ第五號書式ノ徵收報告書ヲ調製シ翌月五日マテニ稅務管理局長ニ送付スヘシ

第七條 收入報告書ヲ徵收報告書ニ改ム

第八條 稅務管理局長ハ徵收簿ニ據リ徵收報告書ヲ調製シ歳入金月計對照表ヲ添ヘ翌月十五日マテニ大藏省ニ送付スヘシ

第九條 收入官吏ハ第六號書式ニ據リ毎月現金拂込仕譯書ヲ調製シ翌月一日限り稅務署ノ取扱ニ係ルモノハ稅務署長ヲ經由シ其他ハ直チニ稅務管理局長ニ報告スヘシ但稅務管理局及稅務署在勤ノ收入官吏ニ於テハ第六號様式ニ準シタル帳簿ヲ備ヘ之ヲ以テ報告ニ代フルコトヲ得

(内竝ニ印章ハ何レモ未)

第一號書式

何年度	
何税(目)第何期又ハ臨時收入	
徵稅簿	

(本簿ハ每册合計ヲ附スルモノトス  
但適宜合册トナスモ妨ケナシ)

備考 一 本簿ハ市町村ノ徵收スル税金ハ市町村別ニ月長ノ徵收スル税金ハ月長役場別ニ其他ハ各人別ニ納期毎ニ記入スルモノトス但臨時收入ニ係ルモノハ別冊ニ調製スルモノトス



- 一 納額通知書、納稅告知書若クハ納額異動通知書ヲ發シルトキハ①印ノ如ク調定外誤納アリタルトキハ②印ノ如ク記載スルモノトス
- 二 金庫ヨリ税金領收済ノ通知ヲ受ケタルトキハ③印ノ如ク收入官吏ヨリ税金收入ノ通知ヲ受ケタルトキハ④印ノ如ク税金ノ損失ニ歸シタルモノアルトキハ⑤印ノ如ク記載スルモノトス
- 三 滞納處分ノ引繼ヲナシタルトキハ⑥印ノ如ク記載スルモノトス
- 四 前年度ヨリ繰越ニ係ル税金及滞納處分ノ引繼ヲ受ケタルモノハ別冊ニ調製整理スルヲ要ス
- 五 隨時收入ニ係ルモノハ摘要欄内ニ納期日ヲ記入スルモノトス
- 六 何市町村何某

年月日	摘要	調定額	収入額	缺損額	未収入額
何月何日	第何號納額通知書又ハ納稅告知書ヲ發ス	① 1,000,000			1,000,000
何月何日	何々ニ依リ増第何號納額通知書又ハ納稅告知書ヲ發ス	① 100,000			1,100,000
何月何日	領收済通知書ヲ受ク		② 1,000,000		100,000
何月何日	何々ニ依リ調定外誤納ノ分			③ 100,000	110,000
何月何日	何々ニ依リ減額ノ通知ヲナス又ハ第何號納稅告知書訂正減額ヲ報告ス	④ 50,000			60,000
何月何日	收入官吏ヨリ領收済ノ報告ヲ受ク		⑤ 200,000		400,000
何月何日	何々ニ依リ缺損			⑥ 300,000	100,000
何月何日	何稅務署へ滞納處分ノ引繼ヲナス	⑦ 100,000			0

第五號書式ヲ第三號書式トシ元年度ノ欄ヲ削リ欄外何々(目)ノ次ニ何年度(元年度)ヲ加ヘ備考第一號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

二 本簿ハ元年度毎ニ口坐ヲ設ケ末尾ニ合計ヲ付スルモノトス

第四號書式

何月分第何號收入濟額報告書

年	度	納期區分	科	目	收入濟額
何	年	何	何	何々(稅目)	100,000
同		何	何	何々	50,000

年月日

何稅務管理局長氏名宛

收入官吏(何村戸長)氏名印

第 號		現金拂込仕譯	
収入未済額		前月迄拂込未済	5,000
10,000		本月中現金徴収高	200,000
200,000		計	205,000
1,500,000		本月中現金拂込高	205,000
1,710,000		翌月迄未済高	0
10,000			
1,720,000			
1,050,000			
1,480,000			
2,530,000			
4,250,000			







第四條 稅務署長ハ會計規則第二十七條ニ依リ金庫ヨリ税金領收濟ノ通知ヲ受ケタルトキハ收入簿及徵稅簿ニ記入スヘシ  
 第五條 稅務署長ハ現金ヲ領收シタルトキハ明治二十六年大藏省令第三十二號書式第二號ノ領收証ヲ納入ニ交付シ現金出納簿、收入簿及徵稅簿ニ記入スヘシ  
 第六條 稅務署長ハ收入簿及徵稅簿ニ據リ明治二十六年大藏省令第三十二號書式第四號ニ準シ收入報告書及第六號書式納期別仕譯書ヲ調製シ歲入金突合表ヲ添ヘ翌月五日マテニ稅務管理局長ニ送付スヘシ  
 第七條 稅務署長ハ前年度收入未濟繰越金ノ内收入濟、缺損其ノ他異動ニ係ルモノアリタルトキハ毎月其ノ事項ヲ取極メ收入報告書ニ添付シ稅務管理局長ニ報告スヘシ  
 第八條 稅務管理局長ハ稅務署長ノ送付スル收入報告書及納期別仕譯書ニ據リ收入簿及納期別調查簿ニ記入シ收入報告書及納期別仕譯書ヲ調製シ歲入金月計對照表ヲ添ヘ翌月十五日マテニ大藏省ニ送付スヘシ  
 第九條 稅務管理局長ハ會計規則第二十七條ニ依リ金庫ヨリ稅務署長ノ拂込ニ係ル税金領收濟ノ通知ヲ受ケタルトキハ現金拂込調査簿ニ記入スヘシ

○大藏省訓令第二十一號

警視廳 北海道廳 府 縣 稅關 造幣局  
 印刷局 專賣局 稅務管理局 官房第四課  
 臨時沖繩縣土地整理事務局 臨時稅關工部部

本年三月當省訓令第二號明治三十三年度當省所管歲入科目表歲入臨時部第二款雜收入中ニ第三項雜入第一目製鐵費納付金過年度收入ノ項目ヲ追加ス

明治三十三年四月五日

○大藏省訓令第二十二號

大藏大臣伯爵松方正義  
 稅務管理局

明治三十年法律第三十九號施行上取扱方左ノ通相定メ明治三十年大藏省訓令第七十號ハ之ヲ廢止ス

明治三十三年四月五日  
 大藏大臣伯爵松方正義

土地區劃改良ニ係ル地價取扱手續

一 明治三十年法律第三十九號ニ依リ土地改良ノ爲メ區劃形狀ノ變更ニ付申願シタル者アルトキハ地方廳ト協議シ支障ナキヲ認メタル上許可ヲ與フヘシ

二 改良地域内ニ變換地、開墾地又ハ年期ヲ有スル土地アリ事業著手ノ際其ノ地價ノ修正又ハ設定ヲ要スルトキハ事業著手前所轄稅務署ハ實地検査ノ上毎筆地價ノ修正若ハ設定ヲ爲シ土地臺帳整理ノ手續ヲ爲スヘシ但シ土地臺帳沿革欄ニハ明治三十年法律第三十九號ニ依リ地價ノ修正又ハ設定ヲ爲シタル旨ヲ記入スヘシ

三 事業竣功ノ届出アリタルトキハ所轄稅務署ヲシテ實地検査ノ上毎筆ノ區域ヲ定メ地番ヲ付シ毎筆相當ニ地價配賦ノ手續ヲ爲サシムヘシ

四 改良地ノ一筆從前ノ土地二筆以上ヲ包含シ又ハ從前ノ土地二筆以上ノ各部分ヲ包含スルトキハ其ノ地番ハ適宜從前ノ土地中其ノ一ノ地番ヲ用ユヘシ

五 改良地ノ一筆從前ノ土地一筆ノ部分ニ該當スルトキハ其ノ地番ハ從前ノ土地ノ地番ヲ用井又ハ其ノ地番ニ一、二、三等ノ符號ヲ付シタルモノヲ用ユヘシ

六 明治三十年法律第三十九號第三項第四號ニ依リ事業關係者ニ於テ負擔又ハ利益ヲ受クヘキ土地及其ノ金額ヲ定ムルコトニ付協議一致セサルトキハ稅務署ヲシテ實地ノ狀況ヲ觀察セシメ其ノ報告ヲ斟酌シ稅務管理局長ニ於テ公平適實ニ之ヲ定ムヘシ

七 改良地ニ關シ土地臺帳ノ登記ヲ爲ストキハ改良地ノ地番ト同一地番ヲ有スル從前ノ土地ニ對スル用紙中ノ沿革欄ニ年月日及土地改良ノ爲メ次欄ニ改記スル旨ヲ記載シテ斜線ヲ施シ次欄ニ於テ改良地ノ地目、段別、地價、地租、所有者等ヲ記入シ其ノ沿革欄ニ其ノ包含スル從前ノ土地ノ地番ヲ掲ケテ沿革ヲ明カニスヘシ從前ノ土地ノ番號ニシテ改良地ノ地番ト同一ナラサルモノアルトキハ其ノ沿革欄ニ年月日及土地改良ノ爲メ異動ヲ生シタル理由ヲ記載シ斜線ヲ施スヘシ

八 前項ニ依リ改良地ヲ土地臺帳ニ登記シタル場合ニ於テ變換ノ後五年開墾著手ノ後九年ヲ經過セサルモノ又ハ各種ノ年期ヲ有スル土地ニシテ其ノ年期終了セサルモノアルトキハ地目變換



- 地臺帳、荒地臺帳等ニ於ケル當該土地ノ事故欄ニ土地改良竣功ノ爲メ變換又ハ年期消滅ノ旨ヲ記入シテ斜線ヲ施スヘシ
- 八 明治三十年法律第三十九號第三項第四號ニ依リ負擔又ハ利益ヲ受クヘキ土地及其ノ金額ノ定マリタルモノハ土地臺帳ニ於ケル其ノ土地ノ沿革欄ニ其ノ負擔又ハ利益ヲ受クヘキ期間及其ノ金額並ニ其ノ金額ト地租額トノ合計又ハ差額ヲ記載シ其ノ期間ハ之ニ依リテ地租ノ徵收ヲ爲スヘシ
- 九 明治三十年法律第三十九號第三項第四號ニ依リ一定ノ年期間負擔又ハ利益ヲ受クヘキ土地ニ付テハ地目變換地臺帳又ハ荒地臺帳ニ準シテ帳簿ヲ調製シ取扱上ノ便ヲ謀ルヘシ
- 十 明治三十年法律第三十九號第三項第四號ニ依リ一定ノ年期間負擔又ハ利益ヲ受クヘキ土地ニ付第六項第八項ニ依リ土地臺帳ノ整理ヲ爲シタル時及年期限満了ノ時ニ於テ有租地集計簿ノ加除増減ヲ整理スヘシ

〔參照〕

明治三十年十一月六日大藏省訓令第七十號ハ土地區劃改良ニ關スル取扱手續ナリ

○大藏省訓令第二十三號

大藏省所管經費仕拂命令官

- 明治二十六年大藏省訓令第四十號仕拂命令仕拂請求書集合仕拂命令及集合仕拂請求書發付等ニ關スル取扱手續中第二條、第三條、第四條第二項及附屬第一號書式ヲ左ノ通り改正ス
- 明治三十三年四月六日 大藏大臣伯爵松方正義
- 第二條 仕拂命令官集合仕拂命令又ハ集合仕拂請求書ヲ金庫ニ送付シタルトキハ本訓令附屬第一號書式ノ通知書ヲ各受取人ニ交付シ受取人ヲシテ式ノ如ク領收ノ旨等ヲ記入シ署名捺印シテ之ト引換ニ現金ヲ金庫ヨリ受取ラシムヘシ
- 第三條 仕拂命令官金庫所在地外ニ在ル債主ニ仕拂ヲ要スル仕拂命令仕拂請求書又ハ集合仕拂命令

令集合仕拂請求書ヲ金庫ニ送付シタルトキハ通知書ヲ各受取人ニ送付シ現金領收ノ際受取人ヲシテ式ノ如ク領收ノ旨等ヲ記入シ署名捺印シテ之ヲ金庫ニ差出サシムヘシ但在外國受取人ヘノ送金及電信爲換拂ノ場合ニハ本條ノ通知書ヲ送付スルニ及ハズ單ニ其旨ヲ通知スルモノトス

第四條 (第二項)前項ノ領收證書ハ會計規則第五十二條第三項ノ計算書ニ添付シ提出スヘシ

備考

金庫所在地外ニ在ル債主ニ仕拂ヲ要スル分ノ通知書ハ書式ノ通り裏書ヲ爲シ債主ニ送付スルモノトス仕拂命令官當テタル金庫外ノ金庫ヲシテ振換拂ヲ爲サシムル分ノ通知書ニハ仕拂金庫ノ欄ニ振換拂金庫名ヲ記入スルモノトス  
證券印紙ノ貼用ヲ要スルモノハ仕拂命令官ニ於テ其旨ヲ通知書ニ記入スルモノトス

第一號書式 (用紙寸法 縦四寸五分)

式入記證收領	書 知 通	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">大藏省主管 取 扱 番 號 仕 拂 金 庫 何 地 金 庫</p> <p>「某」年度仕拂命令(仕拂請求書)又ハ集合仕拂命令(集合仕拂請求書)第「何」號金額氏名表第「何」號(仕拂命令官署名捺印シタル)ノ領收ノ旨等ヲ記入シ署名捺印シテ之ヲ金庫ニ送付スルモノトス</p> <p style="text-align: center;">一金「何」圓「也」</p> <p>右金額ニ對スル仕拂命令(仕拂請求書)本日發行濟ニ付前記金庫ヨリ現金ヲ受取ルヘシ</p> <p style="text-align: center;">明治「何」年「何」月「何」日 「何」官「某」氏「名」圖</p> <p>前記之金額領收候也</p> <p style="text-align: center;">明治「何」年「何」月「何」日 受取人「某」圖</p> </div>
<p>受取人金庫ヨリ現金を受取ル際式ノ通り領收ノ旨等ヲ記入シ署名捺印シテ之ヲ金庫ニ送付ス</p>		



通知書裏面

一 受取人ニ於テ金庫ニ就キ現金ヲ受取度望ミノモノハ此通知書ヲ以テ仕拂金庫ニ於テ現金ヲ領收スヘシ  
 若シ自己ノ住居地迄送金ヲ要スルモノハ其旨仕拂金庫ヘ請求スヘシ

○大藏省訓令第二十四號

明治二十六年大藏省訓令第三十九號金庫出納事務規程中左ノ通り改正ス

出納官吏 金庫出納役

明治三十三年四月六日

大藏大臣 伯耆松方正義

一 第十七條第十八條及第十九條ヲ左ノ通り改ム  
 第十七條 各廳仕拂命令官ノ仕拂命令ヲ持參シ現金ノ仕拂ヲ請求スルモノアルトキハ金庫ハ其案内仕拂命令ニ對查シ其金額ヲ交付スヘシ但現金交付ノ際仕拂命令及案内仕拂命令ノ表面ニ年月日現金交付濟ノ旨ヲ記入シ置クヘシ  
 仕拂命令又ハ集合仕拂命令ニ對スル仕拂命令官ノ通知書ヲ持參シテ現金ノ仕拂ヲ請求スルモノアルトキハ金庫ハ仕拂命令又ハ集合仕拂命令ニ添付シタル金額氏名表ニ對查シ該通知書ニ式ノ如ク領收ノ旨等ヲ記入署名捺印セシメタル領收證書ト引換ニ現金ヲ交付スヘシ但現金交付濟ノ際仕拂命令又ハ金額氏名表ニ年月日現金交付濟ノ旨ヲ記入シ置クヘシ  
 第十八條 金庫ニ於テ其金庫所在地外ニ在ル債主ヨリ仕拂命令又ハ集合仕拂命令ニ對スル仕拂命令官ノ通知書ニ據リ送金ノ請求ヲ受ケタルトキ及仕拂命令官ヨリ電信爲替ヲ以テ送金ノ請求ヲ

受ケタルトキハ歳出ノ送金トシテ現金ヲ拂出シ債主ニ送付シ債主ヨリ仕拂命令官ノ通知書ニ式ノ如ク領收ノ旨等ヲ記入署名捺印セシメタル領收證書(電信爲替ニ係ルモノハ債主適宜ノ領收證書)ヲ徴シタル上更ニ歳出金トシテ拂出ノ手續ヲ爲スヘシ但受取人現金領收ノ後行衛不明等ニシテ領收證書ヲ徴シ能ハサルトキハ郵便局又ハ銀行等ノ渡濟證明書又受取人ノ領收證書回送ノ途中ニ紛失シタル場合ニハ受取人ノ受領濟證明書ヲ以テ本項領收證書ニ代ユルコトヲ得前項ニ據リ送金ヲ爲シタルモ事故アリテ受取人ニ到達セス還付シ來リタルトキハ金庫ニ於テ之ニ對スル現金ノ仕拂ヲ取消スヘシ  
 金庫ニ於テ海外送金ヲ要スヘキ裏書アル仕拂命令集合仕拂命令ニ依リ債主ヘ送金セントスルトキハ前項ノ手續ニ依リ現金ヲ拂出シ送金ヲ爲シ追テ債主ヨリ適宜ノ領收證書ヲ徴シタル上更ニ歳出金トシテ拂出ノ手續ヲ爲スヘシ  
 第十九條 金庫ニ於テ金庫振換拂(仕拂命令ヲ當テタル金庫外ノ金庫ニ)ヲ要スヘキ裏書アル仕拂命令若クハ集合仕拂命令ヲ受ケタルトキハ其指定シタル振換拂金庫ニ通知シテ債主ニ仕拂ノ準備ヲ爲サシムヘシ其電信振換拂ノ請求アルモノハ電信ヲ以テ通知スヘシ  
 振換拂金庫ニ於テ前項振換拂ヲ要スル通知ヲ受ケタル後仕拂命令官ノ通知書ヲ持參シテ現金ノ仕拂ヲ請求スルモノアルトキハ第十七條第二項ノ手續ニ準シ領收證書ト引換ニ振換拂トシテ現金ヲ拂出シ債主ニ交付シ領收證書ハ仕拂命令ヲ當テタル金庫ヘ送付スヘシ其電信振換拂ニ係ルモノハ適宜ノ領收證書ヲ徴シテ現金ヲ交付スヘシ  
 振換拂金庫ニ於テ債主ヨリ仕拂命令又ハ集合仕拂命令ニ對スル仕拂命令官ノ通知書ニ據リ送金ノ請求ヲ受ケタルトキ及仕拂命令ヲ當テタル金庫ヨリ電信送金ノ通知ヲ受ケタルトキハ振換拂トシテ現金ヲ拂出シ債主ヘ送金シ債主ヨリ第十八條第一項ノ區別ニ依リ領收證書ヲ徴シ之ヲ仕拂命令ヲ當テタル金庫ヘ送付スヘシ



仕拂命令ヲ當テタル金庫ニ於テ振換拂金庫ヨリ前第二項及第三項ノ領收證書ヲ得タルトキハ歳出金ヲ拂出シ振換受ノ計算ヲ爲スヘシ

一第二十二條中「現金仕拂ノ請求ナキモノ若クハ送金スルヲ得サルモノ」トアルヲ歳出金トシテ拂出ノ計算ヲ爲シ得サルモノト改ム

一第二十三條第五十六條及第五十七條ヲ左ノ通り改ム

第二十三條 金庫ハ現金交付濟ノ仕拂命令、集合仕拂命令ノ内現金交付濟ニ係ル受取人ノ領收證書及金庫所在地外ニ在ル債主ニ仕拂ヲ要スヘキ裏書アル仕拂命令、集合仕拂命令ニ對スル受取人ノ領收證書並ニ返納告知書(定額ニ戻入セ)其他ノ證憑書類ヲ各年度主管廳及仕拂命令官毎ニ區分シ一箇月分ヲ取纏メ合計書ヲ調製シ帳簿上ノ仕拂額及戻入額ニ對查シ共ニ保存スヘシ但支金庫ニ於テ調製セシモノハ其證憑書ト共ニ本金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ其本金庫へ中央金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ中央金庫ニ送付スヘシ

金庫ハ案内仕拂命令、集合仕拂命令、金庫所在地外ニ在ル債主ニ仕拂ヲ要スヘキ裏書アル仕拂命令、集合仕拂命令ヲ各年度主管廳及仕拂命令官毎ニ區分シ一箇月分ヲ取纏メ之カ金額及ヒ定額戻入高ヲ帳簿上ノ仕拂命令受領濟額及戻入額ニ對查シ共ニ保存スヘシ

第五十六條 歳出金月計對照表ハ支出簿及歳出金各廳内譯簿ニ據リ中央金庫ニ於テ直接ニ取扱ヒタル金額ヲ掲ケ毎月之ヲ調製シ(帳簿登記ノ日附ニ拘ハラズ仕拂命令受領濟額ハ該命令ニ記載シ實際該月中ニ中央金庫ニ)現金仕拂濟ノ仕拂命令及受取人ノ領收證書ヲ添へ翌月五日迄ニ仕拂命令官へ送付スヘシ其書式第十八號ノ如シ

前項ノ月計對照表ハ當該官吏ノ證明ヲ受ケ添付シタル證憑書ト共ニ還付ヲ請フヘシ

第五十七條 歳出仕拂未濟繰越金支出月計對照表ハ歳出仕拂未濟繰越金各廳内譯簿ニ據リ中央金庫ニ於テ直接ニ支出セシ金額ヲ掲ケ毎月之ヲ調製シ(其月中ニ實際支出)現金仕拂濟ノ仕拂命令

及受取人ノ領收證書又ハ大藏大臣令達書ヲ添へ翌月五日迄ニ仕拂命令官へ送付スヘシ其書式第十九號ノ如シ

前項ノ月計對照表ハ當該官吏ノ證明ヲ受ケ添付シタル證憑書ト共ニ還付ヲ請フヘシ

○大藏省訓令第二十五號

明治二十六年大藏省訓令第五十三號作業及鐵道會計金庫出納事務規程第五條及同年大藏省訓令第五十四號官立學校及圖書館會計金庫出納事務規程第三條中「現金仕拂ノ請求ナキモノ若クハ送金スルヲ得サルモノ」トアルヲ歳出金トシテ拂出ノ計算ヲ爲シ得サルモノト改ム

明治三十三年四月六日

大藏大臣 伯耆松方正義

○大藏省訓令第二十六號

今般一般會計特別會計共各會計規則改正相成候ニ就テハ明治三十三年度歳入ニシテ従前ノ手續ニ依リタルモノハ此際左記ノ手續ニヨリ整理スヘシ

明治三十三年四月六日

大藏大臣 伯耆松方正義

- 一歳入徴收官ハ従前ノ調定官及收入官吏ヨリ調定額收入濟額收入未濟額不納缺損額等ノ引繼ヲ受ケ徴收簿ニ登記スヘシ
- 一歳入徴收官ハ従前ノ歳入徴收ノ監督官及收入官吏ヨリ金庫通知書ノ引繼ヲ受ケ自己ノ受ケタル通知書ト共ニ整理スヘシ
- 一收入官吏ハ領收濟ニ係ル收入金ノ通知書ヲ調製シ歳入徴收官ニ送付スヘシ
- 一金庫ハ收入金領收濟通知書未發布ノモノハ總テ歳入徴收官へ宛通知書ヲ送付スヘシ
- 一金庫ハ各廳ノ通知ニヨリ歳入金各廳内譯簿主任收入官吏ノ口座ヲ歳入徴收官ノ口座ニ變更スヘシ



○大藏省訓令第二十七號

警視廳 北海道廳 府縣稅關 稅務管理局

明治二十六年大藏省訓令第四十二號諸收入取納取扱規程左ノ通り改正シ明治三十三年度ヨリ施行ス

明治三十三年四月六日

大藏大臣 伯爵松方正義

諸收入取納取扱規程

- 第一條 警視廳北海道廳府縣稅關及稅務管理局ニ於テ收納スル國稅外ノ諸收入ハ大藏省主管トシテ特別ノ規定アルモノヲ除クノ外此規程ニ依リ取扱フヘシ
- 第二條 各廳長官ハ諸收入ヲ徵收セントスルトキハ特別ノ規定アルモノヲ除クノ外十五日以内ニ於テ適宜納期日ヲ定メ各納人ニ對シ別記書式ノ納入告知書ヲ發スヘシ但シ納人ヲシテ收入官吏ニ即納セシムル場合ニ於テハ納入告知書ヲ發スルコトヲ要セス
- 第三條 各廳長官ハ其所屬部署長官立學校長及北海道廳所管鐵道各驛主席官吏ニ委任シテ諸收入取納事務ヲ分掌セシムルコトヲ得
- 第四條 納入告知書ハ納人ヲシテ納金ヲ納付スルトキ之ヲ添付セシムヘシ
- 第五條 各廳長官ハ納金ヲ其期限内ニ納付セサル者アルトキハ直チニ督促シ尙ホ完納ニ至ラサルトキハ速ニ相當ノ手續ヲ爲スヘシ
- 第六條 收入官吏ハ毎月現金拂込仕譯書ヲ調製シ各廳長官ニ報告スヘシ
- 第七條 各廳長官ハ徵收簿ニ據リ徵收報告書ヲ調製シ歲入金月計對照表ヲ添ヘ翌月十五日マデニ大藏省ニ送付スヘシ
- 第八條 諸收入ノ徵收事務ニ關スル取扱手續及帳簿報告等ノ書式ハ適宜之レヲ定ムヘシ

(別記)

備考

領收證書及報告書(通知書)用紙ノ納入金額納入年度種類等ハ總テ納入告知書發行廳ニ於テ記入スルモノトス

納入告知書

領收證書

用紙適宜 縦四寸五分ノモノ二枚 横四寸五分ノモノ一枚 接續

第「何」號	「某」年	度	「何」市「何」町「何」村「何」某納
經常(臨時)	「何」(款)	「何」(項)	「何」(目)
大藏省主管 「取扱」廳名			
一金何程			

「但何々」(收入ノ目的ヲ記載ス)  
右(何)年(何)月(何)日限り收入官吏官氏名又ハ(何々)金庫へ納付スヘシ  
明治何年何月何日 納入告知書發行者官氏名 ㊟

金庫 割印

第「何」號	「某」年	度	「何」市「何」町「何」村「何」某納
「取扱」廳名			
一金何程			

「但何々」  
右領收候也  
明治何年何月何日  
「收入官吏官氏名」㊟  
又ハ「何地金庫」㊟



報 告 書 (書 知 通 報)

第「何」號	「某」年	度	「何」郡市	「何」町村	「何」某納		
經營(臨時)	「何」々(款)	「何」々(項)	「何」々(目)	大藏省主管	取扱職名		
<table border="1"> <tr> <td>一金何程</td> <td>金庫 之印</td> </tr> </table>						一金何程	金庫 之印
一金何程	金庫 之印						
右領收濟ニ付報告(通知)候也							
明治「何」年「何」月「何」日							
「各廳長官氏名宛」							
「收入官吏官氏名」							
又ハ「何地金庫」							

○大藏省訓令第二十八號

明治二十六年當省訓令第五十三號作業及鐵道會計金庫出納事務規程中並ニ同年當省訓令第五十四號官立學校及圖書館會計金庫出納事務規程中左ノ通り改正ス

明治三十三年四月七日

出納官吏 金庫出納役 大藏大臣伯耆松方正義

作業及鐵道會計金庫出納事務規程ノ部

第四條第五條第十條第十一條中「金庫所在地外ニ」下「於テ」ノ二字ヲ「在ル債主ニ」ノ五字ニ改ム

第九條第十四條第二十六條中「主任收入官吏」トアルヲ「歳入徵收官」ト改ム

第十四條中「支金庫」ヨリ送付スル作業及鐵道歳入金突合表ヲ參照シ「ノ二十四字ヲ削ル

第二十六條第一項ヲ削ル

第二號第六號第十號書式中「主任收入官吏」トアルヲ「歳入徵收官」ト改ム

第十二號書式ヲ削ル

官立學校及圖書館會計金庫出納事務規程ノ部

第二條第三條第八條第九條中「金庫所在地外ニ」下「於テ」ノ二字ヲ「在ル債主ニ」ノ五字ニ改ム

第七條第十二條第二十四條中「主任收入官吏」トアルヲ「歳入徵收官」ト改ム

第十二條中「支金庫」ヨリ送付スル官立學校歳入金突合表ヲ參照シ「ノ二十三字ヲ削ル

第二十四條第一項ヲ削除ス

第二號第六號第十號書式中「主任收入官吏」トアルヲ「歳入徵收官」ト改ム

第十二號書式ヲ削除ス

○大藏省訓令第二十九號

明治二十六年當省訓令第三十九號金庫出納事務規程中左ノ通り改正ス

明治三十三年四月七日

出納官吏 金庫出納役 大藏大臣伯耆松方正義

第七條第八條第十二條第四十一條第五十五條中「主任收入官吏」トアルヲ「歳入徵收官」ト改ム

第九條第十條中「歳入」徵收ヲ監督スル官吏「トアルヲ「歳入徵收官」ト改ム

第十一條ヲ左ノ如ク改ム

第十一條 金庫ニ於テ前各條ニ據リ納人若クハ收入官吏ヨリ受領シタル納稅告知書、送付書、納付書、納入告知書、現金拂込書若クハ、監守證ハ總テ歳入徵收官ノ計算トシテ取扱フヘシ

第十四條第十六條第二十二條第四十六條中「金庫所在地外ニ」下「於テ」ノ二字ヲ「在ル債主ニ」ノ五字ニ改ム

第五十五條中金額ノ下制註括弧トモ並ニ「支金庫」ヨリ送付スル歳入金突合表ヲ參照シ「ノ十九字及

但書ヲ削ル

第六十二條第六十六條中「歳入金突合表及」ノ七字ヲ削ル

第六十七條中「第二歳入金突合表」トアルヲ削ル

第一號書式ヲ左ノ如ク改ム



(第一號書式)

用紙適宜 縦四寸五分ノモノニ一枚 横四寸五分ノモノニ一枚 綴綴

第何號	某年度	主管廳	何廳
經常(臨時)	何款	何項	何目
一金何程			收入官吏 官氏名
明治何年何月何日			

第何號	某年度	主管廳	收入官吏 官氏名
右領收候也			
明治何年何月何日			

第何號	某年度	主管廳	經常(臨時)	何款	何項	何目	收入官吏 官氏名
一金何程							
明治何年何月何日							

原符 領收證書 通知

書

右領收濟ニ付通知候也  
 明治何年何月何日  
 歳入徴收官 官氏名宛 何 金 庫 圖

第九號第十七號第二十六號書式中「主任收入官吏」又ハ「收入官吏」トアルヲ「歳入徴收官」ト改ム  
 第二十五號書式ヲ削除ス  
 ○大藏省訓令第三十號  
 明治二十二年大藏省訓令第七十號書式乙號中「所管廳」ノ下ニ「何廳歳入徴收官官氏名」ノ一欄ヲ加ヘ  
 備考第二ヲ削ル  
 出納官吏  
 大藏大臣伯爵松方正義

明治三十三年四月七日  
 ○大藏省訓令第三十一號  
 明治二十二年當省訓令第七十四號ヲ左ノ通改正ス  
 出納官吏  
 大藏大臣伯爵松方正義

明治三十三年四月十一日  
 明治二十六年大藏省訓令第三十九號金庫出納事務規程ニ依リ金庫ヨリ雜部金月計對照表ニ「證憑書」ヲ添ヘ送付ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ相違アルトキハ直ニ其事由ヲ付シテ返付シ相違ナキトキハ式ノ如ク證明シ三日以内ニ金庫ヘ返付スヘシ  
 北海道廳 收入官吏 金庫出納役  
 大藏大臣伯爵松方正義

明治三十三年四月十一日  
 ○大藏省訓令第三十二號  
 明治二十六年當省訓令第七十六號第三項中「諸收入ノ收納ヲ監督スル官吏」トアルヲ「歳入徴收官」ト改ム  
 金庫出納役  
 大藏大臣伯爵松方正義

明治三十三年四月十一日  
 ○大藏省訓令第三十三號  
 明治二十七年當省訓令第十八號中「主任收入官吏」トアルヲ「歳入徴收官」ト改ム  
 大藏大臣伯爵松方正義



○大藏省訓令第三十四號 北海道廳 收入官吏 金庫出納役

明治二十七年當省訓令第三十七號第三項中「收入官吏」トアルヲ「歳入徴收官」ト改ム  
大藏大臣伯爵松方正義

○大藏省訓令第三十五號 警視廳 北海道廳 府 縣 税關 造幣局  
印刷局 專賣局 稅務管理局 官房第四課

本年三月當省訓令第二號明治三十三年度當省所管歳入科目表歳入臨時部第二款雜收入中ニ第四項利  
子收入第一目利子收入ノ項目ヲ追加ス  
臨時沖繩縣土地整理事務局 臨時稅關工部部

明治三十三年四月十二日 大藏大臣伯爵松方正義

○大藏省訓令第三十六號 金庫出納役

明治二十六年大藏省訓令第三十二號預金保管物及供託物金庫出納事務規程附屬第一號書式ヲ左ノ  
通り改ム

明治三十三年四月十三日 大藏大臣伯爵松方正義

額證明報告表 第一號書式

利子額	利子額	利付月數	備考
何箇月	何箇月	何箇月	
0	0	0	
何月	何日		

子利中何年何月中預 第何號

權利者	受入額	拂戻額
何某	0	0
合計		

備考 受入額ノ内ニシテ前々年度(元加)又ハ前年度(子利)ヨリノ殘高(高利)アルモノハ其金額ヲ別項ニ掲記ス(シ)

○大藏省訓令第三十七號 稅務管理局

明治二十五年大藏省訓令第二十二號中收入官吏ヲ稅務署長ニ改ム  
明治三十三年四月十七日 大藏大臣伯爵松方正義

〔參照〕

明治二十五年四月二日 大藏省訓令第二十二號ハ鹽業稅及鹽區稅徵收取扱方ノ件ナリ

○大藏省訓令第三十八號

明治二十三年大藏省訓令第一百十三號官吏遺族扶助法納金收入規則取扱順序中左ノ通改正ス  
明治三十三年四月十八日 大藏大臣伯爵松方正義

第二條二項金庫出納事務規程第十八條ノ下「金庫所在地外ニ在ル債主ニ仕拂ヲ要シ又ハ」ノ十九  
字ヲ挿入ス  
第三條第五條中「收入官吏」トアルヲ「歳入徴收官」ニ又第五條中「收入簿」トアルヲ「徴收簿」ニ改ム







圖書購買費	官報、新聞紙、書籍、繪圖規則書等ノ類
印刷費	塗書規則書、報告書等ノ類
製本費	職工備費ハ此節ニ編入セス
筆紙墨文具	
用紙	美濃紙、半紙、西ノ内、西洋紙、罌紙、計算表用紙、表紙、狀紙、諸帳簿用紙、報告書用紙、納入告知書用紙等ノ類
諸帳	會計帳簿、森林手簿等簿冊トナリシモノ
筆墨印肉類	毛筆、鐵筆、鉛筆、墨、朱墨、複寫版用インキ、粉ノ具、黒肉、朱肉等ノ類
硯小道具類	硯、文房、コンパス、烏口、定木、穿盤、肉池、繪ノ具皿等ノ類
消耗品	薪炭、油類、石炭、種油、石炭油、ペンキ、機械用油等ノ類
雜用品	蠟燭、生鉄、付木、燈心、藥品、寒天、飲用水等ノ類
通信運搬費	
郵便電信料	郵便爲替料、電信持込費共
電話機使用料	電鈴共
運搬費	物品運送ニ用ユル荷札、柳行李、細引、繩、運箱、填物等及荷造費、保險料共
使買	但物品運送ノ人足賃及日備人足ハ假令物品ヲ運搬セシムルモ此節ニ編入セス 郵便不便ノ地ニ於ケル公用狀及至急召喚狀等ノ使買

醫用品代料	醫用品代料
聯合及敷料	
修繕費	各所修繕
死傷手當	一箇所五百圓未満ノモノ、建物修繕、墓塔、樹木石類、植木職工手間等修繕ノ目的ニ出ツルモノ及井戸側、井戸替、受買共
賠償及訴訟費	死傷手當
賠償金	官役人夫死傷手當
訴訟費	損害ノ賠償
旅費	官吏、職人、引合人及辯護士旅費、評價人、鑑定人備料、執達吏旅費及手數、辯護士謝金、郵便及電信料、訴訟用紙及印紙代、預納金、對手人ニ支拂フ訴訟人費共
雜給及雜費	内國旅費
官吏療治料	官吏職務上ノ傷疾療治料
雇員給	
備入料	給仕、小使、定備夫、番人給料、職工及人足
被服費	小使法被服引ノ類



標柱費	官林被害賠償費	刑事被告人護送及留置諸費	雜費	廣告料	贈費	舟車馬類備費	道路疏水等手當	寫字料	諸謝金	備人料	器具機械費	華紙墨文具	消耗品
境界石標、木標、制札、土塚、石塚築造、受買共	森林ノ火災消防、蟲害驅除、被害木取片付、盜伐木取調等ニ要スル人足賃、薪物保管料、及消防人足ノ贈費等	盜伐其他刑事被告人護送旅費、編取、器具運搬及留置ニ要スル人足賃、宿泊諸費等	新聞紙廣告料	官吏、小使宿直及臨時食料	人力車賃及小林區署員部内巡回渡船賃	水道給水料、上水賦金、道路撒水、除雪費等	寫圖共但枚數當ヲ以テ支給スルモノニ限ル	醫師、官物拾得者、評價人鑑定人等	造林及造林試驗ノ爲メ直接其使用ノ目的ニ出テタルモノ	苗圃番人、氣象觀測所番人、人足賃	鋸、鋤、鍬、鉋、鋤、土篩、灌水器、肥桶、荷桶、擔桶、柄杓、灰箕、畚等ノ類		

種苗購買費	運搬費	肥料	家屋其他借料	雜品費	廣告料	斫伐事業費	備人料	備夫手當	筆紙墨文具	郵便電信料	運搬費	家屋其他借料	慰勞酒饌	廣告料	雜品費	消耗品	林產物處理費
苗圃敷地等			苗圃敷地等	利等ノ類	事業受買等ニ要スル新聞紙廣告料	料伐木、造材、運搬等ニ要スル職工人夫賃	抽頭年手當	事業地ニ於テ使用スルモノ	造材及品物運搬費	土場、造材置場等	抽入夫山入又ハ格別勸勵ノ節支給スルモノ	造材公賣及事業受買等ニ要スル新聞紙廣告料	事業地ニ於テ使用スルモノ	同上			











雜給及雜費	備入料
-------	-----

○農商務省訓令第十四號

林野整理支局統計報告調製手續左記ノ通り相定ム

林野整理支局

明治三十三年四月十三日

農商務大臣曾禰荒助

林野整理支局統計報告調製手續

- 一 林野整理支局長ハ本手續ノ定ムル所ニ依リ統計報告ヲ精査調製シ各報告期ニ進達スヘシ
- 二 報告中事業ノ實行、成績等ノ諸表ニハ前年度ト比較上増減ノ事由、當年度ニ於ケル著名ノ記事ヲ大體ニ就テ説明シ又數字ノミニテハ意味ノ貫徹セサル事項ハ之ヲ備考ニ詳記スヘシ
- 三 報告中記載ノ事項ハ總テ當年度處分ニ關スルモノニ限ル
- 四 各表ニ定メタル事項ニシテ其期間報告スベキ事項ナキトキハ其旨上申スヘシ
- 五 製表用紙ハ厚質美濃ヲ用ニ其寸法ハ横一尺三寸縦九寸トシ中央ニ六分乃至一寸ノ餘白ヲ存スヘシ
- 六 報告書進達ノ際ハ目錄ヲ添フヘシ

目錄及進達期限

目	調查年月	進達期限
第一號 不要存置林野處分離權總括表	每年度	每年七月三十一日
第二號 不要存置林野處分編入總括表	同	同
第三號 不要存置林野主產物賣拂總括表	同	同
第四號 不要存置林野處分調查功程一覽表	同	同
第五號 不要存置林野主產物賣拂總括表	同	同
第六號 不要存置林野處分調查功程一覽表	同	同
第七號 不要存置林野處分調查功程一覽表	同	同

第八號 賠償

第九號 補償

同 同

第十號 國有林施業案編成成績表

同 同

每年六月三十日

第十一號 國有林施業案編成成績表附錄經費內譯表

同 同

第十二號 國有林施業案編成成績總括表

同 同

第十三號 造林實行第一部總括表

同 同

第十四號 造林實行一覽表

同 同

第一號 樣式 不要存置林野處分離權總括表

一 本表ニハ整理處分上賣拂交換ノ爲メ離權セシモノヲ記載スヘシ

但シ賣拂ニハ調査價格交換ニハ評定價格ヲ記入スヘシ

二 賣拂ノ林野ニシテ一箇所ヲ分割處分シタルモノ、調査價格ハ其分割ニ應シタル價格ヲ記載スヘシ

三 產物欄ニハ副產物ヲ掲クルヲ要セス

第三號 樣式 不要存置林野處分編入總括表

一 本表ニハ整理處分ノ爲メ民有地ヲ買上、交換ニ依リ國有林ニ編入シタルモノヲ記載スヘシ而シテ買上ニ係ルモノハ評定價格、代價、交換ニ係ルモノハ評定價格ヲ記載スヘシ

第五號 樣式 不要存置林野主產物賣拂總括表

一 本表ニハ大林區署ニ於テ主產物ノミノ處分ヲナシ林野整理支局ニ於テ森林資金ノ歲入ニ關定シタルモノヲ記載スヘシ

第七號 樣式 不要存置林野處分調查功程一覽表

一 本表各種目ノ算出記載方ハ三十二年十一月一日發第二二四號整理局長通牒ノ例ニ依ル



- 一 經費ハ處分調査ニ要シタル總テノ費用ヲ包含ス  
但シ總組一日ノ平均、一組一日ノ平均ハ記入スルヲ要セス
- 二 第八號様式 賠償  
本表ニハ當年度賠償處分ヲ實行シタルモノニ限ル
- 三 第九號様式 補償  
前項賠償ノ様式ニ準スヘシ
- 四 第十號様式 國有林施業案編成成績表  
區別欄ハ創業、既濟及未濟ノ三ニ分チ順次ニ記入スヘシ 施業案編成上創業ニ要シタル經費ヲ創業ノ部ニ完了シタル事業區ヲ既濟ノ部ニ、年度末ニ於テ未完了ノ事業區ヲ未濟ノ部ニ記入スヘシ
- 五 組數ハ一箇年度ノ始メヨリ終リ迄調査ニ從事シタルモノヲ一トシ其他ハ分數ニテ記入スヘシ 例ヘハ十一月ニ至リテ調査ニ著手シタルモノ或ハ八月ニ調査ヲ終リタルモノハ十二分ノ五ト記入スルカ如シ
- 六 既濟ノ部ニ於テハ事業區毎ニ工程及一町歩ニ對スル經費ヲ算出スヘシ
- 七 未濟ノ部ニハ年度末迄要シタル日數及經費ヲ記入スヘシ 若シ既ニ林班小班ノ數明瞭ナルトキハ之ヲ記入スヘシ 但シ工程及一町歩ニ對スル經費ハ之ヲ示スコトヲ要セス
- 八 前年度末ニ於テ完了セス翌年度ニ於テ完了シタルモノハ翌年度ノ報告ニ該事業區ニ於テ前年獲ニ要シタル日數及經費(前年度報告ニ記入シタルモノ)ヲ朱書シ翌年度ニ於テ要シタル日數

- 一 及經費ヲ墨書シ之カ計ヲ爲シ工程及一町歩ニ對スル經費ヲ算出スヘシ
- 二 三十二年九月二十二日整第五五七號林野整理局長及山林局長ノ通牒ニ依リ施業案既成箇所及調査中ノ箇所ニシテ改定若ハ調査繼續ヲ爲シタルモノハ其事由、字、段別及舊規程ニ依リ調査シタル工程ヲ備考欄ニ詳記スヘシ
- 三 經費ハ三十二年四月二十九日付通牒施業案編成費一組經費明細書ニ記載セル總テノ經費ヲ包含ス
- 四 經費ハ創業、既濟及未濟ノ三ニ區別シ 既濟ヲ更ニ事業區毎ニ分配シテ記入ス其判然區別シ難キ場合ハ分割シ得ヘキ性質ノモノハ比例共通使用ニ係ルモノハ使用上主タル部分ニ屬セシムル等其他適宜ノ方法ニヨリ之ヲ區別シ其區別ノ方法ヲ備考欄ニ記載スヘシ 但シ創業ニ關スル經費ニ付テハ本項ニ依ルノ限ニアラス
- 五 第十一號様式 國有林施業案編成成績表付録經費內譯表  
本表ハ當該年度經費ヲ第十號様式說明ノ區別ニ依リ創業費、既濟(第十號様式說明ノ三ニ該當ス)及未濟(第十號様式說明ノ四ニ)ノ三口ニ大別シ之ニ附隨シテ科目別ニ各種ノ品名所要ノ數量、單價、金額ヲ記入シ合計ヲ爲スヘシ
- 六 差引増減欄ノ減ハ朱書スヘシ(以下皆同シ)
- 七 事由欄ニハ豫算ト實行ト比較シ其差引増減ノ著シキモノニ付事由ヲ記載スヘシ
- 八 備考欄ニハ實行ノ結果ニ依リ科目、面積、種類、數量、金額等ニ關シ改良ヲ要スルモノ、事項及事由其他必要ト認ムルモノヲ記載スヘシ
- 九 前項既濟ト未濟トノ經費ヲ判然區別シ難キ場合ハ第十號様式說明八ニ準ス



























明治三十三年四月 訓令 農商務省第十四號 林野整理支局統計報告調製手帳

第七號樣式		<p>明治何年度</p> <p>不要存置林野處分調查功程一覽表</p>	府 縣	箇 所
經 費	備 考			
		<p>林野整理局</p> <p>何支局</p>	計	

明治三十三年四月 訓令 農商務省第十四號 林野整理支局統計報告調製手帳

木				竹		合		
用 材	薪 材	用 材	薪 材	束	代 價	尺 々	棚	束
尺 々	代 價	棚	代 價					







明治三十三年四月 訓令 農商務省第十四號 林野整理支局統計報告調製手帳

第十號様式		明治何年度		主任者氏名	備考
國有林施業案編成成績表		林野整理局 何支局			
一 町 步 ニ 對 ス ル 經 費	着手年月日	完成年月日			
四					

一四三

明治三十三年四月 訓令 農商務省第十四號 林野整理支局統計報告調製手帳

府 縣	事 故	土 地			主 産 物				副 産 物		其 他	合 計		
		件數	面積	金額	件數	用材	金額	薪材	金額	竹	金額	件數	金額	金額
			町	畝		尺	圓	圓	圓	圓		圓	圓	圓
計														

一四二



第十一號樣式			明治何年度 國有林施業案編成成績表 附錄 經費內譯表	
考 備 考				
差引增減			事 由	備 考
數量	單價	金額		

林野整理局  
何支局

區別	國	郡(市)	村(町)	大字	事業區名	面積	作業級數	林班數	組數	日 數				經 費	功 程				
										外業	其 他 在 內	共 計	旅 行		計	費	日 數	其 他 在 內	共 計
創業費																			
計	何	何	何	何	何														
既濟	ク	ク	ク	ク	ク														
	ク	ク	ク	ク	ク														
	ク	ク	ク	ク	ク														
	ク	ク	ク	ク	ク														
	ク	ク	ク	ク	ク														
	ク	ク	ク	ク	ク														
計未濟	ク	ク	ク	ク	ク														
計合計	ク	ク	ク	ク	ク														



明治三十三年四月 訓令 農商務省第十四號 林野整理支局統計報告調製手續

組數	面積	經費		日數				功程				要年月日	終年月日	事由	備考	
		全	一町步	外業	業務	其他	旅行	計	外業	業務	其他					

第十二號樣式

明治何年度  
國有林施業案編成成績總括表

林野整理局  
何支局

區別	科類	豫定			實行		
		數量	單價	金額	數量	單價	金額
計							
既濟							
計未濟							
計合計							

明治三十三年四月 訓令 農商務省第十四號 林野整理支局統計報告調製手續











記入番號	國名	植		計内 新營入 合計
		面積	數量	

○農商務省訓令第十五號

大林区署 林野整理局支局 鑛山監督署  
製鐵所 生絲検査所 廣島鑛山

今般一般會計特別會計共各會計規則改正ニ付明治三十三年度歳入ニシテ従前ノ手續ニ據リ取扱タル場合ノ整理方ハ本月六日大藏省訓令第二十六號ニ據リ取扱フヘシ

明治三十三年四月十四日

農商務大臣曾禰荒助

○農商務省訓令第十六號

製鐵所 鑛山監督署 生絲検査所 廣島鑛山

諸收入收納取扱方ノ儀ハ本月六日大藏省訓令第二十七號ニ據リ取扱フヘシ

明治三十三年四月十四日

農商務大臣曾禰荒助

○農商務省訓令第十七號

大林区署 林野整理支局

明治三十三年三月當省訓令第十一號大林区署及林野整理支局會計事務章程中左ノ通改正シ明治三十三年度ヨリ施行ス

明治三十三年四月二十八日

農商務大臣曾禰荒助

第二條第八條第九條第十一條第二十五條第三十一條第三十二條第三十三條第三十五條第三十八條第四十一條第四十三條第四十四條第四十五條及第六十條中歳入調定官ヲ歳入徴收官ニ改ム

第七條及第三十三條中歳入調定額計算書ヲ歳入徴收額計算書ニ改ム

第八條中甲號若ハ乙號ノヲ削リ左ノ二項ヲ加フ

前項ニ依リ調定シタル金額ハ明治二十六年十一月十一日大藏省令第三十二號第十一號書式ノ徴收簿ニ之ヲ記入スヘシ

第九條中前條ノ下ニ第一項ヲ加フ

第十條中第八條ノ下ニ第一項ヲ加フ

第十二條 納入告知書ハ收入ノ徴收上便宜ノ地ニ在ル收入官吏又ハ金庫ニ納付方ヲ指定シ小林区署又ハ林野整理支局出張所ヲ經テ納入ニ交付スヘシ

第十三條 歳入徴收官第六十條ノ通知ヲ受ケタルトキハ第八條第二項ノ手續ヲ爲スヘシ

第十五條中收入官吏以下ヲ歳入徴收官ハ速ニ相當ノ手續ヲ爲スヘシニ改ム

第十七條 收入官吏納金ヲ領收スルトキ第八條第一項但書ノ場合ニ於テハ明治二十六年十一月十一日大藏省令第三十二號第二號書式ノ領收證書ヲ納入告知書ニ依リタルモノナルトキハ之ニ接續セル領

收證書ヲ納入ニ交付シ翌日マテニ領收簿ノ旨ヲ歳入徴收官ニ報告スヘシ

第十八條 歳入徴收官前條ノ報告ヲ受ケタルトキハ徴收簿及歳入調定原簿ニ納濟ノ記入ヲ爲シ尙

之ヲ現金收入監査簿ニ記入スヘシ

第十九條中前二條ヲ第十七條ニ改メ收入簿 收入細別簿及ヲ削リ現金出納簿ノ下ニ及内譯簿ヲ加フ

第二十一條中納入告知書ニ指定スル金庫及ヲ削ル

第二十三條 歳入徴收官會計規則第二十七條ニ依リ金庫ヨリ領收簿ノ通知ヲ受ケタルトキハ納入告知書ニ依リタルモノハ徴收簿及歳入調定原簿ニ現金拂込書ニ依リタルモノハ現金收入監査簿

ニ納濟ノ記入ヲ爲スヘシ

第二十四條 分任收入官吏ハ毎月現金拂込仕譯書ヲ調製シ翌月一日マテニ之ヲ主任收入官吏ニ送

付スヘシ

明治三十三年四月 訓令 農商務省第十七號



第二十五條中「報告書」ヲ「任課書」ニ「收入簿」ヲ「現金出納簿」ニ「收入報告書」ヲ「現金拂込任課書」ニ各  
 歳入金月計對照表ヲ「分任收入官吏」ヨリ送付ヲ受ケタルモノニ「十日」ヲ「五日」ニ改メ第二項ヲ削ル  
 第二十六條 歳入徴收官ハ徴收簿ニ依リ明治二十六年十一月十一日大藏省令第三十二號第四號書式ノ徴收  
 報告書ヲ調製シ歳入金月計對照表ヲ添へ翌月十五日マテニ一般會計ニ屬スルモノハ大臣官房會  
 計課ニ特別會計ニ屬スルモノハ林野整理局ニ送付スヘシ  
 第二十七條中「主任收入官吏」ヲ「歳入徴收官」ニ改メ第二項及第三項ヲ削ル  
 第二十八條 歳入徴收官第八條ノ手續ヲ了シタル後科目（經常ト臨時又ハ森林資金）ニ誤記アルヲ  
 發見シタルトキハ直ニ徴收簿ニ訂正ノ記入ヲ爲シ其ノ記入ヲ爲シタルトキ既ニ其ノ月ノ計算締  
 切後ナルトキハ訂正シタル月ノ徴收報告書ニ之ヲ掲ケ其ノ事由ヲ詳記スヘシ但シ年度ニ誤記ア  
 ルヲ發見シタルトキハ訂正手續ハ明治二十四年五月大藏省令第十一號ニ依ルヘシ  
 前項ノ場合ニ於テ收入官吏ニ現金ヲ納入セシモノナルトキハ科目又ハ年度訂正書ヲ調製シ之ヲ  
 當該收入官吏ニ送付スヘシ  
 森林資金收入ト森林收入トノ科目ノ誤記ヲ訂正シタル場合ニ於テ納入告知書ニ依リ既ニ金庫ニ  
 現金ヲ納入セシモノナルトキハ歳入徴收官ヨリ現金拂込書ニ依リ納入セシモノナルトキハ收入  
 官吏ヨリ關係金庫ニ其ノ訂正ヲ請求スヘシ但シ取扱廳ヲ異ニシタル場合ニ於テハ彼此ノ歳入徴  
 收官又ハ收入官吏連署ヲ以テ請求スヘシ  
 前各項ニ依リ誤記ノ訂正ヲ爲スハ翌年度七月三十一日限トス  
 第三十條 歳入徴收官ハ明治二十四年八月大藏省訓令第六十八號同二十五年四月同省訓令第二十五  
 號及同三十一年四月同省訓令第十三號ニ依リ歳入繰越額計算表及明細表ヲ翌年度四月八月ノ兩度  
 ニ於テ調製シ其ノ月十五日マテニ一般會計ニ屬スルモノハ大臣官房會計課ニ特別會計ニ屬スル  
 モノハ林野整理局ニ送付スヘシ

第三十八條中「收入計算書及」ヲ削ル  
 第三十九條中「收入計算書及」ヲ削リ「領收濟通知書及」ヲ「ノ」ニ改ム  
 第四十條中第二項ヲ削ル  
 第四十一條中「第二十六條及」第三十四條ヲ削ル  
 第四十三條中「及」第四十條ノ「收入計算書」ヲ削ル  
 第四十四條中「第三十四條」ヲ削ル  
 第五十三條中「於テ」ヲ「在ル債主ニ」ニ「電信爲替ニ依リ送金スル」ヲ「電信爲替拂ノ」ニ改メ「要セス」ノ  
 下ニ「單ニ其ノ旨ヲ通知スヘシ」ヲ加フ  
 第五十四條中「送金ニ係ル」ヲ「金庫所在地外ニ在ル債主ニ仕拂ヲ要スル」ニ改ム  
 第六十條中「取扱主任收入官吏」ヲ「歳入徴收官」ニ改ム  
 第六十四條中「定額」ヲ「翌年度ニ繰越ヲ要スルモノアルトキハ」ヲ「定額ノ繰越ヲ要スルトキハ」ニ「年  
 度經過後二十日以内」ヲ「翌年度四月二十日マテ」ニ改ム  
 第三十八條第一項中「現金」ノ徴收ヲ取扱ハサル收入官吏及「ヲ削ル  
 第四百四十六條中「大林區署長及林野整理支局長」ヲ「歳入徴收官」ニ「歳入調定額整理簿」ヲ「徴收簿」ニ改ム  
 第四百四十七條中「大林區署長及林野整理支局長」ヲ「任拂命令官」ニ改ム  
 第五百五十條中「收入簿」ヲ削リ「收入細別簿」ヲ「現金出納内譯簿」ニ改ム  
 第十四條第十六條第二十二條第二十九條第三十四條及第三十六條ヲ削ル

○遞信省訓令第一號  
 北海道廳 府縣

水難救護法ニ依リ國庫ノ取得ト爲スヘキ收入金及國庫ヨリ支給ヲ爲スヘキ救護費用ノ仕拂、誤拂  
 過渡金ノ取扱並ニ會計規則第五十三條ノ歳出計算書送付方ハ北海道廳長官府縣知事ニ委任ス



但仕拂手續ハ總テ電柱敷地手當金ニ關スル諸規程ヲ適用スヘシ

明治三十三年四月十七日

逓信大臣子爵芳川顯正

○内務省訓令第十號

當省所管歳入徴收官交替シタルトキハ本年大藏省訓令第四十五號ニ據リ取扱フヘシ

歳入徴收官

明治三十三年五月五日

内務大臣侯爵西郷從道

○内務省訓令第十一號

明治二十四年當省訓令第十五號警察禮式ハ定制ノ服裝ヲ爲シタル海港檢疫所及臨時海港檢疫所職員ニ之ヲ準用ス

海港檢疫所 臨時海港檢疫所

明治三十三年五月八日

内務大臣侯爵西郷從道

○内務省訓令第十二號

明治三十三年内務省訓令第六號仕拂命令集合仕拂命令發付等ニ關スル取扱手續第八條第一項ヲ左ノ通改正シ明治三十三年五月ヨリ施行ス

内務省所管經費仕拂命令官

明治三十三年五月十六日

内務大臣侯爵西郷從道

仕拂命令官金庫出納事務規程(特別會計)ニ據リ金庫ヨリ歳出金月計對照表歳出仕拂未済繰越金支出月計對照表仕拂命令受領濟額報告書及仕拂請米書受領濟額報告書ニ證憑書類ヲ添ヘ送付ヲ受ケタルトキハ證憑書類ニ對照(受領濟額報告書ハ)ニ相違ナキ場合ハ式ノ如ク證明スト記入シ署名捺印ノ上證憑書類ト共ニ三日以内ニ之ヲ金庫ニ返付シ相違アル場合ハ速ニ其事由ヲ付シテ返付スヘシ

○内務省訓令第十三號

明治二十四年ハ内務省訓令第十五號警察禮式中左ノ通改正ス

廳府縣

明治三十三年五月十九日

内務大臣侯爵西郷從道

第二條中「巡查ノ下ニ」ノ巡查部長以上、巡查部長ヲ加ヘ但書中「署員ノ其署長ヲ」課署員ノ其課署長ニ改ス



第三條ノ二項ヲ削除ス

第六條中「左手ヲ以テ刀ノ柄ヲ握リ」ヲ「刀ノ柄ヲ前ニシテ左手ヲ以テ兩環ノ間ヲ押ヘ」ニ改ム

第七條第九條中「左手ヲ以テ刀ノ柄ヲ握ルヘシ」ヲ「刀ノ柄ヲ前ニシテ左手ヲ以テ兩環ノ間ヲ押ニヘシ」ニ改ム

第八條中「左手ヲ以テ刀ノ柄ヲ握リ體ノ上部ヲ少シク前ニ傾ケ敬スヘキ人ニ注目」ヲ「刀ノ柄ヲ前ニシテ左手ヲ以テ兩環ノ間ヲ押ヘ敬スヘキ人ヲ目仰シ五六步過キ去ルマテ目送」ニ改ム

第十三條 整列シタルトキハ「氣ヲ付ケ」ノ令ニテ一同受禮者ニ注目シ其指揮ヲ掌ル者ノミ相當ノ禮式ヲ行フヘシ

隊伍ヲ爲シテ行進スルトキハ「頭右左」ノ令ニテ列員ノ頭首ヲ少シク受禮者ノ方ニ向ケ其指揮ヲ掌ル者ノミ相當ノ禮式ヲ行フヘシ

但シ行進中ハ最敬禮ヲ行フ場合ノ外停止スルニ及ハス

第二十三條ニ左ノ二項ヲ加フ

前項ノ敬禮ハ上官ノ先導者ニ於テ「氣ヲ付ケ」ノ注意ヲ加フヘシ若シ先導者ナキ場合ハ上官ノ入來ルコトヲ最初ニ知リタル者ニ於テ注意ヲ加フヘキモノトス

會議室教場其他場内ノ整理ニ任スル者アル室内ニ於テハ前項ノ注意ハ其整理ニ任スル者之ヲ爲スヘシ

第二十九條但書中「三四步前ニ停止シ」ノ下ニ「敬禮スヘキ人ニ面シ」ヲ加フ

〔參照〕

内務省訓令第十五號警察禮式(明治二十四年八月十日)抄録

第二條 本禮式中上官ト稱スルハ巡查ノ警部以上、警視廳警部長以上、警視廳警部長ノ警視廳監北海道長官府縣知事ニ於ケルヲ云フ但警員ノ其警長ニ於ケル亦同シ

第三條第二項

大禮服又ハ制服ヲ著シ勳章ヲ佩用シタル者ニハ其官職ノ如何ヲ問ハス成可ク敬禮ヲ行フヘシ

第六條

室内ノ最敬禮ハ正面ノ方向ヲ取リ直立シ兩足ヲ整ヘ右手ニ帽ノ前底ヲ摘ミ之ヲ垂直ニ提ケ帽ノ内部ヲ右股ニ對セシメ左手ヲ以テ刀ノ柄ヲ握リ體ノ上部ヲ少シク前ニ傾ケヘシ但シ佩刀セサルトキハ左手ヲ垂下スヘシ

第七條

室内ノ敬禮ハ敬スヘキ人ニ對シ正面ニ姿勢ヲ正シ其眼ニ注目シ右手ニ帽ノ前底ヲ摘ミ之ヲ垂直ニ提ケ左手ヲ以テ刀ノ柄ヲ握ルヘシ但シ佩刀セサルトキハ左手ヲ垂下スヘシ

第八條

室外ノ最敬禮ハ正面ノ方向ヲ取リ直立シ兩足ヲ整ヘ右手ヲ懸ケ指ヲ握シテ食指ト中指ヲ帽ノ前底ノ右側ニ當テ掌ヲ稍、外面ニ向ケ肘ヲ肩ニ齊シクシ左手ヲ以テ刀ノ柄ヲ握リ體ノ上部ヲ少シク前ニ傾ケ敬スヘキ人ニ注目スヘシ但シ佩刀セサルトキハ左手ヲ垂下スヘシ

第九條

室外ノ敬禮ハ敬スヘキ人ニ對シ姿勢ヲ正シ右手ヲ懸ケ指ヲ握シテ食指ト中指ヲ帽ノ前底ノ右側ニ當テ左手ヲ以テ刀ノ柄ヲ握ルヘシ但シ佩刀セサルトキハ左手ヲ垂下スヘシ

第十三條

整列シタルトキ又ハ隊伍ヲ爲シテ行進スルトキハ其指揮ヲ掌ル者ノミ相當ノ禮式ヲ行フヘシ

第二十三條

上官居室ニ來ルトキハ一同椅子ヲ離レテ敬禮スヘシ而シテ其關係アル者ノ外ハ一旦敬禮ノ後著席シテ各其事ニ服シ上官居室ヲ去ルトキ復々敬禮ヲ行フヘシ

第二十九條

上官ニ行過ヒ又ハ其傍ヲ通過スルトキハ頭ヲ少シク受禮者ノ方ニ向ケ姿勢ヲ正シ敬禮ス可シ但巡查ハ上官ヲ距ル三四步前ニ停止シ本文ノ敬禮ヲ爲スヘシ

○内務省訓令第十四號

水上警察禮式左ノ通之ヲ定ム

明治三十三年五月二十三日

水上警察禮式

内務大臣侯爵西鄉從道

廳府縣(東京府)

第一條 水上警察ノ船舶ニ於テ警察禮式ニ依リ最敬禮又ハ敬禮ヲ要スル人ヲ望見シ又ハ其ノ乗船ニ行逢ヒ若ハ之ヲ送迎スルトキハ本式ニ依リ禮式ヲ行フヘシ

第二條 最敬禮ハ端舟ニ在テハ棹手一齊ニ棹ヲ立テ小蒸汽船ニ在テハ進行ヲ止メ船員ハ甲板上適宜ノ場所ニ整列シ帆走中ノ船ハ總帆ヲ下シ、機舟ハ進行ヲ止メ總員起立シテ禮式ヲ行フヘシ但シ一人ニシテ二艇ノ棹ヲ操ルトキハ禮ヲ受クル人ニ面セサル方ノ棹ヲ收メ他方ノ棹ヲ立テ起立



シテ禮式ヲ行フモノトス

「クラッチ」ヲ具備シタル端舟ニ在テハ、棹ヲ上ケ、棹手ノ外總員起立シテ禮式ヲ行フモノトス  
第三條 敬禮バ端舟ニ在テハ、棹手棹ヲ上ケ、小蒸汽船ニ在テハ進行ヲ緩メ、帆走中ノ船ハ「シート」ヲ伸ハシ、棹舟ハ進行ヲ止メ、凡テ指揮者ノミ起立シテ禮式ヲ行フヘシ、但シ一人ニシテ二挺ノ棹ヲ操ルトキハ禮ヲ受クル人ニ面セサル方ノ棹ヲ收メ、他方ノ棹ヲ上ケ、禮式ヲ行フモノトス

第四條 水上警察禮式ハ特ニ命令アリタル場合ノ外、夜間ハ之ヲ行ハサルコトヲ得

第五條 至急ノ用務ヲ帶ヒタルトキ又ハ風雨ノ際其ノ他禮式ヲ行フコト能ハサルノ状況ニ在ルトキ並ニ荷物ヲ積載シタル船又ハ他船ニ曳カレタル船ニ乗込メルトキニ於テ禮式ヲ行ヒ得サル者ハ之ヲ略スルコトヲ得、舵手機關手水火夫等ニシテ執務上ノ妨ケト爲ル場合モ亦同シ

第六條 上官ノ乗組ミタル船ヲ乗越ヘ又ハ其ノ前ヲ横過スルノ必要アルトキハ相當ノ禮式ヲ行ヒ通過スヘシ

第七條 同僚ノ乗組ミタル船行逢フトキハ指揮者ノミ互ニ禮式ヲ行フヘシ

第八條 船舶ニ出入ノ際ハ上官ヲ先ニスヘシ、但シ端舟小蒸汽船ニ乗込ム場合ニ限り、上官ヨリ先ニスヘシ

第九條 機關手水火夫ハ帽ヲ脱シ相當ノ禮ヲ行フヘシ

第十條 端舟ニ在テ最敬禮ヲ行フトキハ其ノ指揮者ハ左ノ號令ヲ用フヘシ、但シ「クラッチ」ヲ具備シタル端舟ニ在テハ第十一條ノ號令ヲ用フルモノトス

一 棹立テ方用意

二 立テ一（機ノ平面ヲ左右ニ向ケ、兩手ヲ以テ之ヲ把持ス）

三 下セ

一人ニシテ二挺ノ棹ヲ操ルトキハ前項第一ノ號令ノ前ニ左ノ號令ヲ加フヘシ、第十一條ノ場合ニ

於テモ亦同シ

左（右）舷收メ一（禮ヲ受クル人ニ面セサル方ヲ收メシムルモノトス）

第十一條 端舟ニ在テ敬禮ヲ行フトキハ其ノ指揮者ハ左ノ號令ヲ用フヘシ

一 棹上ケ方用意

二 上ケ一（機ヲ舷ト平線ニ保ツモノトス）

三 下セ

第十二條 帆走中ノ船ニ在テ最敬禮ヲ行フトキハ左ノ號令ヲ用フヘシ

一 帆下レ方用意

二 下セ

三 上ケ

第十三條 帆走中ノ船ニ在テ敬禮ヲ行フトキハ左ノ號令ヲ用フヘシ

一 「シート」伸シ方用意

二 放セ

三 元ヘ

第十四條 號令ハ端舟ニ在テハ舵ヲ掌ル者其ノ他ニ在テハ指揮者之ヲ爲スヘシ

第十五條 本式ニ規定セサル事項ハ總テ警察禮式ノ規定ニ依ル

○内務省訓令第十五號 應府縣（東京府）  
巡查點檢規則左ノ通之ヲ定ム

明治三十三年五月二十三日

巡查點檢規則

第一章 總則

内務大臣 侯爵西郷從道



- 第一條 點檢ハ巡查ノ人員姿勢服裝官給品貸與品ヲ検査スルモノトス
- 第二條 點檢ヲ別テ通常點檢臨時點檢トス
- 第三條 通常點檢ハ人員姿勢服裝、日常ノ携帶品及禮式ヲ検査スルモノニシテ其ノ順序左ノ如シ但シ刀身及禮式ノ検査ハ毎朝之ヲ爲サ、ルモ妨ケナシ
  - 一 人員
  - 二 姿勢服裝
  - 三 刀身
  - 四 手帖名刺
  - 五 警笛
  - 六 捕繩
  - 七 禮式
- 第四條 臨時點檢ハ官給品ノ保存及代料ヲ以テ給與スル物品ノ適否ヲ検査スルモノトス
- 第五條 點檢ハ所屬署長點檢官ト爲リ次席ノ署員指揮官ト爲ル  
點檢官不在ノトキハ次席ノ署員之ヲ代理シ指揮官ハ順次次席者代理ス
- 第六條 點檢ノ定刻前ニハ巡查ヲ所定ノ場所ニ召集セシムヘシ
- 第七條 點檢ハ最モ嚴格ニ之ヲ執行シ就中刀身ノ手入、姿勢服裝ノ正否ハ周到嚴密ニ検査スルモノトス
- 第八條 外套ヲ携フルトキハ雨覆ハ内ニ納メ之ヲ捲キ兩端ヲ結束シテ左肩ヨリ右腋下へ懸クヘシ  
降雨ノトキハ外套ヲ著スルハ妨ケナシト雖モ各員一定ナラシムルヲ要ス
- 第九條 手帖ハ上衣ノ左上隠シニ警笛ハ同右隠シニ捕繩ハ袴ノ右隠シニ納メ手套ハ刀緒ニ挾ムモノトス

- 外套ヲ著スルトキハ手帖、警笛ハ其ノ右隠シニ之ヲ納ムヘシ
- 第十條 名刺ハ常ニ五枚以上ヲ携帶シ手帖ノ名刺入レニ納メ置クモノトス
- 第十一條 點檢ノ隊形ハ通常二列橫隊ニ作ルモノトス  
集合所ノ地形又ハ人員ノ多寡ニ依リ一列橫隊又ハ縱隊或ハ片手間隔ノ橫隊若ハ半圓形ニ作ルコトヲ得
- 第十二條 集合ハ「集マレ」ノ號令又ハ警笛ノ一長聲ヲ以テス
- 第十三條 指揮官ハ號令ノ際拔劍セサルモノトス
- 第十四條 點檢官ハ左ノ方法ニ依リ豫テ巡查ノ集合順序ヲ一定シ置クヲ要ス(第一圖參照)  
身幹長短ノ順序ニ從ヒ約ネ二尺四寸(此距離ハ前者ノ背ヨリ後者ノ胸マテヲ量ル)ノ距離ヲ隔テテ二列ニ編成シ其前後ニ立チタル二人ヲ伍トシ各伍中長大ナル者ヲ第一列ニ置ク列員奇數ナルトキハ左翼ノ第二列ヲ缺ク之ヲ缺伍トス  
後列員ハ正シク前列員ニ重ナリ同方向ニ位置ス  
各列員ノ間隔ハ肘肘互ニ接觸スルコトナク行進ニ當リ手ヲ前後ニ振動スルヲ妨ケサルヲ要ス  
(此間隔ハ右手ヲ腕骨上ニ當テ肘ヲ側方ニ張リタルトキ輕ク右腕員ノ左臂ニ觸ル、ヲ度トス)
- 各伍ハ第一列正面ニ在テ右ヨリ左ニ番號ヲ附ス  
列ノ兩翼前列ニ二名ノ嚮導ヲ置ク嚮導ハ巡查部長ヲ以テ之ニ充ツ其ノ在ラサルトキハ上席巡查ヲ以テ充ツ他ノ巡查部長ハ後列ヨリ二步ノ處ニ位置ス之ヲ押伍トス
- 第十五條 警察ノ常歩ハ一步ノ長サ踵ヨリ踵マテ二尺五寸ニシテ一分時間ニ百十四步トス
- 第十六條 號令ヲ別テ豫令、動令トス豫令ハ明瞭ニ長ク動令ハ快活ニ短ク其ノ間適當ナル時間ヲ存スヘシ(適當ナル時間トハ豫令ノ後動令ニテ如何ニ動)號令活潑ナルトキハ動作モ亦從テ活潑ニス所謂動作ハ號令ノ反響ト心得ヘシ



第十七條 點檢ヲ受クヘキ人員寡少ナルトキハ第二章以下ノ規定ヲ參酌シ適宜之ヲ行フコトヲ得

第十八條 巡査教習所ニ在リテハ此ノ規則ニ依リ所長、教授、助教ニ於テ之ヲ行フヘシ

第十九條 第二章 通常點檢  
通常點檢ハ警察署、警察分署所在地ニ於テ服務ノ巡査ニ對シ毎日之ヲ施行スルモノト

駐在所其他遠隔ノ地ニ在勤スル巡査ニ對シテハ毎月訓授ノ爲メ招集シタルトキ之ヲ行フモノト

第二十條 指揮官ハ定刻ニ至レハ左ノ號令ヲ下シ巡査ヲ集合セシメ點檢ノ準備ヲ爲スヘシ  
「集マレ」(此令ノ後集マルヘキ隊形ヲ高聲ニ告知ス假令ハ一列隊又ハ片手間隔ノ隊等ノ如シ)

此ノ號令ニテ巡査ハ速ニ指揮官ノ許ニ集マリ之ニ面シ大凡五六歩ヲ隔テ番號ノ順序ニ從ヒ

靜肅ニ集合ス

第二十一條 集合終レハ指揮官ハ順次左ノ號令ヲ下シ列員ヲ一線上ニ整頓セシム

一 氣ヲ付ケ

此ノ號令ニテ列員ハ不動ノ姿勢ヲ取ル其ノ法兩踵ヲ一線上ニ揃ヘ足尖ヲ矩形ヨリモ少シク

狹ク(兩足尖ノ間隔ハ足裏ノ長サヲ以テ度トス)開キ兩膝ハ力ヲ加ヘテ伸ハシ之ヲ接著シ上

體ハ正シク腰ノ上ニ落チ付ケ兩肩ヲ後方ニ引キ兩臂ハ伸ハシテ之ヲ下ケ指ハ伸ハシテ之ヲ

竝ヘ小指ヲ袴ノ縫目ノ後ニ當テ頭ハ正シク眞直ニ保チ兩眼ハ遠ク前面ノ一點ヲ直視ス

二 番號

此ノ號令ニテ右翼首位ノ者ヨリ單簡明瞭最モ迅速ニ一ト發唱シテ、頭ヲ左ニ廻ハシ次キノ

モノ即チ二番ニ唱ヘ送り直ニ頭ヲ正面ニ復ス斯ノ如クシテ順次末尾ニ至ル

三 嚮導三步(二歩、四歩、五歩)前ヘ一進メ

此ノ號令ニテ兩翼嚮導ハ示サレタル歩數ヲ前進ス指揮官ハ直ニ嚮導ヲ以テ右嚮導ノ右側ニ

歩ノ處ニ立チ兩嚮導ヲ一線上ニ位置セシメ列員整頓ノ基準線ヲ作ルモノトス

四 右ヘ一準メ

此ノ號令ニテ列員ハ三步(二歩、四歩、五歩)前進シ最後ノ一歩ヲ少シク縮メ整頓線ノ後方五

六寸ノ處ニ止マリ右手ヲ臍骨ノ上ニ上ケ拇指ヲ後ニシ他ノ四指ヲ接シテ之ヲ前ニシ肘ヲ側

方ニ張り上體ヲ前後ニ出ヌコトヲ頭ヲ右(左)ニ向ケ右眼(左眼)ヲ以テ目ヨリ三番目ノ

列員ノ臍ノ部ヲ通視シ左眼(右眼)ヲ以テ全線ヲ通視シ得ルマテ小サキ摺歩ヲ以テ前後シ靜

ニ整頓線ニ就ク抑值(若シ二列ナルトキハ後列員モ)ハ正シク前列員ニ重ナリテ距離ヲ取リ

右方(左方)ニ整頓ス

兩翼嚮導ハ己レニ近キ者ヨリ逐次速ニ何番後ヘ何番前ヘト呼ヒ整頓ヲ正スヘシ

五 直レ

此ノ號令ニテ頭ヲ正面ニ復シ右手ヲ垂下ス

六 若シ二列隊ナルトキハ左ノ號令ヲ下シ前後列ヲ六歩ノ距離ニ展開ス

前列六歩前ヘ一進メ

此ノ號令ニテ前列員ハ左足ヨリ六歩前進ス

第二十二條 前條ノ動作終レハ左ノ號令ヲ下シ列員ヲ休憩セシメ點檢官ノ臨場ヲ待タモノトス

休メ

此ノ號令ニテ列員ハ右足ハ其儘ニシテ左足ヲ足裏ノ長サ程其ノ方向ニ出シ姿勢ニ意ヲ止ム

ルコトヲ休憩ス

若シ右足ヲ休メント欲セハ正シク左足ヲ當位ニ復シ右足ヲ左足ヲ休メタル如クス如何ナル



場合ト雖モ兩足同時ニ舊位ヲ離シ又ハ談話スルコトヲ得ス

第二十三條 點檢官臨場スルトキハ指揮官ハ「氣ヲ付ケ」ノ號令ヲ下シ列員ニ不動ノ姿勢ヲ取ラシメ直ニ點檢官ノ許ニ至リ相當ノ敬禮ヲ行フタル後人員ノ報告ヲ爲スヘシ

第二十四條 點檢官ハ指揮官ヨリ人員ノ報告ヲ受ケ終レハ直ニ列ノ右翼前面ヨリ左翼ヲ通過シ背後ニ回ハリ(若シ一列ナレハ後列モ前列ノ如クズ)服裝、刀鞘、靴、手套、下襟、姿勢ヲ檢査シ終リテ定位ニ就クヘシ但シ指揮官ハ點檢官ニ隨行スルモノトス

第二十五條 前條ノ檢査終リ刀身ノ檢査ヲ爲ス場合ハ左ノ號令ヲ下シ各人ノ距離間隔ヲ取ラシム但シ人員少數ナルトキハ適宜ノ號令ヲ以テ間隔ヲ取ラシムルモ妨ケナシ

奇數員(偶數員)三步前ヘ一進メ  
次ニ左ノ號令ヲ下シ拔劍セシム

拔ケー 劍

此ノ號令ニテ列員ハ左ノ分解動作ヲ爲ス

一 拔ケーノ豫令ニテ左手ヲ以テ鞘ノ第一環上部ヲ握リ右手ヲ以テ劍柄ヲ握リ約ネ鯉口一寸餘ヲ緩ム

二 劍ノ動令ニテ活潑ニ劍ヲ抜き右足尖ノ方向ニ伸ハシ劍背ヲ上ニシ劍先ヲ地上約ネ四寸ノ處マテ垂下シ兩眼ヲ切先ニ注ク

三 劍柄ヲ右手ノ拇指ト食指ト中指ノ間ニ把持シ他ノ二指ヲ劍柄ノ後ニ當テツ、之ヲ下ケ右腕骨ノ稍下方ニ接著シ肘ヲ成ルヘク後ニ引キ劍身ヲ眞直ニシ劍背ヲ肩ノ縮目ニ接スルト同時ニ頭ヲ正面ニ復シ左手ヲ垂下ス

第二十六條 拔劍動作終レハ點檢官ハ第一列右翼ヨリ劍ノ把持法特ニ刀身ヲ檢査シ苟モ手入ノ粗漏アルトキハ嚴戒ヲ加フヘシ此ノ場合ニ於テ指揮官ハ點檢官ニ隨行スルモノトス

第二十七條 刀身ノ檢査終レハ指揮官ハ左ノ號令ヲ以テ劍ヲ納メシムヘシ

納メー 劍

此號令ニテ列員ハ左ノ分解動作ヲ爲ス

一 納メーノ豫令ニテ左手ヲ以テ鞘ノ第一環上部ヲ握ル

二 劍ノ動令ニテ右手ノ無名指ト小指ヲ他ノ二指ニ併セ劍柄ヲ握リツ、之ヲ上ケ鐔ヲ腕ノ前方襟ヨリ約ネ四寸ノ處ニ持來リ劍身ヲ眞直ニシ刀ヲ左方ニ向ク

三 劍身ヲ左方ニ倒シ右手ヲ高く上ケ眼ヲ鯉口ニ注キ劍身ヲ確實ニ納メ速ニ兩手ヲ垂下シ頭ヲ正面ニ復ス

次ニ指揮官ハ左ノ號令ヲ下シ舊形ニ復サシムヘシ

偶數員(奇數員)三步前ヘ一進メ

此ノ號令ニテ偶數員(奇數員)ハ左足ヨリ二步前進シ元ノ位置ニ入ル

第二十八條 人員、姿勢、服裝、刀身ノ檢査ヲ終ラハ指揮官ハ左ノ順序ニ依リ號令ヲ下スヘシ  
點檢官ハ指揮官ヲ隨ヘ一品毎ニ第一列右翼ヨリ異狀ノ有無ヲ檢査スヘシ

一 手帖名刺 前ヘ

此ノ號令ニテ列員ハ左ノ動作ヲ爲ス

一 手帖ノ豫令ニテ右手ヲ以テ隠シヨリ手帖ヲ半ハ程出ス(以下之レニ倣フ)

二 前ヘノ動令ニテ手帖ヲ全ク出シ左手ヲ添ヘテ印章名刺ノ部ヲ開キ右掌上ニ置キ拇指ヲ以テ之ヲ支ヘ肘ヲ體ニ接シ前臂ヲ體ト直角ニ出シ左手ハ垂下ス(以下之レニ倣フ)

二 收メー

此ノ號令ニテ速ニ左手ヲ添テ手帖ヲ閉チ右手ヲ以テ隠シニ之ヲ納ム

三 捕繩 前ヘ



四 解細 此ノ號令ニテ右手ヲ以テ捕繩ヲ出シ之ヲ掌上ニ載セ解キ口ヲ前方上部ニ向ケ之ヲ持ツ

但シ此ノ號令ハ時宜ニ依リ省略スルコトヲ得

五 收メ

此ノ號令ニテ解細シアルトキハ左手ヲ添ヘ假ニ繰リ纏テ之ヲ納メ解細シテラサルトキハ右手ノミヲ以テ速ニ之ヲ納ム

五 警笛 前へ

此ノ號令ニテ右手ヲ以テ警笛ヲ出シ横穴ヲ下方ニ向ケ之ヲ持ツ

六 發聲

此ノ號令ニテ右翼ヨリ順次吹笛ス但シ發聲ハ時宜ニ依リ省略スルコトヲ得

七 收メ

此ノ號令ニテ之ヲ納ム

第二十九條 前條ノ檢査了リ禮式點檢ヲ行フトキハ左ノ順序ニ依ル

- 一 室外ノ最敬禮
- 二 室外ノ敬禮
- 三 室外同僚間ノ禮
- 四 兩手物品携帶ノ敬禮
- 五 室内ノ最敬禮
- 六 室内ノ敬禮
- 七 辭令書物品等授受ノ禮

第三十條 前條第一乃至第四ノ禮式點檢ヲ行フトキハ左ノ號令ヲ下スヘシ

一 前列何歩前へー 進メ

此ノ號令ニテ場所ノ許ス程度ニ於テ成ルヘク廣ク展開セシム

二 前列回ハレー 右

此ノ號令ニテ左ノ分解動作ヲ爲ス

一 右足ヲ其ノ方向ニ於テ後ロニ引キ右足尖ヲ左踵ニ接ス

二 兩脚ニカヲ加ヘテ伸ハシ兩踵ヲ心トシ兩足尖ヲ輕ク上ケ腰ト踵ニテ迅速ニ全ク後ロニ向キ回ハル

三 右足ヲ左足ニ引著ケテ左方ニ整頓ス

第三十一條 前條ノ如ク前後相當ノ距離ヲ隔テ相對向スレハ點檢官及指揮官ハ列ノ右側方適宜ノ位置ニ就キ第二十九條ノ順序ヲ追フテ禮式ノ種類ヲ指示シ前列(後列)ヲ受禮者トシ後列(前列)ヲ行禮者トス但シ人員多數ナルトキハ一列員ニハ最敬禮他ノ一列員ニハ同僚間ノ敬禮ヲ行ハシメ順次行ヒ終レハ次ニ一列員ニハ室外ノ敬禮他ノ一列員ニハ物品携帶(手帖ヲ物品ト見)ノ禮ヲ行ハシムル等便宜ニ從フコトヲ得(第二圖參照)

指揮官禮式ノ種類ヲ指示シ了レハ左ノ號令ヲ下スヘシ

始メ

此ノ號令ニテ前列(後列)ノ一番及後列(前列)ノ終番員ハ左足ヨリ互ニ前進シテ前後列員行進ヒ互ニ五歩ノ處ニ至リ指示セラレタル禮式ヲ行ヒ了テ前進シ列ノ後ロニ至リ正面ニ位置

ス

右禮式了レハ他ノ列員ハ指揮官ノ指示ヲ待タズ逐次前進シテ末尾ニ至ルヘシ若シ末尾奇數ナルトキハ指揮官ヲ受禮者ト見做スヘシ



第三十二條 禮式點檢ニ於テ規定ノ禮式ニ違ヒ又ハ動作不充分ナルトキハ點檢官又ハ指揮官ハ式ニ適合スルマテ反覆之ヲ行ハシムヘシ

第三十三條 第二十九條第五乃至第七ノ禮式點檢ヲ行フトキハ列ノ右翼ヨリ順次指揮官ノ三步前マテ進ミ禮式ヲ爲サシメ指揮官ハ一々之レニ答禮スヘシ辭令書物品等授受ノ禮ハ便宜手帖ヲ辭令書又ハ物品ト見做シ指揮官ハ奇數員ヲ以テ捧呈者トシ偶數員ヲ以テ拜受者トシ順次末尾ニ至ラシムヘシ(第二圖參照)

禮式宜シキヲ得ス又ハ動作不充分ナルトキハ答禮ヲ爲サス又ハ辭令書若ハ物品ヲ授受セス之ヲ矯正シテ後ニ答禮又ハ授受スヘシ

第三十四條 全員ノ點檢了レハ指揮官ハ二列ニ在リタルモノハ元ノ二列橫隊ニ復サシムル爲メ左ノ號令ヲ下スヘシ

前列何歩前ヘー 進メ

此ノ號令ニテ前列ハ左足ヨリ進ミテ元ノ線上ニ就ク  
回ハレー 右

此ノ號令ニテ前列ハ全ク元ノ二列橫隊ニ復ス

第三十五條 指揮官ハ列ヲ解散セシムル爲メ「解レー」「進メ」ノ號令ヲ下シ列員ハ點檢官及指揮官ニ對シ一齊ニ敬禮ヲ爲シ解散スヘシ

第三章 臨時點檢

第三十六條 臨時點檢ハ毎月一回以上之ヲ行フモノトス

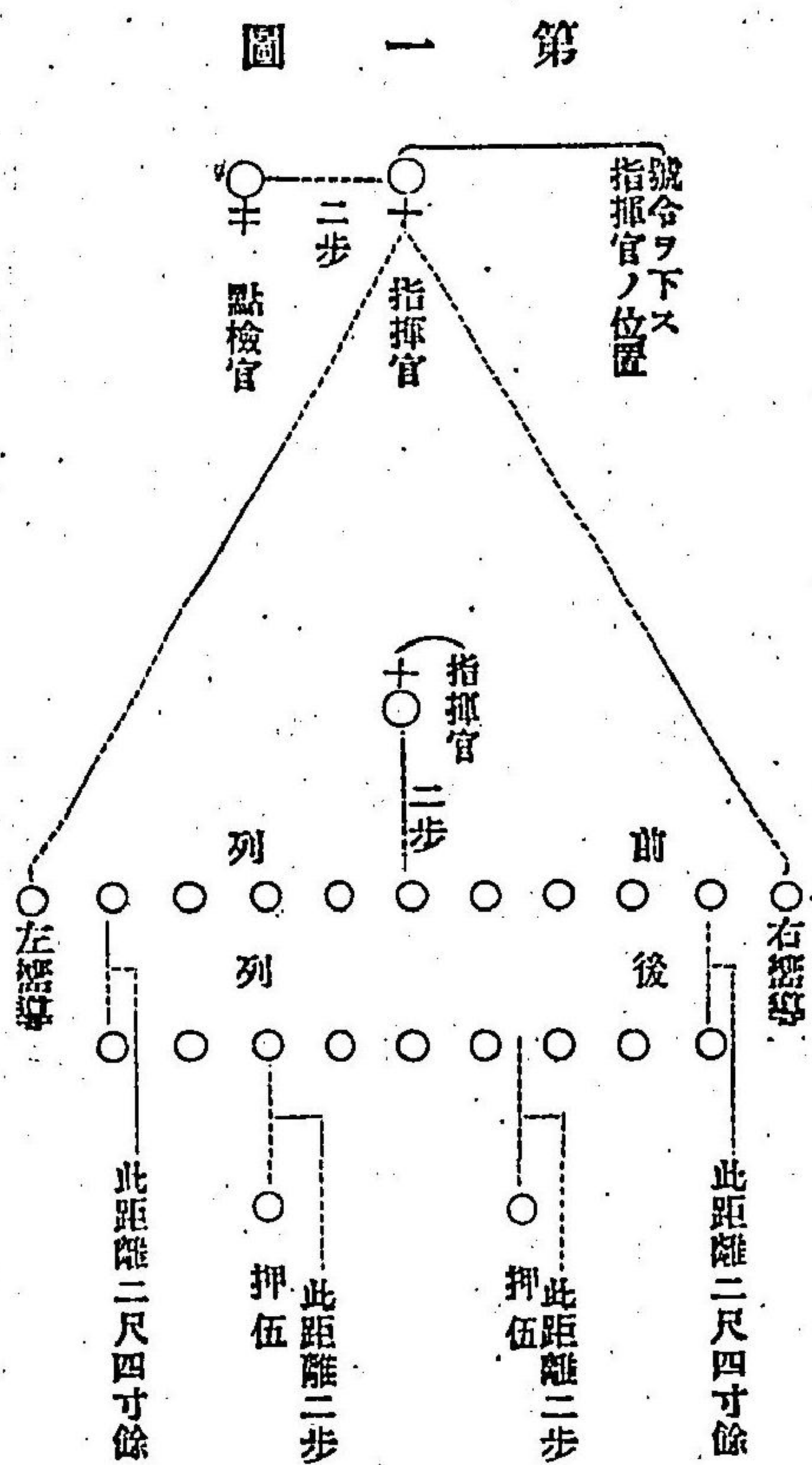
駐在所其ノ他遠隔ノ地ニ在勤スル巡査ニ對シテハ監督巡視ノ際之ヲ行フモノトス

第三十七條 物品點檢ハ帽 被服 外套 肌著 長短靴 肩章 提燈等ノ使用保存ノ當否及代料渡品ノ適否破綻ノ手入レ卸其ノ他徽章ノ正否手帖ノ記載事項等嚴密詳細ニ檢査スルモノトス其ノ不都合

ト認ムルモノハ期間ヲ定メ修繕セシムルヲ要ス

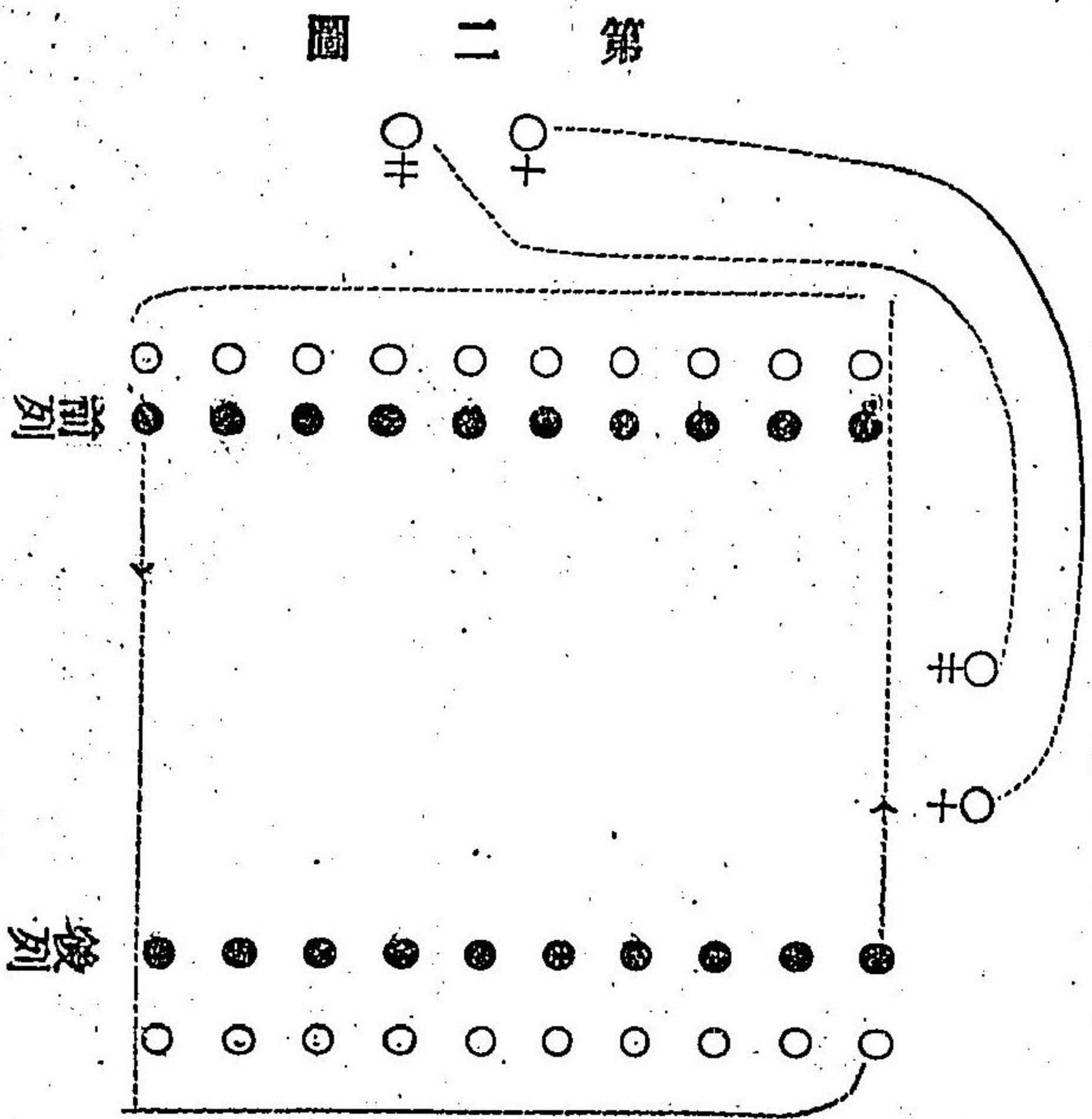
第三十八條 物品配置ノ場所ハ豫メ一定シ置キ一見檢査ニ差支ナキ樣配列シ受檢者ハ其ノ前ニ整列スヘシ

第三十九條 物品ノ配列了レハ點檢官ハ指揮官ヲ隨ヘ列ノ右翼(左翼)ヨリ檢査ヲ爲シ終テ指揮官ハ物品ヲ收メシメ「解レー」「進メ」ノ號令ヲ下シ第三十五條ノ如ク敬禮ヲ行ヒ解散スヘシ但シ人員少數ナルトキハ此ノ號令ヲ略スルコトヲ得

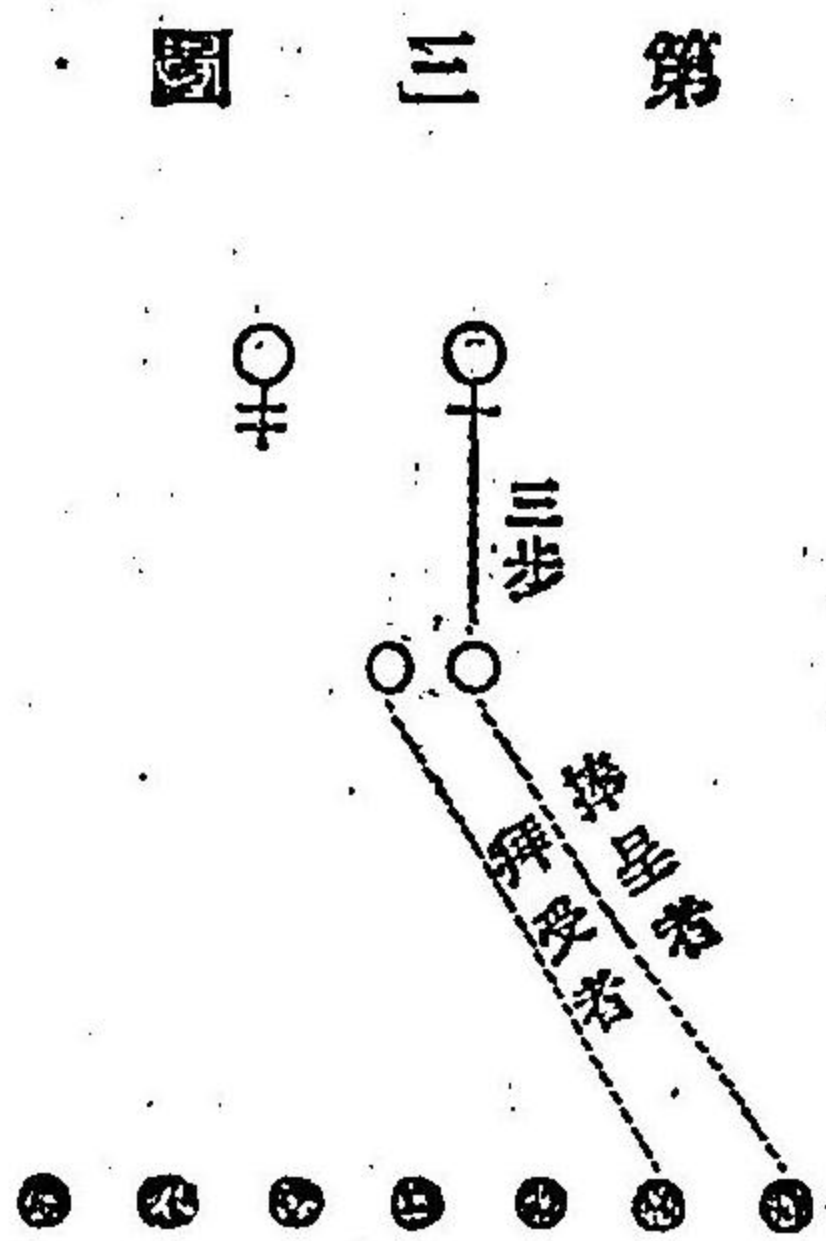




○内務省訓令第十六號  
消防組點檢規則左ノ通之ヲ定ム  
明治三十三年五月二十三日  
消防組點檢規則



内務大臣侯爵西郷從道  
廳府縣(東京府)  
消防組點檢規則



第一條 消防組ノ點檢ハ人員服裝姿勢及機械器具其ノ他携帶品ノ保存使用ノ適否ヲ検査スルモノトス

第二條 點檢ヲ行フトキハ所屬警察署長警察分署長又ハ其ノ代理者ヲ點檢官トシ組頭又ハ小頭ヲ指揮者トス但シ所屬警察署長警察分署長又ハ其ノ代理者在ラサルトキハ組頭ヲ點檢者トシ小頭ヲ指揮者トス

第三條 消防組員ノ集合整頓ノ方法ハ巡查點檢規則ヲ準用ス

第四條 指揮者ヲラサル小頭ハ前列右翼ニ若シ餘員アルトキハ同左翼ニ列シ尙ホ餘員アルトキハ後列ノ中央ニ歩ノ距離ニ於テ押伍ト爲ルヘシ

第五條 點檢ノ際列員ハ一定ノ服裝ヲ爲シ手袋アルトキハ之ヲ着用スヘシ但シ頭巾ヲ携フルトキハ其ノ紐ヲ頭ニ掛ケ之ヲ背部ニ負フヘシ

第六條 點檢ハ消防組當番員出務ノ際現場引上ケノ際及演習ノ際之ヲ行フモノトス

第七條 現場引上ケノ際機械器具被服其ノ他携帶品破損ノ有無ヲ検査スルハ特ニ嚴重ノ注意ヲ要ス機械器具ニシテ使用シタルモノハ洗滌ノ後修繕シタルモノハ竣工ノ後警察官ニ於テ點檢スヘシ其ノ在ラサルトキハ組頭又ハ小頭ニ於テ點檢スヘシ

第八條 唧筒其ノ他機械ニシテ組立テアルモノハ毎年一回以上之ヲ分解シ内部ノ検査ヲ爲スヘシ

前項ノ検査ハ可成丈演習ノ際ニ於テ之ヲ行フヘシ

○内務省訓令第十七號

自今十八歳未満ノ者ニハ娼妓タルコトヲ許可スヘカラス

明治三十三年五月二十四日

廳府縣(東京府)  
除ク

内務大臣侯爵西郷從道



○大藏省訓令第四十號

明治二十六年大藏省訓令第四十號第八條第一項ヲ左ノ通改正ス

大藏省所管經費仕拂命令官

明治三十三年五月一日

大藏大臣伯耆松方正義

仕拂命令官金庫出納事務規程(特別會計)ニ據リ金庫ヨリ歳出金月計對照表歳出仕拂未濟繰越金支出月計對照表仕拂命令受領濟額報告書及仕拂請求書受領濟額報告書ニ證憑書類ヲ添へ送付ヲ受ケタルトキハ證憑書類ニ對照(受領濟額報告書ハ)シ相違ナキ場合ハ式ノ如ク證明スト記入シ署名捺印ノ上證憑書類ト共ニ三日以内ニ之ヲ金庫ニ返付シ相違アル場合ハ速ニ其事由ヲ付シテ返付スヘシ

○大藏省訓令第四十一號

明治二十六年大藏省訓令第三十九號金庫出納事務規程中及附屬書式中左ノ通改正ス

出納官吏 金庫出納役

明治三十三年五月一日

大藏大臣伯耆松方正義

第四十六條中其書式第十四號ノ如シトアルヲ(二十六年大藏省令第三十二)ト改ム  
第五十五條中「甲乙二葉トシ」ノ六字及第二項ヲ削ル  
第五十六條中「支出簿及」四字並ニ割注及第五十八條中ノ割注ヲ削ル  
第六十一條ヲ左ノ如ク改ム

仕拂命令受領濟額報告書ハ支出簿ニ據リ中央金庫ニ於テ直接ニ受領セシ金額ヲ掲ケ毎月之ヲ調製シ(帳簿登記ノ日附ニ拘ハラズ仕拂命令受領濟額ハ仕拂命令)翌月五日迄ニ仕拂命令官へ送付スヘシ(二十六年大藏省令第三十二)前項ノ報告書ハ當該官吏ノ證明ヲ受ケ然ル上金庫出納役式ノ如ク署名捺印シ支金庫ヨリ送付シタル仕拂命令受領濟額報告書ヲ添へ翌月十五日迄ニ毎月出納計算書ト共ニ大藏省へ差出スヘシ  
各金庫ノ仕拂命令受領濟額報告書ハ各本金庫ヨリ中央金庫へ受領シタルトキ各本金庫毎月出納

計算書ト共ニ大藏省へ差出スヘシ

本支金庫ノ仕拂命令受領濟額報告書ニハ金庫出納役式ノ如ク署名捺印スヘシ

第六十四條中仕拂命令受領濟額報告書ハノ下へ「支金庫ヨリ送付シタル仕拂命令受領濟額報告書ヲ添へ」ノ二十四字ヲ加フ

第六十五條中「現金種類別簿」トアルヲ削ル

第七十五條中「支出簿中央金庫ニ屬スル支金庫及各本金庫ヨリ送付スル仕拂命令受領濟額報告書ノ結果」ノ二十九字及並ニ案内仕拂命令等ヲ受領セシ金額ノ十六字ヲ削ル

第七十六條第二項第七十九條第二項ノ次へ左ノ一項ヲ加フ

毎年七月ノ出納内譯書ニハ前年度所屬歳入歳出納明細書ヲ添付スヘシ

第七十七條中「中央金庫仕拂命令受領濟額報告書ヲ添へ」ノ十八字及「各本金庫仕拂命令受領濟額報告書ト共ニ」ノ十八字ヲ削ル

第八十條中「仕拂命令受領濟額報告書ト共ニ」ノ十四字ヲ削ル

第六十二條第六十六條及第六十九條ヲ削除ス

附屬第十七號第十八號第十九號第二十號及第二十一號書式ヲ左ノ如ク改メ第十四號第二十三號書式ヲ削ル

(内ハ孰モ朱書)

(第十七號書式)	
照表	考
備	0.但何々
更正拂	



明治三十三年五月 訓令 大藏省第四十一號

歲出支拂未濟繰越金 (第十九號書式)		某	
何年何月中支出月計對照表		第何號 明治何年何	
要	金額	納	要
某 廳 主 管 仕 拂 命 令 官 官 氏 名	0	某 廳 主 管	
某 廳 主 管 仕 拂 命 令 官 官 氏 名	0	某 廳 主 管	
合 計	0	合 計	
之通 = 付 證 明 有 之 度 證 書 何 枚 添 付 候 也 明治何年何月何日 中央 金 庫 圖		書 面 之 通	
官 官 氏 名 宛 明ス 明治何年何月何日 仕 拂 命 令 官 官 氏 名 宛		仕 拂 命 令 官 官 氏 名 宛 明ス 明治何年何月何日 仕 拂 命 令 官 官 氏 名 宛	

明治三十三年五月 訓令 大藏省第四十一號

年度歲出金 (第十八號書式)		某年度歲入金	
月中月計對照表		第何號 明治何年何月中月計對	
金額	備 考	關 名	金 額
0	定額展入 0.7	某 廳 主 管 某 廳	0
0			
0			
= 付 證 明 有 之 度 證 書 何 枚 添 付 候 也 明治何年何月何日 中央 金 庫 圖		書 面 之 通 相 違 無 之 候 也 明治何年何月何日 中央 金 庫	
官 官 氏 名 宛 明ス 明治何年何月何日 仕 拂 命 令 官 官 氏 名 宛		備 考 租 稅 上 租 稅 外 ト ハ 別 表 ニ 調 製 シ 租 稅 ノ 分 ハ 主 管 廳 名 ノ 次 ( 租 稅 ) ト 記 ス ( シ ) 歲 入 徵 收 官 官 氏 名 宛	







拂 之 部				8		受	
摘 要	本 月 分		前 月 迄 累 計		合 計		摘 要
	圓	錢	圓	錢	圓	錢	
某年度歳出	0		0		0		前 葉 合 計 何 合 計
某年度特別資金	0		0		0		
歳出仕拂未済繰越金	0		0		0		
歳出振換金	0		0		0		
雜 部	0		0		0		
日本銀行寄託金	0		0		0		
日本銀行預入	0		0		0		
振換回送	0		0		0		
同 金	0		0		0		
何	0		0		0		
追次合計	0		0		0		

之 部				2		受	
本 月 分	前 月 迄 累 計		合 計		摘 要		
	圓	錢	圓	錢			
0		0		0	前 年 度 日 々 越 高 某 年 度 歳 入 某 年 度 紙 幣 交 換 基 金 歳 出 仕 拂 未 済 繰 越 金 歳 出 振 換 金 雜 部 日 本 銀 行 寄 託 金 日 本 銀 行 預 入 返 戻 日 本 銀 行 借 入 振 換 回 送 同 金 追 次 合 計		
0		0		0			
0		0		0			



5		4			
備考	摘要	拂之部		部	
		本月分	前月迄累計	合計	
		圓	錢	圓	錢
	前葉合計	0		0	0
	何	0		0	0
	計	0		0	0
	翌月へ越高 現在金 同送中	0		0	0
	合計	0		0	0

更正額 租何+

備考  
一 更正増減ノ金額事由ハ備考ニ之ヲ詳記シ收入額ノ欄ニ  
ハ正當ノ金額ヲ掲記スヘシ以下歳出等皆準之  
金庫限リ更正シタルモノハ其事由ヲ付記スヘシ  
金庫總督府歳入森林資金繰入等一般會計金庫出納事務  
規程ニ準シテ取扱フ分ハ是ノ書式ニ準シ掲載スヘシ

6		某年度歳入					
残高	備考	摘要			收入額		
		主管	取扱	取入取收	事由	本月分	前月迄累計
圓	錢				圓	錢	圓
		某廳	某廳	官氏名	租	税	0
		"	某廳	官氏名	"	"	0
					計		0
		某廳	某廳	官氏名	租	税	0
		某廳	某廳	官氏名	"	"	0
					計		0
		某廳	某廳	官氏名	何年度別租何+	國庫移換	0
		"	"	"	"	"	0
					合計		0



明治三十三年五月 訓令 大藏省第四十一號

業滿期國立銀行紙幣交換基金)				7	6
仕拂額	收入額ト仕拂額		仕拂額ト收入額		備考
	令受領額トノ數	額	額	額	
圓 銭	圓 銭	圓 銭	圓 銭	圓 銭	大藏大臣令 途 歳入徴收官官氏名扱 大藏大臣令 途 "
0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	

一八五

明治三十三年五月 訓令 大藏省第四十一號

某 年 度 特 別 資 金					
要 事 由	前月ヨリ起高	收 入 額		仕 拂 額	
		歳 入	交換差増	歳 出	交換差減
前年度ヨリ起高	圓 銭	0	0	0	0
整年度へ繰越	0	0	0	0	0

一八四



8												
度 歳 出												
仕拂命令受領額		仕 拂 額						仕拂未済額		備 考		
		本 月 分		前 月 迄 累 計		合 計						
圓	銭	圓	銭	圓	銭	圓	銭	圓	銭	圓	銭	圓
0		0		0		0		0		0		
0		0		0		0		0		0		
0		0		0		0		0		0		
0		0		0		0		0		0		
0		0		0		0		0		0		

備考  
臺灣總督府歳出、森林資金歳出等一般會計金庫出納事務規程ニ準シテ取扱フ分ハ是ノ書式ニ準シ掲載スヘシ  
但專賣局作業歳出ニ在テハ「仕拂命令受領済額」ノ欄ヲ「仕拂請求書受領済額」トスヘシ

某年度紙幣交換基金 (某年度營)

摘 要		前 月 口 リ 越			収入額		仕拂命令受領済額	
収入徴収官	仕拂命令官	収入額ト仕拂命令受領済額トノ差	仕拂命令受領済額ト仕拂額トノ差	収入額ト仕拂額トノ差	圓	銭	圓	銭
官 氏 名	官 氏 名	圓	銭	圓	圓	銭	圓	銭
					0			
					0			
					0			
		計			0			



9		8				
備考		摘要				前月ヨリ越
		金庫	主管	仕命令	事由	仕未済額
備考 仕未済繰越金トシテ新ニ受入レタルモノハ前月ヨリ越未 拂額ニ併算シ備考ニ其金額事由ヲ記載スヘシ		中央金庫	某某	官氏名	國庫移換	0
		"	"	官氏名		0
		"	某某	官氏名		0
		何地支金庫	某某	官氏名		0
		計				

歳出仕拂未済繰越金						
摘要			仕拂額		未拂額	
主管	仕命令	事由	前月ヨリ越未拂額		前月ヨリ越未拂額	
某某	官氏名	某某	0	0	0	0
某某	官氏名	某某	0	0	0	0
某某	官氏名	某某	0	0	0	0
計			0	0	0	0



10 歳出振換金										
摘要		前月ヨリ越領收證書未到達額			通知書發送額		領收證書到			
拂出金庫	年度	通知書發送額			前月發送日付ノ分			本月發送日付ノ分		
		圓	銭	厘	圓	銭	厘	圓	銭	厘
何地本金庫	某年度	0			0			0		
何地本金庫	某年度	0			0			0		
	計	0			0			0		

10 受入						9		
達額		領收證書未到達額		備考		摘要		
計		備考		備考		金庫		
圓	銭	圓	銭	圓	銭	中央金庫	某年度	年度
0		0				中央金庫	某年度	年度
0		0				何地安金庫	某年度	年度
0		0						

備考  
領收證書到達額ハ拂出金庫發送ノ日附ニ依リ區分掲載スヘシ  
但シ前々月ノ日附ニ係ルモノハ前月發送日附ノ欄ニ併算シ其  
金額ヲ備考ニ記載スヘシ



明治三十三年五月 訓令 大藏省第四十一號

12		11				
部		歳出				
發	高	備考	摘要		前月より越	
			受入金庫	年度	仕拂未済額	
圓	銭		何地本金庫	某年度	圓	銭
0	0		何地本金庫	某年度	0	0
0	0			計	0	0
0	0					
0	0					

明治三十三年五月 訓令 大藏省第四十一號

11				
振換金拂出				
通知書受領額	仕拂額	既收證書未収取	仕拂未済額	既收證書未収取
圓	銭	圓	銭	圓
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0



明治三十三年五月 訓令 大藏省第四十一號

18						12	
(日本銀行寄託有價證券)							
戻入高		残高		備考	摘		
原貨	通貨換算額	原貨	通貨換算額		金庫	種類	
両	圓	両	圓				
0	0	0	0		中央金庫	保管金	
					"	"	
					"	為換納金	

一九五

明治三十三年五月 訓令 大藏省第四十一號

雑			要		前月より越高	受入高	拂出高	
廳名	出納官更資格官氏名	事由	両	圓	両	圓	両	圓
某某	官氏名		0	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	0
		計	0	0	0	0	0	0
		合計	0	0	0	0	0	0

一九四







明治三十三年五月 訓令 大藏省第四十一號

15 日本銀行借入				
摘要		前月より越高		借入高
類	別	事由	圓	銭
		明治二十九年法律第六號=依ル	0	0
		無利	0	0
		計	0	0
		明治二十七年法律第十六號=依ル	0	0
		何	0	0
		合計	0	0

一九九

15 及返償				14 日	
返償高		殘高		備考	
圓	銭	圓	銭	類別	
0	0	0	0	明治二十九年法律第六號=依ル	
0	0	0	0	無利	
0	0	0	0	明治二十七年法律第十六號=依ル	
0	0	0	0	爲何 元 渡	
0	0	0	0		

明治三十三年五月 訓令 大藏省第四十一號

一九八



17			16		
券			特別資		
残高		備考	摘要		
千	百		類	別	事由
0					
					計
					計府金
					會督道公債
					及總道公債
					海公債
					一產業公債
					何

16												
金 繰 替 貸 及 返 償												
出月ヨリ越			繰 替 高			返 償 高			残 高			備 考
千	百	圓	千	百	圓	千	百	圓	千	百	圓	
0			0			0			0			
0			0			0			0			
0			0			0			0			
0			0			0			0			
0			0			0			0			











24	回 金 拂 出						
備 考	受入金庫	前月より超高	回送高	精 算 高			回送中
				収 入	支 出	計	
	何地本金庫	0	0	0	0	0	0
備考 一 本受拂ハ臺北本金庫毎月出納計算書ニ限リ掲記スヘシ 二 受入拂出トモ相場ノ異動アル毎ニ各別ニ記載スヘシ 三 出納官吏ヨリ受入タルモノニシテ受入當日ノ相場ニ異リタル相場ヲ以テ受入タルモノハ備考ニ其旨記載スヘシ							

23	回 金 受 入			22
備 考	拂 出 金 庫	受 入 高	備 考	受入金庫
	何 地 本 金 庫	0		何地本金庫
	備考 一 本受拂ハ臺北本金庫毎月出納計算書ニ限リ掲記スヘシ 二 受入拂出トモ相場ノ異動アル毎ニ各別ニ記載スヘシ 三 出納官吏ヨリ受入タルモノニシテ受入當日ノ相場ニ異リタル相場ヲ以テ受入タルモノハ備考ニ其旨記載スヘシ			







現	
摘要	計
券貨金幣幣金々	
換在貨	
及助現便貨	
金庫不國	
地	
金補支流外金銀何	

明治何年何月何日

何地本金庫 印

明治何年何月何日金庫出納計算書提出候也

明治何年何月何日

金庫出納役

日本銀行總裁氏名 印

大藏大臣宛

各地本金庫ニ於テ調製セシ本番ニ限り如式に捺印スルモノトス

○大藏省訓令第四十二號

明治二十六年大藏省訓令第三十二號預金保管物及供託物金庫出納事務規程中左ノ通改正ス

金庫出納役

明治三十三年五月一日

大藏大臣伯耆松方正義

第二十二條中集計表トアル上ニ「收支金報告表」ノ文字ヲ加フ

第二十三條中「各其集計表」トアルヲ「收支金報告表」ト改ム

第三十六條ヲ左ノ如ク改正ス

本金庫ハ第三十二條ノ諸帳簿ニ依リ金庫出納事務規程第二十四號書式ノ收支金報告表ハ預金保管金供託金各自預金購入保管公債證書利子ノ受拂額ヲ掲載スヘシ

又有價證券受拂内譯簿ニ據リ每五十ノ日ニ有價證券受拂集計表(第十二號書式)ヲ調製シ中央金庫へ報告スヘシ

第三十七條第三十八條及第三十九條ヲ削除ス

第四十七條中内譯額トアル下ニ「並ニ有價證券受拂額」ノ文字ヲ加フ

第四十八條へ左ノ一項ヲ追加ス

又有價證券受拂内譯簿ニ據リ中央金庫及之ニ屬スル支金庫ニ於テ一箇月中ニ取扱ヒタル有價證券ノ受拂計算書(第十四號書式)ヲ調製シ毎月出納計算書ニ綴込ニ差出スヘシ

第四十九條へ左ノ一項ヲ追加ス

又有價證券受拂内譯簿ニ據リ本金庫及之ニ屬スル支金庫ニ於テ一箇月中ニ取扱ヒタル有價證券ノ受拂計算書(第十四號書式)ヲ調製シ毎月出納計算書ニ綴込ニ差出スヘシ

第五十條第五十一條及第五十二條ヲ削除ス







明治三十三年五月 訓令 大藏省第四十二號

預 金 部 預 金				要		前月より		受入高		拂出高		
預 金 種 別	名 稱	事 由	圓	錢	圓	錢	圓	錢	圓	錢	圓	錢
郵便貯金	某某	應	0		0		0		0		0	
官立學校及圖書館資金	某某	應	0		0		0		0		0	
軍艦水雷艇補充基金	某某	應	0		0		0		0		0	
教育基金	某某	應	0		0		0		0		0	
各官署ノ成規ニ從ヒタル預立金			0		0		0		0		0	
社寺公會社及人民ノ共有ニ係ル預立金			0		0		0		0		0	
計			0		0		0		0		0	

二五

第十三號書式ノ一

現在高	備考
圓	
0	
0	
0	
0	
0	
0	
0	
0	
0	
0	

第十二號書式

第何號 明治何年何月何日預金部受拂集計表 (△印)欄内

類 別	職 名	主任官氏	事 由	受 入 高		拂 出	
				金 額	更 正 拂	金 額	
圓	錢	圓	錢	圓	錢	圓	錢
預 金				0	0	0	0
官立學校資金	某縣	官氏名		0	0	0	0
官立學校ノ成規ニ從ヒタル預立金	某縣	官氏名		0	0	0	0
社寺公會社及人民ノ共有ニ係ル預立金				0	0	0	0
小計				0	0	0	0
保 管 金	某縣	官氏名		0	0	0	0
小計				0	0	0	0
供 託 金				0	0	0	0
備考				0	0	0	0
各自預金購入保管公債證券利子ヲ元加ニナシタル分ハ其金額別項ニ記載スヘシ							
明治何年何月何日							
何地支金 庫							

明治三十三年五月 訓令 大藏省第四十二號

二四



明治三十三年五月 訓令 大藏省第四十二號

預 金 部						
摘 要			前月ヨリ越高		受 入 高	
金 庫	類 別	事 由	圓	銭	圓	銭
中央金庫	保管金	期滿款入 入ノ金ノ抽出	0		0	
何地支金庫	"		0		0	
何地支金庫	供託金		計	0		0
		合計	0		0	

二二七

第十三號書式ノ二

保 供 管 託 金 金								
拂 出 高			現 在 高			備 考		
圓	銭	圓	圓	銭	圓	圓	銭	備 考
0			0					中央(本支)金庫
0			0					"
0			0					"
0			0					"
0			0					"

明治三十三年五月 訓令 大藏省第四十二號

二二六











某年度某作業所作業(鐵道)歳出金 明治何年何月中月計對照表		第七號書式 第何號		某年度某 第何號 明治	
仕拂元受高		仕 拂 額		備 考	
圓	錢	圓	錢	定額戻入 0.7	
0	0	0	0		
0	0	0	0		
0	0	0	0		
二 付 明 有 之 度 證 書 何 枚 添 付 候 也		明 何 年 何 月 何 日		備 考	
仕 拂	命 令	官 官	氏 名	一 本 表 ハ 各 作 業 所 仕 拂 命 令 官 毎 ニ 各 通 ニ 調 製 ス ル モ ノ ト ス	
ス	明 治	何 年	何 月 何 日		
		仕 拂	命 令 官 氏 名 印		

第十四號書式 某年度作業(鐵道)歳入					某作業所	
要		收 入 額			備 考	
歳入徴收官	事 由	本月分	前月迄累計	合 計	摘 要	
官 氏 名		圓 錢	圓 錢	圓 錢	資 本 持 越 額 歳入ヨリ組換額 翌年度へ繰越 某年度歳入へ納付 合 計	
		0	0	0	備 考 官設鐵道用品資金歳入、北海道官設鐵道用品資金歳入 等作業及鐵道會計金庫出納事務規程ニ準シテ取扱フ分 ハ是ノ書式ニ準シテ掲載スヘシ	
					書面之通 明 證 明	







ノ如シトアルヲ(七十六年大藏省令第三十)ト改ム  
 第十二條第一項中「支出簿同」トアルヲ削リ送付ノ下シ各其證明ヲ請フヘシトアルヲ「スヘシ」ト及  
 同條第二項中「當該官吏證明濟月計對照表ハ」トアルヲ前項歳出金月計對照表ハ當該官吏ノ證明ヲ  
 受ケト改ム

第十三條ヲ左ノ如ク改ム

中央金庫ハ官立學校及圖書館歳出支出簿同仕拂元受高差引簿ニ據リ毎月官立學校及圖書館歳出  
 仕拂請求書受領濟額報告書ヲ調製シ當該仕拂命令官ニ差出シテ證明ヲ受ケ金庫出納役之ニ署名  
 捺印シ毎月出納計算書ト共ニ大藏省ヘ差出スヘシ(七十六年大藏省令第三十)

第十七條ヲ左ノ如ク改ム

本金庫ハ現金出納原簿ニ據リ毎五十ノ日ニ金庫出納事務規程第六十五條ノ收支金報告表ヘ官立  
 學校歳入歳出仕拂元金收支額ヲ掲ケ報告スヘシ

第二十五條第二十七條ニ左ノ一項ヲ加フ

毎年七月ノ出納内譯書ニハ前年度所屬歳入歳出出納明細書ヲ添付スヘシ

第二十四條ヲ削ル

附屬第六號第七號第十四號第十五號書式ヲ左ノ如ク改メ第三號第四號第八號第九號書式ヲ削ル

(「内ハ執モ朱書」)

第六號書式	
入金	照表
備	考
更正拂 0.000但何々	

第七號書式		某年度某官立學校(圖書館)歳	
出金		第何號	
何年何月中月計對照表		第何號 明治何年何月中月計對	
仕	拂	額	備考
		0 0 0	定額入 0.000
		0	
證書何枚添付候也	何日	中央金庫	何日
氏名宛		中央金庫	何日
		仕拂命令官官氏名宛	
		何日	
			備考
			一本表ハ各官立學校及圖書館仕拂命令官 毎ニ各通ニ調製スルモノトス







某年度官立學校及圖

金庫	職名	事由	前月より越高			仕務請求受 入員額	仕務請求受 入員額
			仕務請求受 入員額	仕務請求受 入員額	仕務請求受 入員額		
中央金庫	某官立學校 (國書院)	官氏名	0	0	0	0	0
"	"	"	0	0	0	0	0
"	"	"	0	0	0	0	0
		計	0	0	0	0	0
		合計	0	0	0	0	0

警視廳 北海道廳 府縣 税關  
稅務管理局 收入官吏 金庫出納役

○大藏省訓令第四十四號

明治二十六年大藏省訓令第七十九號及明治二十七年大藏省訓令第十三號明治三十三年度ヨリ廢止ス  
明治三十三年五月二日 大藏大臣伯爵松方正義

〔參照〕

明治二十六年十一月八日 大藏省訓令第七十九號ハ主任收入官吏及分任收入官吏交替ノトキ金庫へ通知方該金庫取扱手續ノ件、同二十七年十一月八日 同第十三號ハ分任收入官吏ノ屬スル主任收入官吏交替ノトキ事務引繼手續ノ件ナリ  
○大藏省訓令第四十五號 大藏省所管歳入徴收官 金庫出納役

一歳入徴收官交替ノトキハ直ニ關係ノ各金庫へ其旨ヲ通知スヘシ  
一金庫ニ於テ前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ帳簿上前任歳入徴收官官氏名ノ上ニ何年何月何日交替ニ據リ後任何官何某ニ改ムト記入スヘシ(前任官官氏名ハ) 一歳入金月計對照表ハ歳入徴收官ノ前任後任ヲ區別セズ總テ後任官ノ計算ニ組込調製スヘシ  
明治三十三年五月二日 大藏大臣伯爵松方正義

○大藏省訓令第四十六號 專賣局  
葉煙草出納順序中左ノ通追加ス  
明治三十三年五月七日

第十條 物品會計規則第十五條ニ依リ葉煙草會計官吏ノ差出スヘキ葉煙草出納計算書ハ翌年度六月十五日限リ專賣局長又ハ專賣支局長ニ差出スヘシ  
第十一條 物品會計規則第十七條ノ下檢査ハ專賣局ニ於テハ局長之ヲ執行シ專賣支局ニ於テハ支局長之ヲ執行スヘシ  
大藏大臣伯爵松方正義